

事業概要

令和7年版

公園管理

●上野恩賜公園

令和5年度に東京都都市公園制度制定150周年を迎え、イベントも大盛況だったことから、昨年引き続き、若手職員を中心に上野恩賜公園に来園される皆様へ感謝を込めて、来園感謝祭『150+1』を開催しました。上野恩賜公園にちなんだクイズや折り紙等を楽しんでいただけるイベントブースを設け、クイズに参加された方にはオリジナルバックを配布しました。上野恩賜公園PRキャラクター「うえのん」も登場し、特に子供たちや外国の方など、多くの人で賑わいました。

また、公園の魅力を発信するために、近隣小学校による校外学習では、生徒の皆さんから公園管理者への質疑の場を設け、地元の公園に関する知識や愛着を深めてもらいました。

さらに、桜花期対応では昨年引き続き、園内の一部箇所で花見宴会を可能とするとともに、さくら通りを一方通行に規制し、来園者に「歩きながらのお花見」を楽しんでいただきました。

(来園感謝祭『150+1』でPRを行う「うえのん」)



(配布したオリジナルバック (表裏))



(校外学習で生徒から質問を受けている様子)



(歩きながらのお花見)



公園整備

●高井戸公園

南地区西側でプロムナード・テニスコート4面等を新たに整備しました。



●亀戸中央公園

C地区に新たな芝生広場を整備しました。



●日比谷公園

バリアフリー日比谷公園プロジェクトに基づき再生整備を進めてきた芝庭広場は、令和6年9月に供用を開始しました。



庭園整備

文化財庭園の修復・復元を推進することにより世界をおもてなしする庭園を再生し、東京の魅力を向上させています。

●旧芝離宮恩賜庭園

老朽化のため長らく通行禁止としていた木橋の架け替えを行いました。園内の回遊性が向上し、庭園の魅力をより高めることができました。

<木橋の改修>



●旧古河庭園

令和5年度に引き続き、劣化が進んでいた洋館の外壁や建具、屋根を修理し、名勝として相応しい景観を整備しました。

<洋館外壁の修理>



霊園整備

霊園の再生では墓所の移転や立体埋蔵施設の設置等により、墓所需要に対応すると共に広場空間を確保しています。

●染井霊園

墓所の返還跡地を拠点広場として整備し、散策や墓参時の休憩に利用できるようにしました。

<拠点広場>



●雑司ヶ谷霊園

中央部の東西方向に通る区道沿いの花店返還跡地に樹林型合葬埋蔵施設を整備しました。

<樹林型合葬埋蔵施設>



動物園整備

●多摩動物公園

アフリカ園サバンナエリアを再整備し、動物たちをより間近に見える観覧施設を設けたほか、動物福祉や安全な飼育に配慮した放飼場となっています。



●葛西臨海水族園

老朽化したペンギン放飼場の擬岩、プールを改修しました。



はじめに

都立公園は、東京の緑と水のネットワークの拠点であり、都市環境の改善、散策やスポーツなどのレクリエーション、賑わい創出や地域活性化の拠点、動植物の生息・生育空間、そして激甚化する災害等に対する防災機能の発揮等、複合的で多様な役割を果たしています。また、首都東京が直面する様々なニーズへの対応も求められています。東部公園緑地事務所は、昭和20（1945）年に東京都公園緑地北部出張所として誕生しました。現在、23区内にある50公園、5霊園（千葉県松戸市にある八柱霊園を含む）、2葬儀所、4動物園（日野市の多摩動物公園、武蔵野市・三鷹市の井の頭自然文化園を含む）の計61施設の整備や管理を所管しています。以下に、本事務所の今年度の取組の一端をご紹介します。

日本最初の公園「太政官布達公園」の一つである上野恩賜公園は、令和5年に開園150年を迎えました。平成21（2009）年の再生基本計画に基づき、歴史性を守り活かしながら公園の再整備を進め、オープンカフェの新設やJR上野駅公園口移設に合わせた広場整備による公園への円滑、安全なアクセス等が実現しました。引き続き、夜間景観の向上を目指し照明設備の整備を進めます。また、日比谷公園では開園130年の令和15年の完了に向けて「バリアフリー日比谷公園プロジェクト」に基づき、エリアごとに段階的に整備を進めていきます。第二花壇は自由に芝生に立ち入ることができる「芝庭広場」に生まれ変わり、今年度は大噴水や小音楽堂の再整備を行っていきます。

都立公園の新規拡張と防災機能の強化充実は都立公園事業の重要な柱です。篠崎公園等で用地取得を進めるとともに、練馬城址公園や林試の森公園等で新規拡張区域の設計を進めます。また、猿江恩賜公園や中川公園等では災害時に備えた非常用発電設備等の整備を行うほか、地域の防災性の向上を図る「篠崎公園高台まちづくり事業」に国や区と連携して取り組んでいきます。

東京を代表する庭園の一つ浜離宮恩賜庭園では、お伝い橋の改修工事等を行います。また、小石川後樂園では通天橋の修復を進めます。この他の庭園についても、文化財庭園としてのさらなる価値の向上と活用をめざして計画的に修復、復元等を行っていきます。

シャオシャオ、レイレイの双子のパンダ等で人気の恩賜上野動物園では、サル山改築、新たな乗り物の設計等に取り組みます。また、長年にわたりトキの飼育繁殖に取り組んできた多摩動物公園ではトキ展示ゾーンの新設に向けた整備を進めていきます。

都立霊園の整備等も本事務所の主要業務の一つです。霊園利用者だけでなく広く都民が利用できる「霊園」と「公園」とが共存する空間となるよう、区部4霊園において再生事業を進めるとともに、瑞江葬儀所、青山葬儀所ではそれぞれ施設の建替えを進めていきます。

このように幅広い業務を所管する東部公園緑地事務所は、「2050東京戦略」に基づき、「豊かな緑と水が織りなす潤いと安らぎの都市 東京」等のビジョンの実現に向けて、東京グリーンビズを推進し、以下の方針により業務に取り組んでまいります。

令和七年度 東部公園緑地事務所組織方針

○基本方針

- 1 「2050東京戦略」に基づき、すべての「人」が輝き、一人ひとりが幸せを実感できる「成長」と「成熟」が両立した世界で一番の都市・東京の実現に向け総合的な施策をより現場に近い視点から展開
- 2 「TOKYO強靱化プロジェクト」等に基づいた、組織の枠を超えて未来につながる公園・庭園、霊園、動物園等の効果的・重点的な整備と、適正かつ効率的な管理運営の推進
- 3 令和6年3月に改定したパークマネジメントマスタープランに基づき、それぞれの公園の個性を生かした多様な公園を創出するとともに、全ての公園の質・機能・価値を向上
- 4 「シン・トセイX」戦略に基づき、組織や分野を超えたDXにより、課題解決のスピードアップや業務の効率化を図り、都政のQOSを向上

○重点方針

- 1 新たに策定された「2050東京戦略」及び「TOKYO強靱化プロジェクト」に基づき、強靱で持続可能な都市・東京の実現に向けた都市づくりを着実に推進するとともに、東京グリーンビズの下、みどりと生きるまちづくりを進める
- 2 都立公園大改革の各プラン実現に向けて、本庁、東京都政策連携団体と一体となり推進する
- 3 建設局事業改革・推進戦略に基づき、既存の概念や前例にとらわれることなく、仕事の進め方、職員の意識改革、建設DXの推進などに迅速かつ弾力的に取り組み、あわせて事業の進行管理を的確に行うことで、整備効果の早期発現につながる事業執行力の一層の向上を図る
- 4 利用者満足度を高める適切かつ効率的な管理・運営を行うため、指定管理者の指導監督の一層の充実と直営上野公園における模範となる公園運営を着実に進めるとともに、公園の多面的活用を進めるなど、公園の持つポテンシャルを引き出し、魅力を一層高めるための取組を進める
- 5 関係部署や所内横断的な連携強化による迅速で効率的な用地取得を進め、課題の解決に取り組む
- 6 昨年4月より時間外労働の罰則付き上限規制が建設業に適用されたことを踏まえ、引き続き、DXの推進や働き方改革などにより、品質を確保しつつ建設業の生産性や魅力の向上に取り組む
- 7 「現場第一主義」に立ち、東京都政策連携団体、本庁とのコミュニケーションの円滑化と組織の機能強化を図るとともに、24時間・365日体制で日頃から高い危機管理意識を持って職務に取り組む、事故ゼロを徹底、発災時の対応力の向上を図る
- 8 東京の緑を支え続けるため、職員一人ひとりが、幅広い視野と高い情報収集の感度を持ち、技術と知見の承継・研鑽、専門能力の向上を図るとともに、自由闊達な議論を通して、組織力の向上と一体感ある職場づくりを進め、スピードと柔軟さをもって課題解決を進める

目 次

巻頭トピックス

はじめに

第1 概要	1
1 沿革	1
2 所掌事務と区域	3
3 組織と分掌事務	7
4 職員の配置	8
5 令和7年度予算と令和6年度決算	9
第2 主要事業	11
1 公園・緑地の計画及び事業	11
2 事業用地の取得	18
3 動物園の計画及び事業	19
4 公園の整備	24
5 文化財庭園保存修復	28
6 霊園・葬儀所の整備（霊園再生事業等）	29
7 動物園の整備	30
8 検査業務	32
9 苗木の育成	33
10 既設公園の維持	33
11 ホームレス及び屋台対策	34
12 都民との協働	36
13 思い出ベンチ事業	37
第3 施設の概要	38
1 あらまし	38
2 指定管理者制度	38
3 公園・管理施設一覧表	41
(1) 直営公園	41
(2) 委任公園	44
(3) 動物園等	89
第4 管内の文化財	94
付 表	97
1 有料施設の概要	98
(1) 入園料	98
(2) 使用料	98
2 年度別有料施設利用状況	105
3 開園（管理）面積調書	107
4 管内公園所在地一覧	108

第1 概 要

1 沿 革

当事務所は、平成 10 年度組織改正により公園緑地事務所が 3 事務所から 2 事務所構成となり、23 区全域の都立公園・都立霊園の整備及び管理、風致地区の行為の許可事務等を担当する東京都東部公園緑地事務所として、旧東京都北部公園緑地事務所庁舎に平成 10 年 4 月 1 日発足した。

年 月 日	旧南部公園緑地事務所	旧北部公園緑地事務所
昭和20年 4 月 1 日	東京都計画局の出先機関として、東京都公園緑地南部出張所として発足した。	東京都計画局の出先機関として、東京都公園緑地北部出張所として発足した。
昭和21年 2 月 1 日	東京都計画局が建設局と改称される。東京都建設局公園緑地南部出張所と改称。	東京都計画局が建設局と改称される。東京都建設局公園緑地北部出張所と改称。
昭和24年 6 月11日	東京都南部公園緑地事務所と名称が変わる。	東京都北部公園緑地事務所と名称が変わる。
昭和37年 7 月20日		庁舎の老朽化及び上野公園改造計画に基づき、現在地の一面に庁舎を新築。
昭和38年 5 月	庁舎の老朽化及び日比谷公園内にあった法務省庁舎が移転したことにより、日比谷公園大音楽堂際に新築移転した。	
平成元年 4 月 1 日		庁舎の狭小と老朽化及び上野公園緑の相談所並びに上野公園総合案内所開設計画に伴い、現在地に庁舎を新築移転した。1 階が緑の相談所、2・3 階が北部公園緑地事務所となる。
平成 2 年 7 月 1 日	庁舎の老朽化及び日比谷公園緑の相談所（愛称「日比谷公園グリーンサロン」）の新規開設に伴い、新庁舎を建設した。1 階が緑の相談所、2・3 階が南部公園緑地事務所となる。	
平成10年 3 月31日	平成10年度組織改正により、南部公園緑地事務所及び北部公園緑地事務所を廃止。	
平成10年 4 月 1 日	東京都東部公園緑地事務所として発足。事業推進課設置。	
平成13年 4 月 1 日	用地課を廃止し庶務課に用地係設置。	

年 月 日	東部公園緑地事務所
平成18年4月1日	動物園関係組織の廃止（指定管理者制度）に伴い、管理課に「動物園管理担当係長」及び工事課に「動物園整備担当課長」と「動物園工事係」、「多摩動物公園工事担当係長」、「動物園設備担当係長」が配置され、従前の事務事業に、動物園整備・動物園管理業務が加わる。（東京都恩賜上野動物園、東京都多摩動物公園、東京都井の頭自然文化園、東京都葛西臨海水族園は、平成18年3月31日付で東京都の組織が廃止、指定管理者へ管理を移行：公益財団法人 東京動物園協会）
平成27年4月1日	オリンピック・パラリンピック会場整備関係組織を工事課内に設置（オリンピック・パラリンピック会場整備係）
平成28年4月1日	オリンピック・パラリンピック会場整備事務所を夢の島公園内に設置
令和2年3月31日	オリンピック・パラリンピック会場整備事務所の廃止

【東京都東部公園緑地事務所庁舎概要】

	東京都東部公園緑地事務所 (事務所棟)	東京都東部公園緑地事務所（別棟）	
所在地	〒110-0007 東京都台東区上野公園7-47		
地域地区等	第1種中高層住居専用地域、準防火地域、第3種高度地区、第1種文教地区、第2種風致地区、都市計画公園		
前面道路	幅員(8.100~9.850m)	敷地面積	2,698.15㎡
建築面積	630.22㎡	191.29㎡	
延床面積	2,259.29㎡	374.30㎡	
建物構造	鉄筋コンクリート造（地上3階、地下1階）	軽量鉄骨ブレース構造（地上2階）	
配置	1階（上野グリーンサロン：展示・休憩施設） 2階（所長室、庶務課、管理課、会議室：2室、女子休養室） 3階（庶務課用地担当、事業推進課、工事課、男子休養室）	1階（駐車場、物品・書類倉庫、身障者用便所） 2階（会議室：3室、便所、給湯室）	

2 所掌事務と区域

- (1) 東京都 23 区全域における都立公園、霊園、葬儀所に関する事務を所掌する。
 (2) このほか、多摩動物公園（日野市）、井の頭自然文化園（武蔵野市・三鷹市）及び八柱霊園（千葉県松戸市）を所掌する。

令和7年6月1日現在

種 別	箇 所 数			開園面積 (ha)
	総数	直営	指定管理者	
公 園	42	1	41	968.3
庭 園	8		8	59.6
動物園	4		4	94.9
計	54	1	53	1122.7
霊 園	5		5	158.5
葬儀所	2	1	1	4.7
計	7	1		163.1

《参 考》

○（財）東京都公園協会に管理委託した公園等

- 昭和 60 年 10 月委託 ⇒ 青山霊園、谷中霊園、雑司ヶ谷霊園、染井霊園、八柱霊園、青山葬儀所、瑞江葬儀所 (5 霊園 2 葬儀所)
- 昭和 61 年 4 月委託 ⇒ 芝公園、戸山公園、亀戸中央公園、猿江恩賜公園、夢の島公園、潮風公園、台場公園、城北中央公園、東綾瀬公園、篠崎公園、浮間公園、東白鬚公園、舎人公園、赤塚公園、石神井公園、善福寺公園、善福寺川緑地、和田堀公園 (18 公園)
- 昭和 61 年 4 月委託 ⇒ 緑の情報センター (緑の相談コーナー、緑の図書館)
- 平成 2 年 4 月委託 ⇒ 大泉中央公園 (1 公園)
- 平成 3 年 4 月委託 ⇒ 日比谷公園緑の相談所、上野公園緑の相談所、水元公園緑の相談所 (3 相談所)
- 平成 4 年 4 月委託 ⇒ 林試の森公園、木場公園 (2 公園)
- 平成 4 年 6 月委託 ⇒ 戸山公園緑の相談所、木場公園緑の相談所 (2 相談所)
- 平成 5 年 4 月委託 ⇒ 祖師谷公園 (1 公園)
- 平成 9 年 4 月委託 ⇒ 浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、清澄庭園、小石川後樂園、六義園、旧古河庭園、向島百花園 (7 庭園)
- 平成 10 年 4 月委託 ⇒ 砧公園、蘆花恒春園、駒沢オリンピック公園 (3 公園)
- 平成 11 年 4 月委託 ⇒ 光が丘公園 (1 公園)
- 平成 12 年 3 月廃止 ⇒ 緑の相談センター及び緑の相談所廃止 (組織改正)
- 平成 13 年 4 月委託 ⇒ 尾久の原公園、中川公園 (2 公園)
- 平成 13 年 10 月委託 ⇒ 旧岩崎邸庭園 (1 庭園)
- 平成 14 年 4 月委託 ⇒ 葛西臨海公園、大島小松川公園、宇喜田公園 (3 公園)

○指定管理者制度の導入による指定管理者への委任

- 平成 18 年 4 月委任 ⇒ 日比谷公園、上野恩賜公園、横綱町公園、代々木公園、青山公園、
明治公園、水元公園を除き委任 (31 公園、8 庭園、5 霊園、2 施設)
⇒ 動物園施設を委任
(恩賜上野動物園、多摩動物公園、井の頭自然文化園、葛西臨海水族園)
⇒ 汐入公園の開設に伴う委任追加
- 平成 20 年 4 月委任 ⇒ 青山公園、明治公園、横綱町公園の委任追加
- 平成 21 年 4 月委任 ⇒ 日比谷公園、代々木公園、水元公園の委任追加
- 平成 22 年 7 月委任 ⇒ 東京臨海広域防災公園の開設に伴う委任追加
- 令和 2 年 6 月委任 ⇒ 高井戸公園の開設に伴う委任追加
- 令和 5 年 5 月委任 ⇒ 練馬城址公園の開設に伴う委任追加

○各区長への委任

- 平成 12 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における風致地区の業務の一部

○第 2 次一括法に伴う権限移譲

- 平成 24 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における特別緑地保全地区の行為の規制等に係る業務の全部
※同地区内の所有地の管理のみ行っている。

○政令改正に伴う権限移譲

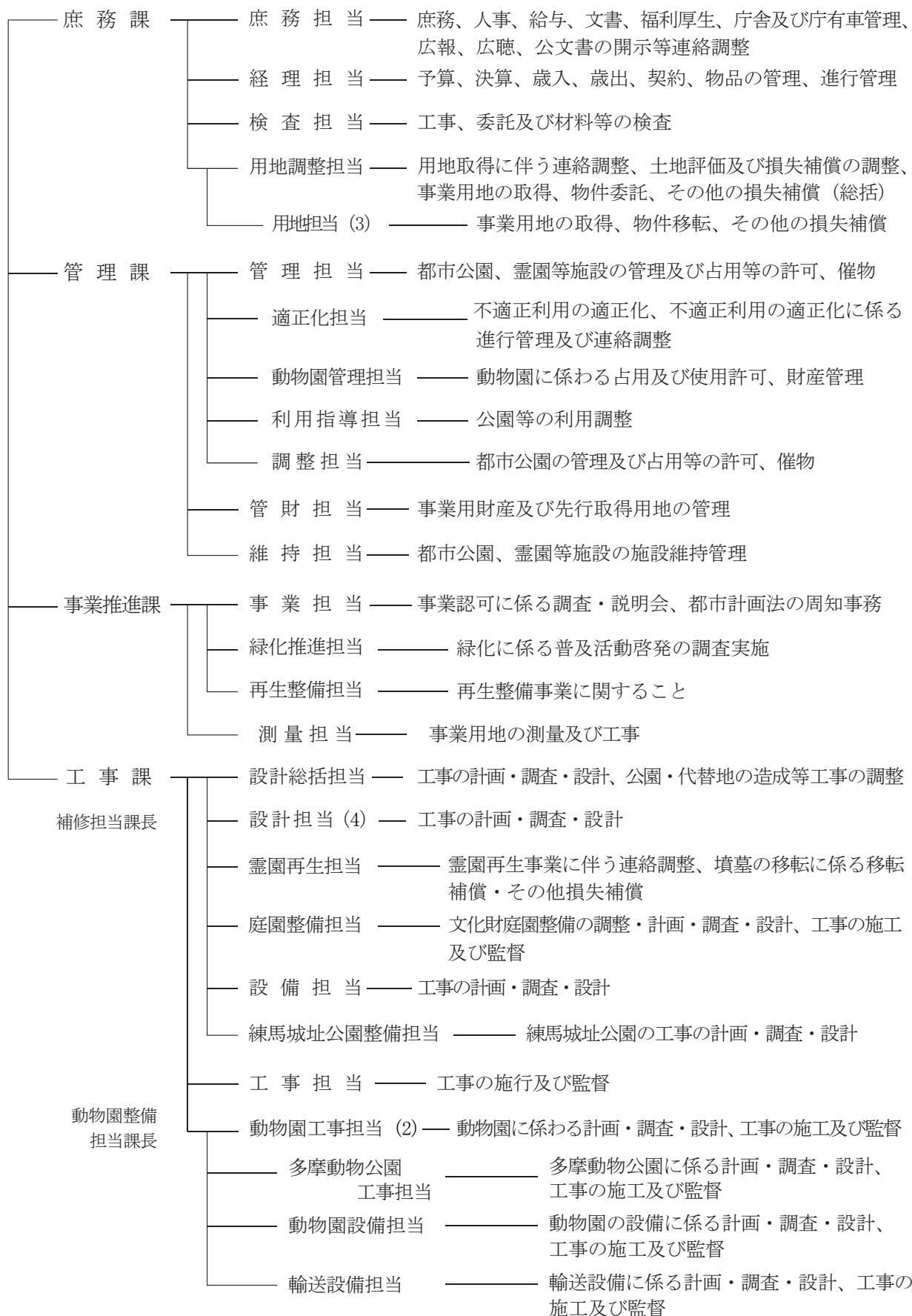
- 平成 26 年 4 月 1 日 ⇒ 23 区内における風致地区の業務の全部

○事務所の直営管理

- 令和 3 年 4 月 1 日 ⇒ 施設老朽化に伴う建替えのため、青山葬儀所が東部公園緑地事務所
直営管理となった。

3 組織と分掌事務

令和7年6月1日現在



4 職員の配置

所属	職種	管理職			一般職員								小計	会計年度任用職員 (アシスタント職員)	会計年度任用職員 (専門職員)	合計				
		事務	土木	造園	事務	土木	建築	機械	電気	造園	農園芸	1-技								
庶務課		1		1	11		1							14	1	2	17			
	課長代理 (庶務担当)				1									1			1			
	課長代理 (経理担当)				1									1			1			
	課長代理 (検査担当)					1								1			1			
	課長代理 (用地調整担当)				1									1			1			
	課長代理 (用地担当)				3									3			3			
	小 計	1		1	17	1	1							21	1	2	24			
管理課		1			8			1	1	<1>	2	<1>	1	1	<2>	15	9	4	<2>	28
	課長代理 (管理担当)				1									1						1
	課長代理 (適正化担当)				1									1						1
	課長代理 (動物園管理担当)				1									1						1
	課長代理 (利用指導担当)				1									1						1
	課長代理 (調整担当)				1									1						1
	課長代理 (管財担当)				1									1						1
	課長代理 (維持担当)										1			1						1
	小 計	1			14			1	1	<1>	3	<1>	1	1	<2>	22	9	4	<2>	35
事業推進課				1		3	1						5	10	1					11
	課長代理 (事業担当)												1	1						1
	課長代理 (緑化推進担当)												1	1						1
	課長代理 (再生整備担当)												1	1						1
	課長代理 (測量担当)					1								1						1
	小 計			1		4	1						8	14	1					15
工事課			1	2	<1>	2	6	5	3	4	12			<1>	35	2	2	<1>	39	
	課長代理 (設計総括担当)										1			1						1
	課長代理 (設計担当)					1			1	2				4						4
	課長代理 (設備担当)							1						1						1
	課長代理 (霊園再生担当)				1									1						1
	課長代理 (庭園整備担当)										1			1						1
	課長代理 (純馬城址公園整備担当)										1			1						1
	課長代理 (工事担当)										1			1						1
	課長代理 (動物園工事担当)						1				1			2						2
	課長代理 (多摩動物公園工事担当)										1			1						1
	課長代理 (動物園設備担当)								1					1						1
	課長代理 (輸送設備担当)							1						1						1
	小 計		1	2	<1>	3	7	6	5	6	20			<1>	50	2	2	<1>	54	
合 計		2	1	4	<1>	34	12	8	6	7	<1>	31	<1>	1	<3>	107	13	8	<3>	128

※再任用職員を<>内書

5 令和7年度予算と令和6年度決算

東部公園緑地事務所

歳入

(単位：千円)

科 目		令和7年度予算額	令和6年度決算額
使用料及手数料		8,735,301	5,715,232
使 用 料		8,727,775	5,707,291
土 木 使 用 料		8,727,775	5,707,291
	公園及付属施設	3,772,183	3,266,259
	動物園	4,663,138	2,158,732
	霊園葬祭施設	292,454	282,300
手 数 料		7,526	7,941
土 木 手 数 料		7,525	7,940
	証明閲覧	647	611
	霊園使用許可証交付	6,878	7,329
	諸手数料	1	1
	情報公開	1	1
諸 収 入		27,286	27,679
延滞金及加算金		0	0
	延滞金	0	0
弁償金及報奨金		0	0
	諸費弁償金	0	0
物品売払代金		9,907	15,989
	不用品売払代金	9,907	15,989
雑 入		17,379	11,690
	納付金	0	0
	雇用保険料納付金	0	0
庁舎管理費等収入		17,379	11,663
	光熱水費	17,379	11,663
	通信費	0	0
契約違約金		0	0
	契約違約金	0	0
雑 入		0	27
	雑 入	0	27
合 計		8,762,587	5,742,911

歳 出

(単位:千円)

会計	科目			7年度 予算額 ※1 (A)	6年度 予算額 ※1 (B)	予算増減 (A-B)	6年度 決算額 (C)	6年度 執行率 (C/B) %
	款	項	目					
一般	土木費			11,712,115	27,745,292	▲ 16,033,177	24,623,170	89%
		土木管理費		201	257	▲ 56	111	43%
			管理費	201	257	▲ 56	111	43%
		道路橋梁費		0	30,000	▲ 30,000	18,781	63%
			交通安全施設費	0	30,000	▲ 30,000	18,781	63%
	公園霊園費			11,711,914	27,715,035	▲ 16,003,121	24,604,278	89%
		管理費		28,799	28,399	400	19,954	70%
		公園管理費		479,032	461,671	17,361	498,149	108%
		動物園管理費		3,486	3,777	▲ 291	2,492	66%
		霊園葬儀所管理費		0	0	0	0	-
		公園整備費 (用地補償費内書)		8,254,981 (3,080,000)	23,909,792 (16,824,000)	▲ 15,654,811 (▲ 13,744,000)	21,902,673 (17,126,697)	92% (102%)
		動物園整備費		1,776,562	1,997,192	▲ 220,630	1,400,221	70%
		霊園葬儀所整備費		1,169,054	1,314,204	▲ 145,150	780,789	59%
	会	諸支出金			0	0	0	0
		諸費		0	0	0	0	-
			過誤納還付金	0	0	0	0	-
環境費			13,574	13,559	15	12,902	95%	
		環境保全費		13,574	13,559	15	12,902	95%
			自然環境費	13,574	13,559	15	12,902	95%
産業労働費			0	142,871	▲ 142,871	95,550	67%	
		労働費		0	142,871	▲ 142,871	95,550	67%
			就業促進費	0	142,871	▲ 142,871	95,550	67%
一般会計合計			11,725,689	27,901,722	▲ 16,176,033	24,731,622	89%	
用地	用地費			2,129,000	2,111,000	18,000	3,096,586	147%
		用地買収費		2,129,000	2,111,000	18,000	3,096,586	147%
			諸用地先行取得費	2,129,000	2,111,000	18,000	3,096,586	147%
総合計			13,854,689	30,012,722	▲ 16,158,033	27,828,208	93%	

※1 「予算額」は年度当初に本庁から示される配付計画額であるため、年度途中の追加配付を受け執行した場合、執行率が100%を超えることがある。

※2 就業促進費は、所起工分を記載している。

第2 主要事業

1 公園・緑地の計画及び事業

(1) 公園・緑地の役割

1400万人以上の都民が暮らし、日本の経済社会活動の中心地である首都東京において、都立公園は次のように多面的な機能や役割を果たす重要な都市インフラとして、なくてはならない存在である。

- ① 都市景観に風格をもたらすとともに、季節感を与え、人々にうるおいや安らぎを与える
- ② 大気浄化、ヒートアイランド現象の緩和など、良好な都市環境の提供
- ③ 自然とのふれあい、健康運動、文化活動等、多様な活動の拠点となるレクリエーションや憩いの場の形成
- ④ 雨水の貯留浸透の場、災害時の避難場所や救出救助活動拠点となるなど、都市の安全性向上
- ⑤ 多様な生物の生息空間となるなど、生物多様性の保全
- ⑥ 地域交流や連携の拠点、観光対象となるなど、豊かな地域づくりと地域の活性化

そして近年、気候変動により激甚化する風水害など「社会的な課題解決への緑の活用」や、新型コロナを契機とした「開放的な緑空間等へのニーズ」の高まり、さらには、関東大震災から100年、震災復興等も含め「積み重ねてきた緑の機能を最大限発揮」させることが求められており、公園・緑地の機能や役割が改めて認識されている。

しかしながら、東京においては、公園や緑地の面積は未だ十分とは言えず、上記の役割を果たすためには、都立公園を引き続き着実に整備していく必要がある。

(2) 公園・緑地計画の沿革

ア 公園の始まり

東京における公園の歴史は、1873年の太政官布達により、かねてより市民の慰楽の地として親しまれてきた上野、浅草、芝、深川及び飛鳥山の5公園が指定されたことに始まった。

その後、1889年に東京市区改正設計に基づく「公園」として、日比谷公園を始めとする49か所（約330ha）が新たに造成する計画的な公園として決定された。

イ 都市計画への位置づけ

1919年に都市計画法（旧法）が制定され、「公園」が道路や河川と同じ都市計画施設（用地を取得して設置する公共施設）として位置付けられた。その際、東京市区改正条例により決定された「公園」も都市計画法に基づく「公園」として位置付けられた。

その後、1923年に発生した関東大震災の復興計画の一環として新たに隅田公園、浜町公園、

錦糸公園の3大公園と52か所の小公園が都市計画決定され、ただちに事業化された。

1940年には都市計画法が改正され、新たに「緑地」（公園のような利用を目的とするものではなく、オープンスペースとして存在することを目的とする）が都市計画施設として位置づけられた。また、戦時中の1941年改正防空法により、都市に対する空襲被害が出た場合の避難場所、また延焼を防ぐ目的の空地として「防空緑地」が位置付けられた。

これを受け、砧・神代・小金井・舎人・水元・篠崎の通称「防空大緑地」が「緑地」として都市計画決定された。また、1942年には、駒沢・和田堀・上板橋・浮間・善福寺・石神井・高井戸等が、1943年には祖師ヶ谷・赤塚・東淵江等が都市計画決定され急速な事業化が図られた。

ウ 環状緑地計画の策定

1945年の太平洋戦争終了後、焦土と化した東京の再建のため、戦災復興大緑地構想が次の内容で策定された。

- ① 環状に一定（1～4 km）の間隔で、30haから100haの面積を有する大規模な緑地を配し、それぞれを広いグリーンベルトで結ぶ。
- ② 放射方向については、環状の大規模な緑地から都市中心部に向ってくさび状に緑地を導入し、生活圏をそれぞれ分離する。

この構想のもとに青山公園、明治公園など約3,200haの東京復興都市計画公園・緑地を決定した。

エ 都市公園法の制定と都市計画公園・緑地の再検討

戦後の急激な街並みの復興や占領政策等の諸情勢の変化に対応して1950年には都市計画全体が縮小された。それに伴い公園・緑地計画も廃止縮小など後退を余儀なくされた。

1956年には、公園の管理法として「都市公園法」が施行された。それまでの公園は、単なる空き地として見られることが多く、他に機能が転用され、あるいは不適正な管理が行われることが相次いでいた。「都市公園法」は都市公園の保存を図るため、廃止の際の代替公園の設置、占用物件の制限、建築面積の制限など空地の保存を主眼としていた。この「都市公園法」の制定により、都市公園が将来にわたって存続する施設であることの根拠を得た。

一方、日本経済の立ち直りは早く、各方面にわたる復興と成長は急激な都市の膨張をひきおこした。これにより公園や緑地の用地確保が困難となった。そのため、今までの都市計画公園・緑地の再検討が行われることになった。

1957年以前の公園・緑地計画は以下の系列の計画が併存していた

- ・東京市区改正設計の系列（日比谷公園を含む都市計画中央公園ほか）
- ・関東大震災からの震災復興特別都市計画系列（隅田公園ほか）
- ・東京特別都市計画による緑地（防空緑地ほか）
- ・太平洋戦争からの復興特別都市計画系列（明治公園ほか）

これらの都市計画公園・緑地について東京全体の公園の配置計画を見据えた再検討がなされた。従来の公園のうち事業施行不可能なものを廃止し、その代わりに河川、池沼、社寺境内地等の公共空地の積極的確保が新たに加えられた。この計画は、東京都市計画公園・緑地として全て都市計画審議会に諮られ一元化された。これにより、現在の東京都市計画公園・

緑地の骨格が形づくられた。

オ 近代～現代の公園緑地計画

1970年代から1980年代初頭にかけては、緑のマスタープランの策定とも相まって政府機関の移転跡地や、基地返還跡地などに大規模な公園（光が丘公園、大泉中央公園など）が計画決定された。

（3）公園・緑地の整備事業

ア 戦前・戦後の公園事業

都市計画決定された公園・緑地を開設するためには、都市計画事業としての認可を得たうえで、用地を取得し、整備工事を行う必要がある。

東京の都市計画公園・緑地の事業は、度重なる大災害や戦災からの復興、社会経済情勢の変化を踏まえた変更を余儀なくされてきた。

1957年の都市計画公園・緑地の再検討以前に事業がほぼ完了したのは、東京市区改正設計（旧設計）による日比谷公園、震災復興計画による55公園及び砧・神代・小金井・舎人・水元・篠崎の6箇所の防空大緑地の用地買収であったが、他の都市計画公園・緑地は事業化に難航し、次々と計画の縮小を求められた。

また、用地買収をほぼ終えていた防空大緑地は、食糧増産の場として地元の農事組合等に貸付け、防空緑地としての機能を維持してきた。しかし、戦後の農地解放により、買収済みであった緑地745haのうち、463haを手放すこととなった。この際に失われた緑地については、後の都市計画事業として改めて着手され、用地取得、整備を進めながら、現在に至っている。

イ 大規模用地の公園事業化

1970年代から1980年代初頭にかけて、政府機関の移転跡地や、基地返還跡地に計画された光が丘公園や大泉中央公園など大規模な公園が計画決定され、順次整備開園されていった。

ウ 「都市計画公園・緑地の整備方針」の策定

イのように一団の用地が確保できた公園は、整備事業がスムーズに進んだ一方、その他の民有地の事業化は困難を極めた。1957年に都市計画決定したものの整備に着手していない区域は2005年当時約2,600haにのぼっていた。

都市計画公園・緑地の区域内の土地は、都市計画法第53条に基づく建築規制（木造2階建て、地下なし）がかかるため、地権者の負担が大きく、都市計画公園の計画的な事業化が求められた。

このため、2006年には東京都都市計画審議会答申「東京らしいみどりをつくる新戦略」を踏まえ「都市計画公園・緑地の整備方針」を都と区市町合同で策定した。

整備方針の内容としては、未整備の都市計画公園・緑地のうち今後10年以内に整備に着手する区域を「優先整備区域」として指定・公表する一方、優先整備区域外の区域については建築規制の内容を緩和するものであった。

「都市計画公園・緑地の整備方針」はその後2011年、2021年の2度改定された。現在はこの2021年改定の整備方針に沿って、「優先整備区域」の2030年度までの事業認可取得に向けて取り組んでいる。なお、当所管内の「重点公園・緑地」は22公園・緑地、「優先整備区

域」は面積約52haである。

エ 「2050東京戦略」における公園整備事業

2025年3月策定の「2050東京戦略」においては、「東京グリーンビズの旗印の下、緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を強化し、東京の緑の価値を総合的に向上」させるとし、2035年度には都立公園の面積を累計2,188haとする目標である。

(4) 事業説明・用地測量

都市計画公園・緑地の、事業認可の取得に先立ち、事業関係者の方々からのご理解・ご協力が得られるよう、「事業・測量説明会」を開催し、都市計画事業の仕組みや計画内容の説明を実施している。また、認可告示後には「用地説明会」を開催するなどして、用地取得に対する理解を深める機会を設けている。

事業における測量は、関係者の貴重な財産である土地を取得させていただくため、境界や面積を確定し、評価額を算定するための基礎となる重要な作業である。そのための境界確定作業は、各道路管理者の図面や公図や登記資料等に基づき再現した境界点を、関係人立会で確認し、細やかな配慮と、適切な判断を進めている。

都市計画公園・緑地事業の状況

令和7年6月1日現在

都市計画			事業認可				面積ha	施行期間	主な都立公園名称
公園・緑地名	面積ha	告示年月日 番号	当初告示年月日 番号	面積ha	最終告示年月日 番号	面積ha			
芝公園	330	昭和43年10月17日 建 3106	平成1年8月10日 建 1415	0.1	令和5年2月20日 関 37	0.32	平成1年8月10日 ～令和10年3月31日	芝公園	
清澄公園	9.66	昭和32年12月21日 建 1689	平成10年1月8日 建 19	0.38	令和5年2月20日 関 38	0.44	平成10年1月8日 ～令和10年3月31日	清澄庭園	
善福寺公園	10.89	昭和32年12月21日 建 1689	昭和27年12月19日 建 1471	2.01	令和3年1月5日 関 003	0.27	昭和27年12月19日 ～令和11年3月31日	善福寺公園	
			令和5年2月17日 関 35	0.36	令和5年2月17日 関 35	0.36	令和5年2月17日 ～令和9年3月31日		
善福寺川緑地	28.58	昭和35年3月31日 建 796	昭和35年3月31日 建 796	18.4	令和4年3月17日 関 106	18.8	昭和35年3月31日 ～令和11年3月31日	善福寺川緑地	
和田堀公園	54.4	昭和51年12月24日 都 1256	昭和32年11月25日 建 1483	5.79	令和3年1月5日 関 004	25.96	昭和32年11月25日 ～令和12年3月31日	和田堀公園	
			平成25年6月14日 関 301	0.3	令和6年3月19日 関 105	0.3	平成25年6月14日 ～令和11年3月31日		
祖師ヶ谷公園	53.33	昭和32年12月21日 建 1689	平成28年8月31日 関 281	4.3	平成28年8月31日 関 281	4.3	平成28年8月31日 ～令和8年3月31日	祖師ヶ谷公園	
			平成1年3月20日 建 665	4.03	令和4年3月16日 関 99	7.37	平成1年3月20日 ～令和10年3月31日		
祖師ヶ谷公園	53.33	昭和32年12月21日 建 1689	平成30年4月18日 関 165	0.73	令和5年2月20日 関 39	0.73	平成30年4月18日 ～令和10年3月31日	祖師ヶ谷公園	
			令和4年1月25日 関 023	0.1	令和4年1月25日 関 023	0.1	令和4年1月25日 ～令和8年3月31日		

都市計画		事業認可				主な都立公園名称	
公園・緑地名	面積 ha	告示年月日 番 号	当初告示年月日 番 号	面積 ha	最終告示年月日 番 号	面積ha	施行期間
上板橋公園	43.6	昭和51年7月13日 都 686	平成8年3月7日 建 393	0.4	令和4年3月17日 関 105	4.2	平成8年3月7日 ～令和13年3月31日
			平成26年4月18日 関 225	4.97	令和6年3月19日 関 106	4.97	平成26年4月18日 ～令和16年3月31日
石神井公園	41.8	令和4年10月3日 都 1313	平成25年6月14日 関 302	0.3	令和6年3月19日 関 107	0.3	平成25年6月14日 ～令和11年3月31日
			昭和28年3月30日 建 367	1.99	令和2年2月5日 関 29	9.0	昭和28年3月30日 ～令和9年3月31日
練馬城址公園	26.66	昭和32年12月21日 都 1689	令和3年6月8日 関 216	13.42	令和3年6月8日 関 216	13.42	令和3年6月8日 ～令和16年3月31日
舎人公園	69.5	平成8年8月23日 都 981	昭和51年10月6日 建 1354	5.0	令和3年1月5日 関 005	65.9	昭和51年10月6日 ～令和8年3月31日
浮間公園	12.75	昭和32年12月21日 建 1689	昭和35年12月9日 建 2596	12.15	令和3年1月27日 関 21	0.2	昭和35年12月9日 ～令和9年3月31日
赤塚公園	32.1	平成11年2月26日 都 184	平成29年9月11日 建 1555	0.5	令和5年2月20日 関 40	0.75	平成29年9月11日 ～令和10年3月31日
水元公園	145.0	平成16年8月13日 都 1288	昭和62年4月11日 建 957	3.2	令和4年3月16日 関 100	106	昭和46年12月2日 ～令和10年3月31日
			昭和46年12月2日 建 1921	6.3			

都市計画		事業認可				主な都立公園名称		
公園・緑地名称	面積 ha	告示年月日 番号	当初告示年月日 番号	面積 ha	最終告示年月日 番号		面積ha	施行期間
篠崎公園	86.5	平成27年10月2日 都 1485	平成27年7月31日 関 304	1.0	令和4年3月17日 関 104	1.0	平成27年7月31日 ～令和12年3月31日	
			平成5年1月12日 建 46	0.42	令和7年3月4日 関 65	6.5	平成5年1月12日 ～令和12年3月31日	
			平成30年4月18日 建 166	7.88	平成30年4月18日 建 166	7.88	平成30年4月18日 ～令和15年3月31日	
宇喜田公園	20.0	昭和32年12月21日 建 1689	平成18年3月22日 関 126	0.6	令和4年3月16日 関 98	0.32	平成18年3月22日 ～令和10年3月31日	宇喜田公園

※番号欄 都：東京都告示、建：建設省告示、関：関東地方整備局告示を示す。

2 事業用地の取得

当所管内での用地取得は、平成10年度から都内23区全域を対象にしており、令和7年度は、主に篠崎公園・和田堀公園・城北中央（上板橋）公園において用地取得を行う予定である。
 なお、令和7年度の用地取得予定公園及び令和6年度の用地取得実績は次表のとおりである。

(1) 令和7年度 用地取得予定

区分		用地	補償
		規模 m ²	棟
事業 地	篠崎公園	4,115	11
	上板橋公園 (城北中央公園)	2,251	7
	和田堀公園	2,249	8
合計		8,615	26

(2) 令和6年度 用地取得実績

区分		用地	補償
		規模 m ²	件 - 棟
事業 地	篠崎公園	4,333	54 - 26
	上板橋公園 (城北中央公園)	1,067	6 - 7
	和田堀公園	717	7 - 4
	目黒公園 (林試の森公園)	12,054	-
	善福寺公園	3,680	1 - 0
	石神井公園	2,913	-
合計		24,764	68 - 37

3 動物園の計画及び事業

(1) 都立動物園・水族園の状況

動物園・水族園は、多様な野生動物の行動や生態、生息環境を伝え、その保全に取り組む必要性を学ぶ場であり、あわせて憩いや安らぎの場を提供している。

都は、平成 23 年 9 月に都立動物園・水族園の目指す姿とそれを実現するための取組の方向を示す「都立動物園マスタープラン」を公表、プランに基づき野生動物の保全に貢献し、賑わいを創出するための取組を行ってきた。計画終了に伴い、令和 2 年 11 月に「第 2 次都立動物園マスタープラン」を新たに策定、社会環境の変化等に適切に対応し、持続可能な社会の実現を目指す方向性と取組を示した。

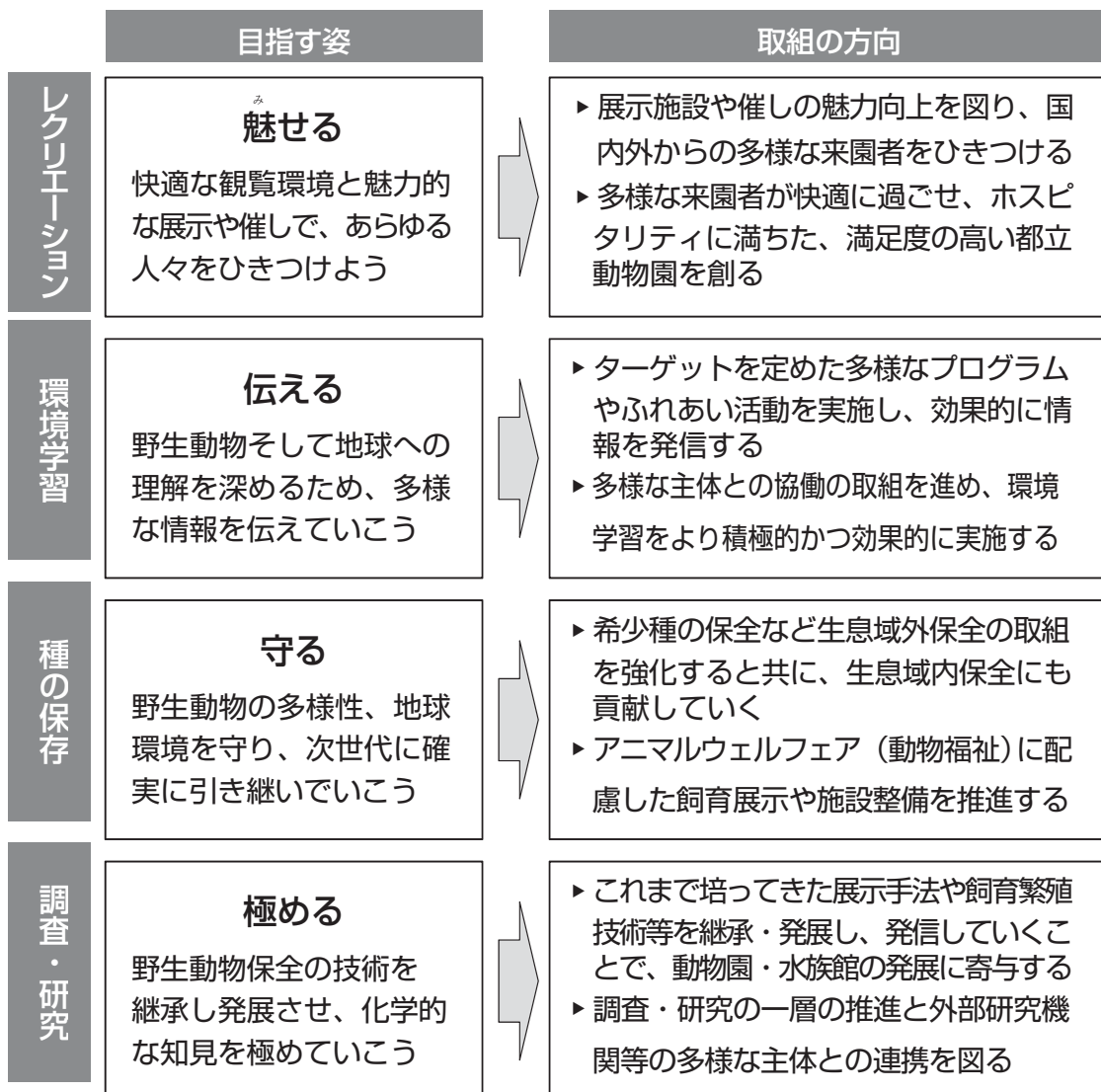
(2) 都立動物園マスタープラン

ア 計画期間と対象

令和 3 年度から令和 12 年度までの概ね 10 年間

都立動物園・水族園（建設局所管の恩賜上野動物園、多摩動物公園、葛西臨海水族園及び井の頭自然文化園、環境局所管の大島公園動物園）

イ 都立動物園の目指す姿と取組の方向



ウ 施設更新における方向性

施設を更新していく上では、動物園や水族館という施設の特異性を踏まえた対応が不可欠なことから、常に最新の情報や知見に基づき、計画的に取り組む必要があり、本計画だけでなく、飼育展示計画や教育普及計画、各園基本方針などを踏まえて検討する必要がある。各園のエリア区分やエリア内での施設の配置や規模などについては、動物の飼育展示施設単体で捉えるのではなく、各展示エリア全体の中でバリアフリーを含めた利用動線、各施設や機能の集約・再配置等の視点で、柔軟に検討していく。

(3) 各動物園の沿革

ア 恩賜上野動物園

恩賜上野動物園は、明治6年に博物館、動物園の適地として計画された国立博物館の附属施設として出発しており、同14年1月に着工、翌15年3月に竣工・開園した日本最古の動物園である。創設の目的は博物教育に主眼が置かれ、開園面積は約1ha、農商務省の所管であった。その後、同19年に宮内省所管となり、帝室直営の博物館施設として予算にも恵まれ、施設の改良増設がされている。

大正13年に東京市に下賜された後は、檻や囲いをできるだけ廃し、動物と観覧者との距離を縮めた生態観察に留意した施設として改造している。第二次大戦末期には空襲などによる被害を考慮して猛獣等を処分する事態となったが、施設への被弾は一部のみで終戦を迎えた。

戦後は市民のレクリエーションの場として動物園全盛時代を迎え、昭和24年に東照宮周辺や不忍池北側、同26年には不忍池北側を拡張した。昭和27年に海水水族館の新設、交通局による連絡用モノレールの運行が昭和32年に開始され、複数年にわたり建設したアフリカ生態園が昭和34年に竣工、昭和39年には80周年記念事業として水族館が開館した。一方、動物舎は建造から約50年を経過し老朽化したため開園100周年を目指しての大改造計画に着手し、新ゾウ舎（昭和43年）、ゴリラ舎（同44年）、猛禽舎（同45年）、動物病院（同48年）、猛獣プロムナードとペンギン池（同49年）等が順に完成した。

また、昭和47年10月には日中国交回復を記念してジャイアントパンダ2頭が贈呈され、入園者は倍増し年間800万人近くまで及んだ。平成20年4月に「リンリン」が死亡したことでジャイアントパンダが一時不在となるが、三年後の平成23年2月には新たなペア「リーリー」と「シンシン」が来園した（令和6年9月中国に返還）。都は中国野生動物保護協会と協定を締結し、共同でジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトを進めており、平成29年6月12日には「シャンシャン」（令和5年3月中国に返還）が、令和3年6月23日には恩賜上野動物園初の双子となる「シヤオシヤオ・レイレイ」が誕生した。

近年は、生息環境を再現する生態的展示や動物本来の行動を導き出す行動展示、動物福祉の向上などを目指し、動物舎及び老朽化施設の再整備を進めている。そのほか、耐震化のための正門建て替えを行い、その後南側に幹回り2.8mのクスノキを移植したうえでスタッフ事務所を整備し令和6年7月に完成した。

また、モノレールについては老朽化に伴い令和5年12月に廃止し、現在は既存モノレールに代わる新たな乗り物の整備に向けて、既存施設の解体及び新たな乗り物の基本・実施設計を進めている。

その他、動物舎等の施設の完成は次のとおり。

ゴリラ・トラの住む森（平成5年～平成7年）、両生爬虫類館（平成11年）、ゾウのすむ森（平成16年）、クマたちの丘（平成18年）、アイアイのすむ森（平成21年）、ホッキョクグマとアザラシの森（平成23年）、繁殖センター（平成24年）、管理事務所（平成25年）、動物医療センター（平成27年）、子ども動物園すてっぷ・弁天門（平成29年）、さるやまキッチン(無料休憩所)（令和元年）、パンダのもり（令和2年）

イ 多摩動物公園

多摩動物公園は、昭和31年1月に建設が開始され昭和33年5月5日に開園した。恩賜上野動物園の入園者数及び動物収容数の増大に伴うセカンドゾーン実現のため適地調査が実施され、郊外の広い敷地での無柵放養式展示と豊かな自然環境の中での動物の保護増殖の推進が可能な場所として、当時の南多摩郡七生村の丘陵地28.7haが入手された。

開園当初の展示はアジアの動物を地理的に配置したものであったが、来園者からのアフリカ産の動物展示要望を受け、昭和36年に既設北側隣接に約15haの用地を取得し、ライオン園を含むアフリカ園を開園した。また、昭和36年に発足した昆虫園は当時世界的にも希少な施設であったが、昭和44年に本館を開設し施設の充実が図られた。

昭和39年には京王電鉄の乗り入れが実現し道路整備も進み入園者数が増加、ライオンバスの運行が開始された。その後、昭和49年には開園時の二倍を超える年間190万人に達している。また、昭和59年にはオーストラリアから2頭のコアラが来園し爆発的な人気となり、昭和63年には大温室形式の昆虫生態園が完成した。

近年は、緑豊かで広大な敷地を十分に活用したダイナミックな展示施設が整備され人気を博している。アジア園では、アジアゾウの群れ展示に向け、ゾウ舎本体を平成29年、外構を含めた整備は令和3年7月に完成した。また、アフリカ園ではサバンナキッチン（無料休憩所）やライオンバスステーションと放飼場の改築工事に続き、キリン舎の耐震上の課題や老朽化の解消に向けた改築工事が令和4年3月に完成した。令和4年度以降はシマウマ・オリックス舎の改築や、サバンナに生息するキリンやグレービーシマウマ等の放飼場整備を行い、令和6年度に整備が完了した。

その他、動物舎等の施設の完成は次のとおり。

アフリカゾウ舎（平成6年）、アフリカゾウ展示施設（平成8年）、チンパンジー舎及びマレーバク展示施設（平成12年）、昆虫園本館リニューアル（平成14年）、オランウータンの森（平成17年）、インドサイ舎（平成19年）、ウォークインボードケージ（平成20年）、アジアの平原（平成24年）、サバンナキッチン（無料休憩所）（平成30年）、ライオンバスステーションと放飼場（令和3年）、アジアゾウ舎および展示施設リニューアル（令和3年）

ウ 葛西臨海水族園

葛西臨海水族園は、恩賜上野動物園開園100周年記念事業として計画され、昭和59年には葛西臨海公園内に建設されることが決定した。昭和62年3月に工事が着工され、平成元年10月10日に開園を迎えた。葛西臨海公園の中央部に広がる水族園の敷地は約8.6ha、3階建て地上から30.7m

の高さ（最高部）のガラスドームが特徴的な建物である。噴水やテントデッキ、海との一連の眺望と周辺の公園を一体のものとして整備している。

施設内容は、マグロの群泳が見られる2,184トンのドーナツ型大水槽の「大洋の航海者」、熱帯・温帯・寒帯の海、そして北極や南極の海の生き物も展示する「世界の海」、波や潮の干満を起こす「渚の生物」、ジャイアントケルプの繁茂する「海藻の林」、小笠原諸島から伊豆七島を経て東京湾までの生物「東京の海」、エトピリカ等海鳥の「海鳥の生態」、波の大プールの「ペンギンの生態」で構成され、開園以来、飼育展示技術の高さや、希少種の保存の取組が高い評価を受けている。近年は、経年による施設の劣化が進行し外装材の脱落や躯体コンクリートの損傷等の事象が生じており、長期保全計画（10年間／平成29年度）を策定し、順次、改修を進めている。令和6年度にはペンギン舎の改修を終えた。

なお、公園緑地部が所管する新水族園整備はPFI手法で実施するもので、令和4年12月に事業者と契約締結し、令和10年の供用を目指して事業を進めている。

エ 井の頭自然文化園

井の頭自然文化園は、昭和9年に井の頭恩賜公園にある井の頭池の中之島に小動物園を設置したことに始まり、御殿山地区の自然生態園地区を含めた約11.6haを「東京市井の頭恩賜公園自然文化園」として、昭和17年5月17日に開園した。当園は動植物中心の野外博物館としての性格を持ち、戦時中の手軽なレクリエーション施設として人気を集めたが、戦争末期には爆撃により休園状態となった。しかし、戦後の復興は早く、昭和22年に7月には水生物館が再開した。その後、昭和28年4月にスポーツランドが開設され、昭和29年3月にゾウ舎が完成し、アジアゾウはな子が来園した。

また、井の頭自然文化園の特徴の一つである彫刻園は、故北村西望氏が長崎の平和記念像製作の場としてアトリエを園内に設けたことに始まり、多数の作品が寄贈された。その後、彫刻館の新築やアトリエ館が改修され、平成5年には現在の彫刻館A館、B館、アトリエ館、屋外彫刻からなる彫刻園が完成した。その他、本園にはアカマツや雑木林を活かした武蔵野ハビタット、野鳥の森、リスの小径等の日本産動物の飼育施設、来園者に人気のモルモットふれあいコーナーや、山野草園、ツバキ園などが散在している。分園には水生物館、ハクチョウの池、水禽舎など水に関係のある施設が集められ、特に水生物館では日本産淡水魚及び両生類の飼育展示と保護増殖を行っている。当園は、令和4年5月17日には開園80周年を迎えた。

4園の飼育動物総数（令和7年3月31日現在）

施設名	恩賜上野動物園	多摩動物公園	葛西臨海水族園	井の頭自然文化園
総数	292種	242種	971種	161種
	2,405点	16,231点	39,818点	3,290点
哺乳類	88種	53種	－	28種
鳥類	97種	77種	6種	60種
爬虫類	66種	5種	2種	8種
両生類	27種	7種	7種	10種
魚類	7種	5種	457種	39種
無脊椎動物	7種	95種	499種	16種

4 公園の整備

(1) 一般公園造成 (公園の新規造成)

都民の公園緑地に対するニーズへの対応、都市の防災性の向上などの観点から、都市計画に基づき公園の拡大に取り組んでいる。成果として管内(区部)の都立公園面積は1,000ヘクタールを超え、「都民一人当たりの公園面積(都内全域)」も令和7年4月1日現在5.81㎡となっている。

また、篠崎公園では、平成24年3月に公園全体の高台化を盛り込んだ整備計画を決定しており、江戸川沿いのA地区では、国土交通省の高規格堤防事業や江戸川区の区画整理事業、街路事業、緑地事業との連携による「篠崎公園地区高台まちづくり事業」を進めている。

令和7年度事業と令和6年度の整備実績は以下のとおりである。

令和7年度 公園整備費(一般公園造成)

計画 2,670百万円(用地、補償関係を除く)

一般公園造成

芝公園	…園地整備基本・実施設計、園地整備工事
戸山公園	…園地整備工事
上野恩賜公園	…園地整備工事、便所建築工事
林試の森公園	…園地整備基本設計、実施設計、施設解体工事
善福寺公園	…園地整備基本・実施設計
祖師谷公園	…園地整備設計、埋蔵文化財調査
善福寺川緑地	…園地整備実施設計、園地整備工事
和田堀公園	…園地整備基本・実施設計、園地整備工事
城北中央公園	…園地整備基本設計、園地整備工事
和田堀公園	…園地整備基本・実施設計、園地整備工事
石神井公園	…園地整備工事
練馬城址公園	…園地整備基本設計、解体設計、準備工事、施設解体工事
舎人公園	…園地整備基本設計、園地改修工事、園地整備工事
中川公園	…園地整備実施設計
水元公園	…園地整備実施設計、園地整備工事
篠崎公園	…園地整備基本設計、園地整備実施設計、盛土造成工事、園地整備工事、施設撤去移設工事、遊具撤去移設工事、管理所等基本設計

令和6年度 主な整備箇所、整備費及び整備の概要

箇所	金額(千円)	概要
高井戸公園、亀戸中央公園、赤塚公園、石神井公園、篠崎公園、上野恩賜公園、林試の森公園ほか	1,623,432	園地整備ほか

(2) 既設公園の整備

開園以来、長年多くの人々に利用されてきた公園では、施設の老朽化が進んでいる。こうした施設の改修にあたっては、都民要求の具体化や施設レベルの向上に取り組み、防災機能の向上など公園の諸機能を継続・拡充する整備を行っている。

また、文化財庭園では施設の保存復元に取り組んでいる。このほか、生物多様性の確保や環境負荷の少ない施設への転換、水辺の再生などに、それぞれの公園で取り組んでいる。

令和7年度の主要事業及び令和6年度の整備状況は以下のとおりである。

平成7年度公園整備費（既設公園の整備、世界をおもてなしする庭園の再生等）

計画 12,972百万円（補償費は除く）

予算事項	主な内容
防災公園の整備	潮風公園護岸改修 猿江恩賜公園、尾久の原公園、中川公園ほか防災照明等整備 ほか
既設公園の整備	日比谷公園再整備 芝公園流れ改修 戸山公園施設整備、改修 上野恩賜公園園地改修 亀戸中央公園流れ改修 猿江恩賜公園園地改修、建物改築 夢の島公園熱帯植物館設備改修 砧公園園地・施設改修 駒沢オリンピック公園施設改修設計 代々木公園水景施設改修、園陸上競技場改修 善福寺公園便所改築設計 和田堀公園施設改修 城北中央公園陸上競技場改修設計 赤塚公園園地改修 石神井公園施設改修 光が丘公園陸上競技場改修 東綾瀬公園園地施設改修 舎人公園施設改修 水元公園ドッグラン改修 篠崎公園便所改築 大島小松川公園施設改修 ほか
公園施設の長寿命化推進	橋梁改修（木場公園、水元公園）ほか

世界をおもてなしする庭園の再生	浜離宮恩賜庭園（お伝い橋修復ほか） 小石川後楽園（通天橋修復、脇塀復原設計ほか） 旧岩崎邸庭園（園地改修） 旧古河庭園（施設修復） 六義園（便所改築設計） 清澄庭園（施設修復） ほか
-----------------	--

令和6年度 予算事項別整備費及び整備の概要

予算事項	金額（千円）	概要
防災公園の整備	202,274	潮風公園護岸改修、宇喜田公園、蘆花恒春園、中川公園、猿江恩賜公園ほか防災照明灯整備 ほか
既設公園の整備	3,298,235	代々木公園陸上競技場便所ほか改築、代々木公園水景施設改修、砧公園小サッカー場改修、汐入公園ほか遊具改修、和田堀公園競技場改修、猿江恩賜公園ほかバリアフリー改修、東綾瀬公園ほか園地改修 ほか
公園施設の長寿命化推進	186,642	橋梁改修（木場公園、水元公園）
世界をおもてなしする庭園の再生	483,400	浜離宮恩賜庭園（お伝い橋修復ほか） 旧芝離宮恩賜庭園（施設改修工事ほか） 旧岩崎邸庭園（園地改修設計ほか） 旧古河庭園（洋館外壁修理工事、木橋改修設計） 小石川後楽園（通天橋修復設計ほか） ほか

(3) 上野恩賜公園の再生整備事業等

上野恩賜公園を「文化の森」として再生していくことを目的として、学識経験者や公園内の文化施設管理者等を構成員とする検討会を設置し、検討結果を受けて、平成21年9月に「上野恩賜公園再生基本計画」を策定した。

本計画に基づき、順次再整備を進め、平成24年5月には「文化の森」の中核となり、多様な文化イベントを開催できる広場として、オープンカフェや新しい噴水を備えた竹の台広場が完成した。また、平成28年3月には、袴腰エリアに上野恩賜公園の歴史性を感じられる壁泉を、平成29年5月に不忍池エリアに眺望を楽しめる散策路等を、平成30年3月に恩賜上野動物園表門前の広場を整備した。令和2年12月にはJR上野駅の公園口前広場が完成した。

令和7年度 公園整備費

計画 69百万円（(1)、(2)の内数）

区民館跡地	…園地整備工事、14号トイレ建築工事
13号便所	…13号便所建築工事
夜間景観整備	…夜間景観整備設計、工事

令和6年度 箇所別整備費及び整備の概要

箇所	金額（千円）	概要
区民館跡地	78,990	園地整備設計、園地整備工事、14号トイレ建築工事
奏楽堂周辺広場	261,200	園地改修工事、6号便所建築工事ほか
13号便所	1,730	便所建築工事ほか
夜間景観整備	8,250	夜間景観整備設計
その他	3,157	サイン改修工事

※金額は当該年度該当分のみを記載

(4) 日比谷公園の整備事業

日比谷公園では、平成29年10月より外部有識者を交えた日比谷公園ランドデザイン検討会で検討を進め、平成30年12月に日比谷公園の将来像とそれを実現するための方向性を示す「日比谷公園ランドデザイン～5つの提言～」を公表した。

本提言を踏まえ、令和元年10月、東京都公園審議会に「都立日比谷公園再生整備計画」について諮問し、令和3年3月に答申を得て、同年7月に再生整備計画を策定した。また、本計画を実現するための事業計画として、令和5年7月に「バリアフリー日比谷公園プロジェクト」を公表した。整備にあたっては、公園をエリア分けして段階的に進めていくこととしており、令和5年9月から第二花壇の再整備を行い、令和6年9月、芝庭広場として供用を開始した。令和6年度より、大噴水・小音楽堂周辺の再整備に着手している。また、大音楽堂（野音）の解体工事に着手する予定である。

令和7年度 公園整備費

計画 3,154百万円（(2)の内数）

大噴水・小音楽堂周辺…実施設計、準備工事、整備工事ほか
第一花壇・心字池周辺…基本設計、実施設計ほか
大音楽堂（野音）…解体設計、実施設計ほか

令和6年度 箇所別整備費及び整備の概要

箇所	金額（千円）	概要
第二花壇周辺	577,216	整備工事ほか
大噴水・小音楽堂周辺	156,620	基本設計、実施設計、準備工事、整備工事ほか
第一花壇・心字池周辺	29,958	基本設計、測量ほか
大音楽堂（野音）	60,231	解体実施設計、実施設計、解体工事ほか

※金額は当該年度該当分のみを記載

5 文化財庭園保存修復

名勝や史跡等文化財に指定されている都立庭園は、文化遺産としての整備・管理が必要である。その基本的な考え方や保存、活用・運営、整備について、保存活用計画^(※)を定め、学識経験者や文化庁担当者等で構成する委員会の指導、助言を受けながら、老朽化した施設の修復や失われた建造物の復元等に取り組んでいる。

(※保存活用計画：平成16年度に前身となる「保存管理計画」を策定、28年度に「活用」も重要な柱として「保存活用計画(共通編)」を策定し、その後順次、庭園別計画が策定されている。)

これまで浜離宮恩賜庭園では、護岸の修復や大泉水周辺の茶屋群の復元等を、小石川後樂園では白糸の滝の修復及び唐門の復元を、また旧岩崎邸庭園では、新管理所の整備や芝庭の復元等を進めてきた。

今後も、浜離宮恩賜庭園におけるお伝い橋の修復、小石川後樂園における通天橋の修復や唐門に接続する脇塀の復元整備を始め、各庭園における園地や施設、建物の保存・修復事業に引き続き取り組んで行く。令和7年度主要事業計画及び令和6年度の主な整備状況は、以下のとおりである。

令和7年度公園整備費(世界をおもてなしする庭園の再生)計画 908百万円((2)の内数)

浜離宮恩賜庭園	お伝い橋修復工事、御茶屋屋根修復工事
六義園	トイレ改築設計
旧岩崎邸庭園	園地改修工事
小石川後樂園	通天橋修復準備工事、通天橋修復工事、脇塀復元設計
清澄庭園	施設修復工事(※菖蒲田橋の架け替え)
旧古河庭園	施設修復準備工事(※擬木橋の架け替え)

令和6年度 箇所別整備費及び整備の概要

箇所	金額(千円)	概要
浜離宮恩賜庭園	139,300	お伝い橋修復ほか
旧芝離宮恩賜庭園	48,300	施設改修準備工事、施設改修工事ほか
旧岩崎邸庭園	30,180	園地改修設計ほか
旧古河庭園	191,790	洋館外壁修理工事、木橋改修設計
小石川後樂園	46,230	通天橋修復実施設計、唐門脇塀復元設計
清澄庭園	27,590	施設修復準備工事

6 霊園・葬儀所の整備（霊園再生事業等）

公営葬祭施設として5霊園[青山・谷中・染井・雑司ヶ谷・八柱・付属施設（雑司ヶ谷霊園崇祖堂・八柱霊園納骨堂）]及び2葬儀所（青山・瑞江）は数多くの葬祭利用のほか、都市内の貴重な緑空間としての役割も担っている。

青山、谷中、染井、雑司ヶ谷の区部霊園では、「霊園」と「公園」の良好な共存を実現するため霊園再生事業を進めている。この事業では、施設整備区域の墓所移転により立体埋蔵施設や広場等を整備するとともに、原状回復工事や改葬手続きを東京都が代行する特例の墓所返還及び無縁墓所の改葬工事により空地拡大を図っている。令和6年には、本事業により雑司ヶ谷霊園樹林型合葬埋蔵施設を整備した。

また、区外霊園である八柱霊園では園路改修等を実施しており、青山・瑞江葬儀所ではいずれも新たな施設の整備等、建替えを進めている。

これらの事業により施設の保全や利便性向上、貸付可能墓所の確保、さらには災害時の避難場所機能の向上や良好な緑の保全にも努めている。

令和7年度 霊園葬儀所整備費

計画 4,502百万円

青山霊園	霊園再生事業、霊園利用広場整備工事、現況測量	ほか
谷中霊園	霊園再生事業、区内案内板改修工事	ほか
雑司ヶ谷霊園	霊園再生事業、再生支援施設新築工事	ほか
染井霊園	霊園再生事業、立体埋蔵施設設計	ほか
八柱霊園	墓所貸付準備工事、仮管理事務所設置工事	ほか
青山葬儀所	葬儀所建替え工事	ほか
瑞江葬儀所	葬儀所建替え工事	ほか

令和6年度 箇所別整備費及び整備の概要

箇所	金額（千円）	概要
青山霊園	47,995	区内案内板改修工事 ほか
谷中霊園	8,349	広場等整備設計 ほか
染井霊園	860	立体埋蔵施設設計 ほか
雑司ヶ谷霊園	61,744	樹林型合葬埋蔵施設工事、広場整備設計 ほか
八柱霊園	199,277	細園路改修工事、仮管理事務所設計 ほか
青山葬儀所	925,832	葬儀所建替え工事 ほか
瑞江葬儀所	2,993,811	葬儀所建替え工事 ほか

7 動物園の整備

(1) 世界に発信する首都東京の動物園整備

動物園の更なる魅力向上を目指して、「第2次都立動物園マスタープラン」（令和2年11月策定）に基づき整備を進める。

令和7年度動物園整備費 計画 1,290,692 千円

主要工事等

恩賜上野動物園

- ・ 輸送施設解体工事（令和6年度明許繰越、翌債）（R6繰越予算 249,114千円）
- ・ 輸送施設整備設計（令和6年度翌債）（R6繰越予算 85,800千円）
- ・ バードハウス再整備準備工事 240,000千円

多摩動物公園

- ・ トキ展示ゾーン整備建築工事（令和6－7年度債務負担行為）540,000千円
- ・ トキ展示ゾーン追加工事 150,000千円

令和6年度整備概要 令和6年度動物園整備費 1,049,926 千円（令和5年度明許繰越含む）

箇所	主な整備
恩賜上野動物園	スタッフ事務所新築工事 令和5－6年度債務負担行為 輸送施設解体工事 令和6年度明許繰越、翌債※
多摩動物公園	シマウマ・オリックス舎改築工事（令和5年度明許繰越） トキ展示ゾーン整備建築工事（令和6－7年度債務負担行為）※

※令和6年度末現在、工事中の案件

(2) 動物園施設整備

老朽化した既存施設等の改修を行う。

令和7年度動物園整備費 計画 1,929,100千円

主要工事等

恩賜上野動物園

- ・サル舎新築工事（令和7－8年度債務負担行為）
- ・鳥インフルエンザ対策工事
- ・動物飼育展示施設改修工事

多摩動物公園

- ・動物病院・検疫舎新築工事（令和7－8年度債務負担行為）
- ・アフリカゾウ舎改修工事
- ・情報通信設備改修工事
- ・自家発電設備改修工事（令和6年度明許繰越）

葛西臨海水族園

- ・改修工事
- ・水処理設備改修工事

井の頭自然文化園

- ・老朽施設補修工事（令和6－7年度、令和7－8年度債務負担行為）

都立動物園

- ・高圧受変電設備改修工事（令和6－7年度、令和7－8年度債務負担行為）
- ・照明設備改修工事

令和6年度整備概要 令和6年度動物園整備費 1,779,477千円（令和5年度明許繰越含む）

箇所	主な整備
恩賜上野動物園	サル山改築準備工事（令和6－7年度債務負担行為）※ 動物展示施設改修工事
多摩動物公園	深井戸改修工事（令和5年度明許繰越）
葛西臨海水族園	屋外展示施設改修工事（令和5－6年度債務負担行為） 建物補修工事（令和5－6年度債務負担行為）
井の頭自然文化園	水処理設備改修工事 老朽施設補修工事（令和6－7年度債務負担行為）※ 電気設備改修工事

※令和6年度末現在、工事中の案件

8 検査業務

当事務所での令和6年度における、専任検査員による検査の回数は、393回であった。

令和6年度の専任検査員による検査の回数

	計
工 事	77
委 託	119
材 料 検 査	18
単価契約（工事）	39(222)
単価契約（委託）	70(463)
用地関係・清掃委託等	70
総検査件数	393

注：（ ）内は指示件数

*単契（工事、委託）の検査回数は109回であるが、指示件数は685件。

9 苗木の育成

公園の造成、道路・街路築造等の局事業用樹木を供給するために、東京都では苗圃を設け、苗木の育成を行っている。最近では、特殊樹木（宇宙ケヤキ、ローソンヒノキ、桜の品種物等）、上野恩賜公園のサクラの後継樹育成、街路樹の一時保管なども行っている。

当所では、水元公園の苗圃を年間管理しており、令和6年度の育成関連経費及び令和6年度苗圃状況は、以下のとおりである。

令和6年度 苗木育成関連経費

箇所別	金額（千円）	主な整備内容
水元公園苗圃	7,306	保護管理
計	7,306	

苗圃状況

令和7年6月1日現在

箇所別	面積（㎡）	栽培種数	本(株)数	備考
水元公園苗圃	25,785	74	1,157	うち供給可能本数1,139本・株

なお、上野恩賜公園のサクラの後継樹育成については、「上野桜守の会」が管理を行っている。

10 既設公園の維持

令和6年度 公園管理費の執行

(千円)

公園名	科目	委託料	工事請負費	主な内容
上野恩賜公園		289,260	43,301	園地施設維持・施設運営・業務委託・警備委託等
夢の島公園		30,967	0	第五福竜丸展示館業務委託
浜離宮恩賜庭園		1,613	0	ガイドサービス運用保守等
六義園		1,613	0	ガイドサービス運用保守等
日比谷公園		15,154	3,482	日比谷公会堂維持管理・警備業務等
その他		28,637	2,822	未開園地管理ほか
計		367,244	49,605	

11 ホームレス及び屋台対策

(1) ホームレス対策

厳しい経済、雇用情勢等を背景に大都市を中心としたホームレスの増加が大きな社会問題となり、平成12年度から全国に先駆け都区共同で自立支援事業を開始した。

平成14年8月には「ホームレスの自立の支援等に関する特別措置法」が施行され、公園管理者は自立支援に係る施策との連携により、施設の適正な利用に必要な措置をとることとされた。

東京都では自立支援事業により大きな成果を挙げてきたが、公園内のブルーテントが減らないことから、都区共同で平成16年度から公園内でテント生活をするホームレスに対し、借上げ住宅を低額で2年間貸し付け、就労や生活面での支援を図りながら自立を促す「ホームレス地域生活移行支援事業」が実施された。公園管理者は本事業の実施に連携し、公園内の巡回監視を強化すると共に退去指導等の取組により、テント生活するホームレスを多く減少させることができた。

今後も、定期巡回など監視強化による新規テント張りの阻止、福祉施策の活用もしながら退去指導等による既存テントの減少に努めると共に巡回美化清掃の実施による衛生面での環境改善など公園本来の機能の確保を図っていく。

(テント数の推移)

	施行年度	施行公園名	令和4年5月	令和5年5月	令和6年5月	令和7年5月
	ホームレス地域生活移行支援事業の公園 (※公園独自の取組による退去数含む。)	平成16年度	戸山公園	0張	0張	0張
平成17年度		上野恩賜公園	3張	2張	2張	2張
		代々木公園	16張	16張	16張	15張
平成19年度		芝公園	0張	0張	0張	0張
		青山公園	1張	1張	1張	0張
		駒沢公園	0張	0張	0張	0張
		善福寺川緑地・和田堀公園	0張	0張	0張	0張
		光が丘公園	0張	0張	0張	0張
その他の公園 (※公園独自の取組による)			0張	0張	0張	0張
計			20張	19張	19張	17張

(巡回美化清掃の実施)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
対象公園数	5公園	5公園	5公園	4公園	4公園
清掃回数	60回	60回	56回	48回	48回

(2) 屋台対策

公園内で恒常的に営業する無許可の屋台と放置された屋台により、公園の適正利用が阻害されていた。この状況の改善を図るため、都立公園における屋台対策が始まった。

上野恩賜公園においては、平成17年度に公園管理所、保健所及び警察署と連携し、警告、指導等を実施した結果、常設屋台と留置屋台を完全に排除した。このとき一部残った季節的に出店する屋台についても平成 23 年以降は完全に阻止している。

代々木公園及び明治公園においても、平成18年度に公園管理所、保健所及び警察署と連携し、警告や指導等により違法屋台の適正化を図ったが、生活基盤となっている営業屋台の救済処置の要望が出された。

そこで、平成 19 年 3 月 1 日から新たな取組として、事前に申請者の資格審査をし、一定の条件の下、試行として特例的な占用許可を認めることとした。

このほか、戸山公園、日比谷公園、水元公園等においても違法屋台の適正化に向けて警告、指導等を実施し、平成 24 年 7 月までにすべての都立公園から違法屋台を排除した。

なお、代々木公園と明治公園では、秩序ある営業が行われるよう、平成 19 年度から公園緑地部公園課と共に定期的に監察指導を実施していたが、明治公園では平成26年 9 月に、代々木公園では平成31年 2 月に屋台営業を終了した。

この結果、すべての都立公園において屋台の出店がなくなった。

12 都民との協働

東部公園緑地事務所管内の各公園では、自然観察会、公園友の会、ガイドや愛犬グループなど、多数の団体が自主活動を行っている。市民活力による公園の利用促進と活性化を図り、新たな価値の創出を目的として、公園における市民活動の協働を推進している。

[東部公園緑地事務所による協働の取組]

- ① 上野恩賜公園では、平成 18 年度より、江戸期以来の名所としての桜の保全・育成・普及を図るため、地域が中心となり、都民との協働による「上野桜守の会」を発足し、1) 保全活動、2) 普及啓発活動、3) 更新活動、4) 募金活動、5) 地域活性化・地域連携・協力を目的に活動を行っている。
- ② 水元公園では、東京都、葛飾区、地元町会、企業、ボランティアグループ、各種活動団体等がメンバーになっている水元公園地域活性化協議会を設置し、水元公園地域の活性化に向けた取組を実施している。

都民や利用者、地域の暮らしと密着した自治会・町会、独自のアイデアやノウハウを持つ民間事業者、様々な専門性を持つNPO、幅広い分野の有識者、学校、研究機関等の様々な主体と連携、協働し、それぞれの強みを活かしてマネジメントを展開し、パークマネジメントマスタープランに掲げられた施策の実現を図っていく。

13 思い出ベンチ事業

本事業は「民間活力の導入・規制緩和」の一環として、ベンチについて個人や企業からの寄付を受け、都が設置するものである。この事業は、結婚など、心に残る人生の節目や、野球大会優勝などの記念にメッセージを刻んだプレートをつけたベンチを寄付していただくことによって、公園を今以上に身近に感じ愛着を持っていただくとともに、公園施設の充実を図り、親しみやすい公園をつくることを目的としている。平成15年度に日比谷公園100周年事業にあわせて事業を開始した。令和6年度、東部公園緑地事務所管内では、計23基の応募があり、水元公園、光が丘公園、砧公園、八柱霊園などに設置した。

《これまでの実績》

	公園等名	H15~R1	R2	R3	R4	R5	R6	合計
公園	日比谷公園	202	-	-	-	-	-	202
	芝公園	38	2	4	2	3	1	50
	青山公園	1	0	1	0	0	-	2
	戸山公園	1	0	7	2	0	0	10
	上野恩賜公園	74	-	-	-	-	-	74
	横網町公園	2	1	-	-	-	-	3
	猿江恩賜公園	3	0	1	1	0	2	7
	夢の島公園	1	0	0	0	0	0	1
	木場公園	2	1	5	1	1	1	11
	東京臨海広域防災公園	1	0	0	0	0	1	2
	林試の森公園	2	0	0	1	1	1	5
	蘆花公園	6	2	1	0	0	0	9
	砧公園	4	3	3	4	4	3	21
	駒沢オリンピック公園	4	1	1	0	0	0	6
	祖師谷公園	3	0	0	0	0	0	3
	代々木公園	40	9	0	6	5	-	60
	善福寺公園	11	0	1	2	1	0	15
	善福寺川緑地	12	0	2	0	1	1	16
	和田堀公園	1	0	0	0	0	0	1
	汐入公園	1	0	1	0	0	1	3
	浮間公園	2	0	0	0	0	0	2
	赤塚公園	4	0	0	0	0	0	4
	城北中央公園	2	0	0	1	6	1	10
	石神井公園	25	3	4	3	0	3	38
	光が丘公園	23	2	2	1	2	2	32
	東綾瀬公園	1	0	1	1	0	0	3
	舎人公園	31	1	6	1	0	1	40
	水元公園	11	2	0	2	3	2	20
	葛西臨海公園	6	-	-	-	-	-	6
	宇喜田公園	0	0	0	1	0	0	1
高井戸公園	0	0	0	0	0	1	1	
計		514	27	40	29	27	21	658
霊園	谷中霊園	3	0	0	0	0	0	3
	雑司ヶ谷霊園	3	0	0	0	0	0	3
	染井霊園	10	0	0	0	0	0	10
	八柱霊園	2	0	1	1	1	2	7
	計		18	0	1	1	1	2
動物園	恩賜上野動物園	48	3	0	1	0	0	52
	多摩動物公園	38	2	0	2	0	0	42
	井の頭自然文化園	33	1	0	1	0	0	35
	計		119	6	0	4	0	0
合計			33	41	34	28	23	810

第3 施設の概要

1 あらまし

都市公園は、地方公共団体が都市計画施設であるか都市計画区域内において設置する公園や緑地、または国が一つの都府県の区域を越えるような広域的な見地から若しくは国家的な記念事業等として設置する公園や緑地である。

都市公園の始まりは、明治6年の太政官布達（現在の**上野恩賜公園**等の5公園）にさかのぼる。その後、市街地の発展、整備に伴ってその数を増やし、戦争等の幾多の変遷の中で消長を繰り返してきたが、その設置・管理は市（都）条例によって行われてきた。

昭和31年には、公園の設置・管理を統一的に規定する、公園にとって画期的といえる都市公園法が制定され、現在の制度となった。

都市公園の規模や内容は、都市の形態によって、また、地域の立地・社会条件によって種々様々であるが、都においては比較的規模が大きいもの、または特殊な性格を有するものを設置・管理している。

東部公園緑地事務所は、主に特別区内にある公園等の施設（一部は多摩部、都外にある。）を所管している。そのうち、当事務所が直接管理しているものは**上野恩賜公園**、**青山葬儀所**、**特殊施設（日比谷公会堂）**であり、その他指定管理者に**8庭園**、**41公園**、**5霊園**、**4動物園**、**1葬儀所**及び**特殊施設（日比谷公園大音楽堂、夢の島熱帯植物館）**の管理を委託している。

2 指定管理者制度

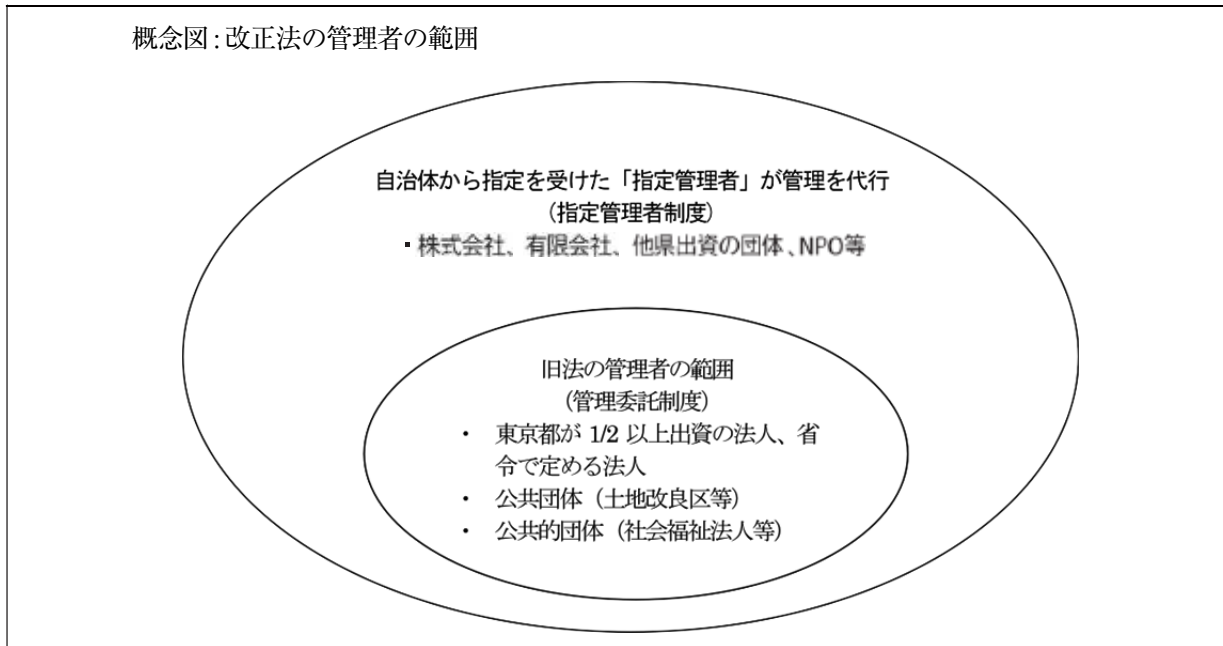
【指定管理者制度】

- 平成15年6月地方自治法改正により創設。同年9月から施行。
- 公の施設の管理について、地方公共団体の指定を受けた「指定管理者」が管理を代行する制度。
- 公の施設の管理運営について、民間事業者等の参入を可能とし、効率的・効果的な管理運営により住民サービスの向上を図ることを目的としたもの。

(1) 制度の概要

従来、公の施設の管理者については、法令で規定された公共的団体等に限定されていたが、平成15年6月の地方自治法の改正により、指定管理者の対象が広く民間事業者に拡大されたほか、管理の代行ができるようになった。この改正により、これまで公の施設の管理を受託することができなかったNPOや株式会社等の民間事業者にも門戸が開かれるようになり、公の施設の管理・運営に広く民間のノウハウを活用することが可能となった。

概念図：改正法の管理者の範囲



指定管理者制度と旧法の管理委託制度との比較

	指定管理者制度（改正法）	管理委託制度（旧法）
法的効果	指定管理者に公の施設の使用許可を行わせる場合、公の施設の利用関係は、指定管理者と利用者間に生じる。〈管理の代行〉	公の施設の利用関係は、都と利用者間に生じる。
要件	法人その他の団体 但し、都が指定するもので、あらかじめ都議会による議決を経る必要がある。	以下の団体に限定 ①都の出資法人のうち一定の要件を満たすもの ②公共団体 ③公共的団体（例：社会福祉法人等）
行政に留保される管理範囲	①公物警察権に基づく管理行為 ②基本的利用条件の設定、使用料の強制徴収、不服申立てに対する決定等、公物管理権に基づく管理行為のうち権力的性格を有するもの	③個々の利用関係の設定行為（使用許可とその取消）
	①個々の利用関係の設定行為（使用許可とその取消） ②施設管理のうち、非権力的性格の管理行為 ※利用料金制度の採用	
条例の規定内容	指定の手続き、管理の基準、業務の範囲その他必要な事項	委託の基本的事項（委託の条件、委託の相手方、委託料等）
自治体の関与	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者は毎年度終了後事業報告書を作成し、都に対し提出 知事は、指定管理者に対して、業務又は経理の状況に関する報告徴収、実地調査、必要な指示が可能 都は、指定管理者による管理を継続することが適当でないとき、指定の取消、業務の全部又は一部の停止命令が可能 	<ul style="list-style-type: none"> 知事は、管理受託者に対して、業務又は経理の状況に関する報告徴収、実地調査、必要な指示が可能

(2) 指定管理者の責務

旧法の管理委託制度では、使用に係る承認や認可及びその取消は都が行うものであったが、指定管理者制度では、条例で規定することにより、指定管理者は使用許可及びその取消を行うことが可能となる。

指定管理者は、公の施設の管理を行うことにより様々な責務を負う。

ア 住民利用の公平性の担保

公の施設は、地方自治法の中にも明記されているとおり、住民の福祉を増進させる目的をもってその利用に供するための施設であり、その利用に際しては、平等且つ公平な取扱いをしなければならない。

また、「正当な理由」がない限り、施設の利用を拒むことはできない。

イ 情報の適切な管理

公の施設の管理において知り得た個人情報等に関しては、都の機関と同様、個人情報等の保護につき配慮する必要がある。

(※各施設の設置条例及び協定などで規定)

ウ 行政処分の代行に伴う責務

指定管理者に使用の許可及びその取消を行わせる場合、指定管理者が行政庁に代わって行政処分を行う（代行する）こととなるため、指定管理者は、行政手続条例に規定する「行政庁」に含まれる。

このため、使用許可の取消など不利益処分を行う際には、行政手続条例に従う必要がある。また、不利益処分に不服がある者の審査請求に基づき、知事により当該処分が取り消される場合がある。

エ 出納等の適正な管理

指定管理者の管理業務及び委託金に係る出納は、財政援助団体等監査の対象となる。

3 公園・管理施設一覧表

(令和7年6月1日現在)

① 直営公園

① 公園 面積 538,761.46 m²

公園の名称等		沿革とその特徴
上野恩賜公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 明治元年8月に官収された後、明治6年1月の公園制定に関する太政官布達により、芝、浅草、深川、飛鳥山の4公園とともに日本最初の公園に指定され、明治9年5月9日に開園式が行われた。</p> <p>上野恩賜公園の都市計画上の位置づけは、都市計画制度の第一歩である「東京市区改正条例」の公布(明治21年8月16日勅令第62号)を受け、明治22年5月20日東京府告示第37号をもって市区改正設計(通称「旧設計」)公園第6号「上野公園」として告示された。その後、明治36年3月31日東京市告示第36号(通称「新設計」)の告示を経て、昭和32年の東京市計画公園・緑地(通称「再検討」)による公園・緑地の一元化が現計画の起点となっている。</p> <p>土地の所管も、文部省、内務省、農商務省、宮内省等を経て帝室博物館の管轄に移ったが、明治31年皇室御料地となり、大正13年に皇室の御慶事のため動物園とともに東京市に下賜され、以来上野恩賜公園と称し、東京市の管理となった。その後、第2次世界大戦のため、一般公園としての機能が失われたが、戦後の復旧整備を完了した後、年とともに文化的諸施設が建設され、現在では日本の文化・芸術の中心として大きな役割を果たしている。</p> <p>また、京成上野駅改良工事に伴う公園修復計画に基づく工事は、昭和50年8月から施工され昭和51年6月30日に竣工した。この工事により新たに公園施設として壁泉(忍の池)と流れ(しのぶ川)が設置された。</p> <p>上野恩賜公園野外ステージ(水上音楽堂)については、昭和27年に完成以来、不忍池を望める開放的な特色ある施設として多くの都民に親しまれてきた。施設の老朽化が著しくなったため、昭和63年6月に多目的に利用できる施設として改築し、さらに平成9年3月には雨天でも利用できるよう開閉式の屋根を設置した。</p> <p>当公園は、上野の観光文化拠点の中心にあることから、都内はもとより全国から利用者が訪れるため、従来から公園案内機能の充実が望まれていた。このニーズに応えるため、平成元年5月1日に上野恩賜公園総合案内所を開設した。平成2年7月に開所した上野恩賜公園緑の相談所は、平成11年度末に閉鎖した。</p> <p>平成9年度に上野恩賜公園再生整備事業を開始した。平成10年4月28日には、C地区(大噴水の東側)、同11年3月にはA地区(さくら通り)、同12年3月にはA地区(広場部)同13年3月J地区(上野駅前広場)、同14年3月B地区(中央広場)、同15年3月E地区(噴水周辺)、同16年3月F及びH地区(行幸道路外)、</p>
	(明治22年5月20日)(府告37)市区改正 昭和32年12月21日 令和3年3月4日(82.5ha)	
	2 開園年月日	
	明治6年10月19日	
	3 面積 (m²)	
	538,761.46	
	4 位置	
	台東区上野公園、池之端三丁目	
	5 交通	
	JR「上野駅」徒歩2分 東京メトロ銀座線、日比谷線「上野駅」徒歩4分 京成本線「京成上野駅」徒歩1分	
6 主な施設		
野球場兼競技場(1面・照明付)、ボート場、野外ステージ、上野恩賜公園総合案内所、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立西洋美術館、東京都美術館、上野の森美術館、日本芸術院、日本学士院、東京文化会館(公園区域外)、駐車場、便益施設(精養軒等)、教養施設(西郷隆盛像等)		
7 文化財等の指定		
旧東京音楽学校奏楽堂(国指定重要文化財(建造物)=台東区管理) 旧東京科学博物館本館(国立科学博物館日本館)(国指定重要文化財(建造物)=(独)国立科学博物館管理) 国立西洋美術館本館(国指定重要文化財(建造物)=(独)国立美術館国立西洋美術館管理)		

(以下次頁につづく)

	公園の名称等	沿革とその特徴
上野恩賜公園		<p>同 17 年 3 月 K 地区（野球場）、をそれぞれ再生整備した。</p> <p>平成 21 年 4 月 1 日より、上野公園管理所が廃止され、東部公園緑地事務所直轄管理となる。</p> <p>上野公園グランドデザイン検討会報告書に示された考え方を踏まえ平成 21 年 9 月に策定した「上野恩賜公園再生基本計画」に基づき、平成 24 年 5 月 12 日、竹の台広場に新しい噴水やオープンカフェを整備した。その後、順次園内の再整備を進め、平成 30 年 3 月、動物園表門前広場の再生整備が完了した。令和 2 年 3 月 20 日、上野公園口南北ロータリーの供用を開始した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>上野恩賜公園の来園者へ感謝を込めて、来園感謝祭『150+1』を開催した。また、桜花期対応では昨年に引き続き、さくら通りを一方通行に規制し、来園者に「歩きながらのお花見」を楽しんでいただいた。</p>

② 葬儀所 面積 9,559.65 ㎡

	公園の名称等	沿革とその特徴
青山葬儀所	<p>1 開設 大正 14 年 6 月 1 日</p> <p>2 面積 (㎡) 9,559.65</p> <p>3 位置 港区南青山二丁目 33 番 20 号</p> <p>4 交通 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩 3 分 東京メトロ銀座線・半蔵門線・都営大江戸線「青山一丁目駅」徒歩 12 分</p> <p>5 使用者及び埋葬者数 令和 2 年度実績 (I 種 8h、II 種 4h 計) 37 件 令和 2 年度葬儀等 (※) 実績件数 18 件 ※法要の利用もある為</p> <p>6 文化財等の指定 なし</p> <p>7 施設の概要 建築面積 2,512 ㎡ (待合室含む) 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建 式 場 315 ㎡ 椅子 300 席 付属設備 1,402 ㎡ 安置室 (個室)、遺族室、待合室、懇親会室、受付、本部室、更衣室、クローク、駐車場 他</p>	<p>青山葬儀所は、明治 39 年に青山寺の住職であった正田運猷により落成・竣工、経営されていたもので、大正 14 年に東京市が買い受け、引き継いだ公営葬儀所であり、一般的には青山斎場として知られている。</p> <p>昭和 20 年 5 月に戦災で焼失したが、昭和 28 年 12 月に現在地へ移転・木造平屋建で再建された。その後、昭和 49 年 2 月に鉄筋鉄骨造の洋風建築として改築され、昭和 60・61 年度に改修された。</p> <p>平成 18 年度からは指定管理者の管理運営となり、内装等の施設改修が行われた。</p> <p>式場は 300 席 (椅子の追加でプラス約 40 席) であるが、30 名程度の家族葬でも利用されている。付属施設としてご遺体安置室、専用保冷庫、宿泊可能な遺族室、会葬者控え室などがあり、これら各室は静かな中庭に面し、回廊で結ばれている。</p> <p>また平成 23 年度 11 月には、新たに待合室が建設された。椅子 320 脚 (最大 450 席収容)、テーブル各種 38 台等を常備し、専用の配膳準備室も併設、立食などで懇親会も行われている。</p> <p>当施設では主に社葬、団体葬で、会葬者 1,000 名から 2,000 名という大規模な葬儀が多かったが、最近では 500 名以下の利用が多く、著名人が密葬で使用するケースも増えている。ご法要や生前葬での利用も可能になっている。1 日 1 件の利用に限られており、緑の木々、庭園に囲まれた自然環境の中で、ご遺族には施設全体を占用して頂き、安らかで落ち着いた時間と共に、ご葬儀を執り行って頂いている。</p> <p>施設の老朽化が顕著であることから、令和 3 年 3 月 31 日をもって施設の使用を休止し、改築工事を進めている。</p>

③ 主な公園内施設

公園の名称等		沿革とその特徴																				
日比谷公会堂	1 開設	<p>【沿革・特徴】</p> <p>日比谷公会堂は、時の市長であった後藤新平伯の発議により、これに賛同した安田善次郎翁の志を継いだ遺族の寄付金を元に、市政会館付属ホールとして建設され、昭和4年10月19日に竣工と同時に東京市に対して、その運営管理が委譲されたものである。</p> <p>この建物は、昭和20年9月から同24年10月まで進駐軍に接収されていた一時期を除き、開設以来多目的ホールとして音楽会、舞踊、演劇、式典、各種大会等の催し物に利用されてきた。</p> <p>特に、第二次世界大戦から戦後の一時期にかけて、内外の著名演奏者による音楽会のほとんどは当公会堂で行なわれ、日本のカーネギーホールとして、我が国の音楽文化の向上に果たした役割は非常に大きい。</p> <p>昭和30年代の後半以降、都内の各地に近代的なホールが次々と建設されているが、2,000人以上を収容できる廉価な施設は都内には数少なく、かつ、著名度や地理的・環境的条件等から、一定の需要がある。</p> <p>一方で、設備については、相当に老朽化しているものの、昭和32年以降、継続的に舞台、客席、冷暖房装置、消防設備、身体障害者設備等の改修及び舞台の張替を行なうなど、時代の要求に応じられるよう努力してきた。</p> <p>平成21年に開設80周年を迎え、これまでの歴史を改めて確認し、未来へと継承させていくスタートとした。</p> <p>なお、平成28年4月1日より、耐震化のため利用を休止している。</p> <p>令和5年3月東京都指定有形文化財に指定されている。</p>																				
	昭和4年10月19日																					
	2 位置																					
	千代田区日比谷公園1番3号																					
	3 交通																					
	JR・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」徒歩15分 東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」徒歩5分 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩3分																					
	4 文化財等の指定																					
	市政会館及び日比谷公会堂（都指定有形文化財（建造物）＝（公財）後藤・安田記念 東京都市研究所及び都管理）																					
	5 施設の概要																					
	<table border="0"> <tr> <td>建物面積</td> <td>6,032 m²</td> </tr> <tr> <td>舞台面積</td> <td>198 m²</td> </tr> <tr> <td>間口</td> <td>20 m</td> </tr> <tr> <td>奥行</td> <td>10 m</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>7.3m</td> </tr> <tr> <td>客席</td> <td>2,074 m²</td> </tr> <tr> <td>階下</td> <td>1,052 席</td> </tr> <tr> <td>階上</td> <td>1,022 席</td> </tr> <tr> <td>身体障害者専用施設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>客席 11 席、エレベーター 1 基</td> <td></td> </tr> <tr> <td>車椅子 3 基</td> <td></td> </tr> </table>		建物面積	6,032 m ²	舞台面積	198 m ²	間口	20 m	奥行	10 m	高さ	7.3m	客席	2,074 m ²	階下	1,052 席	階上	1,022 席	身体障害者専用施設		客席 11 席、エレベーター 1 基	
建物面積	6,032 m ²																					
舞台面積	198 m ²																					
間口	20 m																					
奥行	10 m																					
高さ	7.3m																					
客席	2,074 m ²																					
階下	1,052 席																					
階上	1,022 席																					
身体障害者専用施設																						
客席 11 席、エレベーター 1 基																						
車椅子 3 基																						

委任公園

① 庭園 面積 595,514.92 m²

公園の名称等		沿革とその特徴
旧岩崎邸庭園	1 計画決定 平成 13 年 2 月 28 日 平成 21 年 11 月 30 日 (2.07ha)	<p>【沿革・特徴】 旧岩崎邸庭園は、旧三菱財閥の創始者岩崎彌太郎氏によって、明治 11 年 8 月にこの地が購入され、岩崎家の本宅として使用されていたもので、洋館と和館が併置する典型的な明治期の大邸宅で、岩崎彌太郎の子息、久彌氏の邸宅であった。</p> <p>往時は 15,000 坪の敷地に 20 棟もの建物があったが、現在は書院造の和館広間と、英国人建築家ジョサイア・コンドル氏の設計である洋館と撞球室が現存するのみで、芝庭も同期に作庭されたものだが、建築と同じ和洋折衷の形式となっていて、文化史に残る明治期の貴重な財産である。</p> <p>昭和 36 年に洋館と撞球室が、また昭和 44 年には和館大広間と洋館東脇にある袖塀が、そして、平成 11 年には宅地・煉瓦塀を含めた屋敷全体が、国の重要文化財に指定されている。</p> <p>平成 13 年 2 月 28 日に公園として都市計画決定されたのを受けて、平成 13 年 10 月 1 日には和館と庭園を開園した。</p> <p>洋館と撞球室については、文化庁による改修工事の完了に伴い、平成 15 年 4 月 25 日に追加開園した。</p> <p>平成 23 年に隣接地を取得し、令和 2 年度より茅町本邸内実測図（大正 6 年）に基づき、芝庭を往時の姿に復元するための整備を行った。</p> <p>【近年の取組等】 これまで非公開であった洋館 2 階「控室」を整備し、令和 7 年 3 月 26 日から新規公開した。公開に当たり、室内には金唐草紙の額装作品を展示し、岩崎邸を象徴する伝統文化発信の場として活用した。</p>
	2 開園年月日 平成 13 年 10 月 1 日	
	3 面積 (m²) 20,709.25	
	4 位置 台東区池之端一丁目、文京区湯島四丁目	
	5 交通 東京メトロ千代田線「湯島駅」徒歩 3 分 東京メトロ銀座線「上野広小路駅」徒歩 10 分 都営大江戸線「上野御徒町駅」徒歩 10 分 J R 山手線「御徒町駅」徒歩 15 分	
	6 入園料 一般及び中学生 400 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 200 円 みどりの日 (5 月 4 日)、都民の日 (10 月 1 日) は無料	
	7 主な施設 洋館、撞球室、和館	
	8 休園日 12 月 29 日から翌 1 月 1 日	
	9 文化財等の指定 旧岩崎家住宅 (国指定重要文化財 (建造物) =建造物及びその敷地)	
	公園の名称等	
旧芝離宮恩賜庭園	1 計画決定 (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 東海道線緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 36 年 12 月 25 日 (4.19ha)	<p>【沿革・特徴】 元々海面であったこの地は、明暦 (1655 年～1658 年) 頃に埋め立てられ、延宝 6 年 (1678 年) に老中・大久保忠朝の邸地となった。忠朝は、この地に上屋敷を建てることとし、藩地小田原から庭師を呼び、庭園を作らせて「楽寿園」と命名した。</p> <p>その後、幾人かの手にわたり、幕末には紀州徳川藩の芝屋敷となった。明治 4 年には、有栖川宮家の所有となったが、明治 8 年に宮内省がこれを買上げ、翌明治 9 年に芝離宮となった。</p> <p>本庭園は、江戸時代の典型的な回遊式潮入林泉庭園で、品川湾の展望をほしそのままにしたものである。</p> <p>園内の建物や樹木は関東大震災により焼失した後、大正 13 年 1 月に昭和天皇の御成婚記念として下賜され、園地の復旧、整備を施して同年</p>
	2 開園年月日 大正 13 年 4 月 20 日	
	3 面積 (m²) 43,175.36	
	4 位置 港区海岸一丁目	
	5 交通 J R・東京モノレール「浜松町駅」徒歩 1 分 都営大江戸線、浅草線「大門駅」徒歩 5 分 ゆりかもめ「竹芝駅」徒歩 10 分	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
旧芝離宮恩賜庭園	6 入園料 一般及び中学生 150 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 70 円 みどりの日 (5 月 4 日)、都民の日 (10 月 1 日) は無料	<p>4 月に公開された。</p> <p>その後、景観の主たる展望も前面海岸の埋立により失われるに至ったが、その地割は未だに残り、往時の面影を偲ばせている。</p> <p>昭和 37 年度に、東海道新幹線の敷地として 4,992 m²を割譲し、昭和 44 年には研修所跡地を所管換により取得し、昭和 45 年 6 月 1 日に 1,371.34 m²を児童公園 (無料) として追加開園した。</p> <p>平成 7 年 4 月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、サービスの向上を図っている。</p> <p>令和 3 年度に、隣接する旧東京浜松町海員会館敷地を所管換により取得した。</p> <p>【近年の取組等】 開園 100 周年の記念イベント「時をつむぐ～旧芝離宮の灯り～」を実施し、庭園への関わりと愛着を育てる、来園者参加型のイベントをコンセプトとした夜の庭園散策の場を提供したほか、宮内庁皇室建築史家監修の当園の歴史や見どころを紹介したパネルを巡回展示した。</p>
	7 主な施設 弓道場	
	8 休園日 12 月 29 日から翌 1 月 1 日	
	9 文化財等の指定 旧芝離宮庭園 (国指定名勝 = 園内全域)	
公園の名称等		沿革とその特徴
旧古河庭園	1 計画決定 昭和 32 年 12 月 21 日	<p>【沿革・特徴】 この地は、明治の元勲陸奥宗光伯の邸地であったが、その嫡子である潤吉氏が古河市兵衛氏の養子となった縁故により、古河家の所有となった。</p> <p>第二次世界大戦後、古河家の手を離れ国有財産となったが、地元の要望に応えるため、昭和 30 年 4 月に大蔵省から園地の無償使用の承認を受け、翌 31 年 4 月に開園した。</p> <p>園地は、武蔵野台地の高低差を巧みに利用した閑雅な邸地で、本園の核心をなす洋館は、日本の建築界に多大な貢献をした英国人ジョサイア・コンドル博士の設計により大正 6 年 5 月に竣工した。この洋館は、英国風ルネッサンス風建物であるが、日本の芸術、建築に造詣深かった博士は、内部に日本風の様式を巧みに取り入れ、博士の晩年の代表作として極めて評価の高い建築物の一つである。ちなみに、鹿鳴館、ニコライ聖堂などの設計も博士によるものである。</p> <p>経年変化により老朽化した洋館について、昭和 53 年に本格的な修復に着手し、平成元年 3 月になって工事が完了した。その後、同年 10 月には美術館としてオープンした。</p> <p>庭園は、台地の平地と南斜面を利用し、洋館に調和して絵画的効果をもたらすように設計された洋風庭園と、山間の風趣を模した低地の山水を中心とする日本庭園とに分かれており、大正期の庭園中、最も原型をとどめている。</p> <p>六義園、小石川後楽園は江戸時代の大名によって造られたものであるが、本園は明治維新以降の実業家の手により造られた大正期を偲ぶ重要な文化財であるとして、昭和 57 年 8 月に東京都の文化財に指定された後、7 年をかけた修復</p>
	2 開園年月日 昭和 31 年 4 月 30 日	
	3 面積 (m²) 30,780.86	
	4 位置 北区西ヶ原一丁目	
	5 交通 J R 京浜東北線「上中里駅」徒歩 7 分 東京メトロ南北線「西ヶ原駅」徒歩 7 分 J R 山手線・東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩 12 分	
	6 入園料 一般及び中学生 150 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 70 円 みどりの日 (5 月 4 日)、都民の日 (10 月 1 日) は無料 洋館については別途入館料が必要 (400 円)	
	7 主な施設 洋館、茶室	
	8 休園日 12 月 29 日から翌 1 月 1 日	
	9 文化財等の指定 旧古河氏庭園 (国指定名勝 = 園内全域)	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
旧 古 河 庭 園		<p>工事を経て、平成 18 年 1 月 26 日、文化財名称「旧古河氏庭園」として、国の名勝に指定された。</p> <p>平成 7 年 4 月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、サービス向上を図っている。</p> <p>また、平成 12 年度から、バラの開花に合わせて、開園時間延長やライトアップ、茶室での抹茶のサービスも行なっている。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和 7 年 3 月、洋館の外壁工事が完了し、美しく整備された洋館とともに、2025 春のバラフェスティバルを開催した。また、北区主催の「渋沢庭園と古河庭園の魅力発見！」では、普段は公開していない「書庫」を特別に公開して職員が当園と渋沢栄一との繋がりを交え案内した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
清 澄 庭 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>この地は、享保年間（1716～1736 年）の下総国関宿城主であった久世大和守の下屋敷であった。明治に入って荒廃していたこの地を岩崎彌太郎が買い受け、現在に続く庭園として整備した。なお、この敷地の一部は、江戸時代の豪商、紀伊国屋文左衛門の屋敷跡であったと伝えられている。</p> <p>この庭園は、江戸時代の大名庭園を代表する回遊式潮入林泉庭園で、岩崎家が全国から収集し、庭園の大半を占める大泉水周辺に配置した奇岩、名石は、その数と種類の豊富なことで著名である。</p> <p>関東大震災により、本庭園も大きな被害を被ったが、破損の少なかった東側半分について、大正 13 年 10 月に東京市が寄付を受けた。その後これを整備して、昭和 7 年 7 月には泉水、築山、枯山水を主体にした回遊式築山山水庭園として公開した。</p> <p>大正天皇の葬場殿を移設、命名した大正記念館は、昭和 20 年 3 月に東京大空襲により焼失したため、昭和 28 年の貞明皇后の葬場殿旧材の譲与を得て、杉浦巴早稲田大学教授の設計で再建されたが、経年のため老朽化が激しく、昭和 63 年度に建替え工事が行なわれ、平成元年 3 月 31 日に落成した。現在は、集会場として本都の公式招宴などに広く利用されている。</p> <p>池畔の涼亭は、明治 42 年に国賓として来日した英国のキッチナー元帥を歓迎するため、岩崎家が建設したものであるが、昭和 60 年に全面改築工事を行ない、現在では集会場として利用に供している。</p> <p>昭和 52 年 6 月 1 日には、庭園の西側に開放公園（32,818 ㎡）を追加開園した。</p> <p>開放公園の特色は、江東地区を災害時の避難場所として有効な空間を確保するため、芝生広場と樹林、また防災のための水を供給する池とで成り立っている。</p> <p>なお、庭園部分は、昭和 54 年 3 月 31 日に東京都の名勝に指定された。</p>
	(昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14)	
	仙台堀緑地	
	昭和 32 年 12 月 21 日 (9.66ha)	
	2 開園年月日	
	昭和 7 年 7 月 24 日	
	3 面積 (㎡)	
	81,091.27	
	4 位置	
	江東区清澄二・三丁目	
5 交通		
都営大江戸線「清澄白河駅」徒歩 3 分 都営新宿線「森下駅」徒歩 15 分 東京メトロ東西線「門前仲町駅」徒歩 20 分 都営バス（豊海水産埠頭行）「清澄庭園前」徒歩 3 分		
6 入園料		
一般及び中学生 150 円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65 歳以上 70 円 みどりの日（5 月 4 日）、都民の日（10 月 1 日）は無料		
7 主な施設		
大正記念館（集会場：洋室 150 人）、涼亭（集会場：和室 40 人）		
8 休園日		
12 月 29 日から翌 1 月 1 日		
9 文化財等の指定		
清澄庭園（都指定名勝=庭園部分のみ）		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
清 澄 庭 園		<p>平成元年6月1日、平成7年6月1日、平成10年6月1日には、西側の未開園地を追加開園した。</p> <p>本園の近くには、芭蕉記念館、深川江戸資料館などがある。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、サービスの向上を図っている。</p> <p>継続して行っている景観改善では、富士山の稜線上の高木を計画的に伐採し、作庭意図が効果的に現れた景観を楽しんでいただけるようになった。</p> <p>【近年の取組等】 令和6年5月、大正記念館を会場に江戸東京博物館学芸員による講演「江戸東京 水辺の庭園ものがたり」を初開催した。また、「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭 2024」の実行委員としての活動や「第14回きごさい全国小中学生俳句大会表彰式」の会場協力など、多様な地域コミュニティと連携した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
小 石 川 後 楽 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 徳川御三家の一つである水戸徳川家の祖、徳川頼房が寛永6年（1629年）に京都の庭師、徳大寺左兵衛を招き、その邸地に回遊式築山泉水庭園を築造した。</p> <p>水戸徳川家第二代藩主の光圀は、明の遺臣で我が国に亡命していた儒者、朱舜水の意見を用いて手を加え、現在のような中国趣味豊かな造園工事を施工した。また、園名についても朱舜水の意見を探り入れ、「(士はまさに) 天下の憂いに先立って憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」という中国の教えから後楽園と名付けられた。</p> <p>明治維新後は、官収された後、明治21年に東京砲兵工廠と改称され、陸軍省の管理するところとなり、国際的招宴場にしばしば使用された。大正12年に史蹟及び名勝に指定されたが、関東大震災により多くの建物が焼失し、第二次世界大戦でも戦災を被っている。</p> <p>昭和11年12月、文部省から東京市が管理者として指定された。東京市では、鋭意補修に努め、昭和13年4月に一般公開され、昭和27年3月には文化財保護法により、特別史跡及び特別名勝に指定された。</p> <p>昭和50年からは光圀公ゆかりの稲田において田植え稲刈り行事を復活し、以後、毎年地元文京区立柳町小学校の協力を得て、5月に「田植え」9月に「稲刈り」を実施し、現在では地元住民による貴重な伝統行事となっている。</p> <p>昭和55、56年には、老朽化した得仁堂を保存するため、主として建物外回り、土間、三和土打替、屋根葺替、建具金物取付等の補修工事を行ない、涵徳亭については、昭和60年度に建物の全面改修を行なった。また、平成5年度以降、</p>
	(昭和17年4月21日) 昭和32年12月21日 昭和45年8月7日 (22.10ha)	
	2 開園年月日	
	昭和13年4月3日	
	3 面積 (㎡)	
	70,847.17	
	4 位置	
	文京区後楽一丁目	
	5 交通	
	<p>【東門】 JR中央線「水道橋駅」徒歩5分 都営三田線「水道橋駅」徒歩8分 東京メトロ丸の内線、南北線「後楽園駅」徒歩8分</p> <p>【西門】 JR中央線・東京メトロ有楽町線、東西線、南北線「飯田橋駅」徒歩8分 都営大江戸線「飯田橋駅」徒歩3分 東京メトロ丸の内線、南北線「後楽園駅」徒歩8分</p>	
6 入園料		
<p>一般及び中学生 300円 (都内在住・在学の中学生は無料)</p> <p>65歳以上 150円</p> <p>みどりの日(5月4日)、都民の日(10月1日)は無料</p>		
7 主な施設		
<p>涵徳亭(集会場：和室30人、洋室85人)</p> <p>得仁堂、九八屋</p>		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
小石川後楽園	8 休園日 12月29日から翌1月1日	<p>庭園外周塀を順次築地塀に改修している。 昭和60年4月にそれまでの休園日をなくして、通年開園を他の庭園に先駆けて開始（清澄庭園との二庭園）し、来園者がゆっくり庭園鑑賞を楽しめるよう努め、平成11年からは日曜日、祝日にボランティアによる無料庭園ガイドを一日2回実施し、団体客については平日の臨時ガイドも行なっている。</p> <p>さらに、平成13年より正月期間（1月2・3日）の開園も行なうなど、サービス向上を図っている。また、平成14年から2～3月には、水戸光圀公が楽しんだであろう梅の香りを懐かしんでもらうため、催しを開催している。</p> <p>平成31年度には瘞鶴碑（えいようひ）建立200年記念行事が行われ、白糸の滝の補修工事が完了した。</p> <p>令和2年11月に唐門・扁額復元工事が完了し、12月に公開するとともに、東門を常時開門とした。</p> <p>【近年の取組等】 観光庁推進事業を活用し、(株)東京ドーム、(株)読売旅行と連携した特別おもてなし事業「日本庭園・文化プレミアム体験ツアー」を実施した。当園では、早朝庭園ガイド、水戸の食材を味わえる特別な食事の提供、和菓子作り体験、お茶会、庭師ワークショップを行った。</p>
	9 文化財等の指定 小石川後楽園（国指定特別史跡及び特別名勝＝園内ほぼ全域[一部域外]）	
公園の名称等		沿革とその特徴
浜離宮恩賜庭園	1 計画決定 (昭和21年4月25日)(院告14) 東海道線緑地 昭和32年12月21日(25.16ha)	<p>【沿革・特徴】 この付近は、寛永の頃までは将軍家の鷹狩場で、一面の芦原であった。承応3年(1654年)に徳川第四代将軍家綱の弟で甲府宰相の松平綱重がこの地を賜り、海を埋め立てて「甲府屋敷」または「海手屋敷」と呼ばれる別邸を建てた。その後、綱重の子綱豊が第六代将軍となったのを契機に、この屋敷は将軍家のもとなり、その名を「浜御殿」と改め、娯楽、社交の場として利用された。以来、幾度かの造園・改修工事が行なわれ、第十一代将軍家斉の時代にほぼ現在の姿の庭園となった。</p> <p>明治維新以後は宮内省所管となり、その名も「浜離宮」と改められた。明治2年に落成された延遼館は、我が国最初の洋風石造建築であり、皇室の迎賓館として使用され、鹿鳴館とともに世上に知られたが、明治22年に老朽化のために取り壊された。</p> <p>第二次大戦後の昭和20年11月には東京都に下賜されたため、整備のうえ一般公開することとなった。</p> <p>本庭園は、江戸時代の代表的な大名庭園であり、現存する潮入の庭として貴重なものである。昭和27年11月には文化財保護法に基づいて国の特別名勝及び特別史跡に指定されている。</p> <p>庭園は海に面し、三方に川を巡らせてあり、ほぼ北庭と南庭に分けられる。北庭は、延遼館跡の芝生に松が点在し、細流には花菖蒲、雪見</p>
	2 開園年月日 昭和21年4月1日	
	3 面積 (㎡) 250,215.72	
	4 位置 中央区浜離宮庭園	
	5 交通 【大手門口】 JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋駅」徒歩12分 都営大江戸線「築地市場駅」徒歩7分 都営大江戸線・ゆりかもめ「汐留駅」徒歩7分 【中の門口】 都営大江戸線、ゆりかもめ「汐留駅」徒歩5分 JR「浜松町駅」徒歩15分 【水上バス】 東京都観光汽船「浜離宮」下船	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
浜 離 宮 恩 賜 庭 園	6 入園料	<p>灯籠等が配置されている。南庭には、海水を導いた潮入の池、お伝い橋、中島の御茶屋などがあり、これらが潮の干満に合わせて景観が変化する様は浜離宮ならではのものである。</p> <p>園内には、庚申堂鴨場と新銭座鴨場の二つの鴨場があり、近年、鴨を始めとする野鳥の数も増加している。</p> <p>お伝い橋、中島の御茶屋は、昭和28年と同58年にそれぞれ復元したもので、中島の御茶屋では抹茶を楽しむこともできる。平成22年松の御茶屋、平成27年燕の御茶屋、平成30年には鷹の御茶屋を復元した。これら3つの歴史的資源を活用した「御茶屋ガイドツアー」を実施している。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成10年度からは日曜日、祝日にボランティアによる庭園ガイドを実施、平成13年からは正月期間（1月2・3日）の開園も行なうなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>また、水上バス発着場として利用の売店第三号が平成19年6月に改修され、水路からの来園者を迎えている。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>中島の御茶屋の補修では明るい白木仕上げの内装としたほか、高い撥水性、耐候性、耐紫外線性能のある塗料を2度塗りすることで長期的に木部を保護する仕様とし、長く美しい景観を保てるよう工夫した。</p>
	一般及び中学生 300円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65歳以上 150円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料	
	7 主な施設	
	中島の御茶屋（集会場：和室40人）、芳梅亭（集会場：和室25人）、松の御茶屋（教養施設）、燕の御茶屋、鷹の御茶屋、船着場（水上バス）	
	8 休園日	
12月29日から翌1月1日		
9 文化財等の指定		
旧浜離宮庭園（国指定特別名勝及び特別史跡＝園内全域）		
公園の名称等		沿革とその特徴
向 島 百 花 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>向島百花園は、元旗本多賀氏の屋敷跡であったこの地に、文化元年（1804年）に仙台の人である佐原鞠塙（さはらきくわう）が創設した庭園で、現代に残る江戸時代の花園唯一のものである。</p> <p>開園当初は、360本の梅が主体で、当時有名だった亀戸の梅屋敷に対して「新梅屋敷」と呼ばれていた。なお、「百花園」の名称は、「四季百花の乱れ咲く園」という意味で名づけられたものである。</p> <p>小石川後楽園や六義園などの数奇をこらし経費を惜しまず築造された大名庭園とは著しく趣を異にし、鞠塙と親交の深かった当時の一流文化人たちが協力し、文人趣味豊かな庭として造られ、いわば素人の手による庶民のための庭であった。</p> <p>また、作庭の構想もその名のとおり、梅360本の梅園を始め、池泉、築山の代わりに日本的な山草、野草を無数に植栽したもので、特に梅の花とハギを初めとする秋の七草をもって知られ、年を追うごとに盛況を極めていった。</p> <p>時代の移り変わりとともに園景は荒廃し、大正4年にこれを惜しんだ小倉常吉氏が一切を譲り受け補修保存に努めた。</p>
	昭和32年12月21日 平成6年1月28日（1.1ha）	
	2 開園年月日	
	昭和14年7月8日	
	3 面積（㎡）	
	10,885.88	
	4 位置	
墨田区東向島三丁目		
5 交通		
東武伊勢崎線（スカイツリーライン）「東向島駅」徒歩8分 京成押上線「京成曳舟駅」徒歩13分 JR線「日暮里駅」より都営バス（亀戸行）「百花園前」徒歩3分		
6 入園料		
一般及び中学生 150円 (都内在住・在学の中学生は無料) 65歳以上 70円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
向島百花園	7 主な施設	<p>その後、昭和8年2月に国の名勝に指定され、同13年10月に小倉翁の追善と名勝の永久保存のため、小倉未亡人から東京市に寄付された。これを受けた市では、補修整備のうえ翌14年7月に制限公開庭園として有料で開園した。昭和31年1月に名勝指定が解除されるが、昭和53年10月に再び国の名勝及び史跡に指定された。</p> <p>昭和60年には、老朽化した御成座敷を保存するため、同建物の全面改修を行なった。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、サービスの向上を図っている。</p> <p>また、新春「春の七草籠」の頒布を始めとして、8月下旬の「虫ききの会」、中秋の名月を中心とした「月見の会」等の夜間特別公開といった江戸の園芸・伝統文化の保存や継承を行っている。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和6年8月、伝統行事「虫ききの会」では外国人向け体験ツアーを初開催したほか、墨田区観光協会と連携し、初めて同協会プロモーションカーを「虫ききの会」に誘致し、期間中、墨田区の関連施設や区内イベント等の案内を来園者へ配布し、地域の観光振興に貢献した。</p>
	御成座敷（集会場：和室 35 人）、ハギのトンネル、福祿寿尊（隅田川七福神）	
	8 休園日	
	12月29日から翌1月3日	
9 文化財等の指定		
向島百花園（国指定名勝及び史跡＝園内全域）		
公園の名称等		沿革とその特徴
六義園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>元々は、徳川五代将軍綱吉の側用人である柳澤出羽守吉保の下屋敷で、この付近四万六千余坪を幕府から与えられ、吉保自ら設計指揮に当たり、文学趣味を遺憾なく発揮して元禄15年（1702年）に完成した。「六義園」の名は、中国の古い漢語集である「毛詩」に記されている「風、賦、比、興、雅、頌」の六義に由来し、和歌の六体によるものである。</p> <p>庭園様式は、回遊式築山泉山庭園で、千川上水の水を注いでいた。園内には、日本の名勝に似せた景観が88箇所あり、それらの景観にちなんだ名称を付すなど、江戸時代屈指の名園であったが、吉保が没した後は荒れる一方であった。</p> <p>明治10年頃、付近の藤堂、安藤、前田の各氏邸とともに、岩崎彌太郎別邸となるに及んで旧景を補修し、再び昔の美しさを取り戻した。</p> <p>昭和13年4月、岩崎久彌氏から庭園を中心とした三万余坪が市民の鑑賞・休養の地として東京市に寄贈され、同年10月に有料庭園として公開された。昭和15年8月には国の名勝に、同28年3月には特別名勝に指定された。</p> <p>なお、老朽化した心泉亭を保存するため、昭和60年に同建物の全面改修を行ない、平成5年度からは外周塀の改修を行なっている。</p> <p>平成7年4月にそれまでの休園日をなくして通年開園を開始し、平成13年より正月期間（1月2・3日）の開園も行なっている。</p> <p>さらに、シダレザクラの開花や紅葉に合わせた開園時間延長やライトアップ、日曜日、祝日</p>
	昭和32年12月21日（10.08ha）	
	2 開園年月日	
	昭和13年10月16日	
	3 面積（㎡）	
	87,809.41	
	4 位置	
	文京区本駒込六丁目	
	5 交通	
	JR山手線・東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩7分 都営三田線「千石駅」徒歩10分	
	6 入園料	
	一般及び中学生 300円 （都内在住・在学の中学生は無料） 65歳以上 150円 みどりの日（5月4日）、都民の日（10月1日）は無料	
7 主な施設		
心泉亭（集会場：和室 25 人）、宣春亭（集会場：和室 5 人）、滝見茶屋		
8 休園日		
12月29日から翌1月1日		
9 文化財等の指定		
六義園（国指定特別名勝＝園内全域）		

（以下次頁につづく）

	公園の名称等	沿革とその特徴
六 義 園		<p>のボランティアによる庭園ガイドを実施するなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>【近年の取組等】 これまでの開催ノウハウをもとに、期待の高い「しだれ桜の見頃」に応じて開催期間の確定を直前とし、柔軟に対応した。またキャッシュレス対応のオンライン当日券を導入し、人数をコントロールしつつより多くの来園者に桜を鑑賞いただけるよう尽力した。</p>

②開放公園 面積 9,288,984.27 m²

公園の名称等		沿革とその特徴
青山公園	1 計画決定 (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 4) 内環状緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 38 年 3 月 29 日 (30.39ha)	<p>【沿革・特徴】 都市計画青山公園は、戦災復興計画において「緑地」として内環状緑地の一環として位置づけられた。しかし、この時指定された公園区域の大部分は、市区改正新設計で明治 36 年 3 月 31 日市告示 36 号により「青山墓園」として都市計画決定された区域である。昭和 32 年に都市計画の再検討で計画上追認されることとなり、都市計画青山公園と都市計画青山墓園の二面性を有する事となった。</p> <p>(1) 六本木地区 (南地区・25,015.50 m²) この公園は、昭和 38 年 3 月に国が都市計画代々木公園の一部を NHK に割愛することとしたため、都がその代替地を国に要求した結果、国から駒場公園用地とともに当公園用地の無償貸付を受けることとなったものである。</p> <p>この土地は元々旧陸軍の射撃場跡地であり、昭和 44 年 3 月 24 日に公園地として国から無償貸付を受け、昭和 44 年度工事で約 1 / 2 を造成した上で昭和 45 年に開園後、昭和 47 年 6 月 1 日にも 6,120 m²、昭和 53 年 6 月 1 日に 2,826 m²、令和 5 年 2 月 1 日に 4,732.26 m² を追加開園した。</p> <p>(2) 南青山地区 (北地区・19,734.96 m²) 都市計画に基づき昭和 48 年用地買収に着手し、昭和 50 年 6 月 1 日に 3,212.38 m² を、昭和 59 年 6 月 1 日に引揚者住宅跡地 3,545.62 m² を整備し追加開園した。</p> <p>その後、平成 5 年 6 月 1 日に、1,711.37 m²、平成 6 年 6 月 1 日に 1,546.81 m²、平成 7 年 6 月 1 日に 7,570.92 m²、平成 9 年 6 月 1 日に 595.15 m²、平成 25 年 6 月 1 日に 1,552.71 m² を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 令和 6 年度は、新規開園地区に命名した『わくわくスクエア』で幼児対象の催しを開催するなど、地域とのコミュニケーション向上に向けた取組を行った。</p>
	2 開園年月日 昭和 45 年 6 月 1 日	
	3 面積 (m²) 44,750.46	
	4 位置 港区六本木七丁目、南青山一丁目	
	5 交通 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩 3 分 東京メトロ日比谷線「六本木駅」徒歩 10 分 東京メトロ銀座線・都営大江戸線「青山一丁目駅」徒歩 5 分	
	6 主な施設 こども広場 (北地区)	
	7 文化財等の指定 なし	
	公園の名称等	
赤塚公園	1 計画決定 (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 522) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 11 年 2 月 26 日 (32.1ha)	<p>【沿革・特徴】 昭和 18 年 8 月に赤塚緑地として都市計画決定されたが、事業化されなかった。同 32 年に赤塚公園として決定後、同 40 年と 43 年に区画整理事業の関係で都市計画を見直した。</p> <p>計画面積は約 32.1ha で、昭和 44 年から用地買収に入り、逐次準備を図りながら追加開園している。昭和 47 年 4 月には、日本住宅公団から土地区画整理事業による公園用地として約 12.8ha の引継を受けた。また、昭和 53 年 6 月及び同 55 年 8 月に板橋区徳丸丘土地区画整理組合から 3.13ha の用地を引継いだ。</p> <p>昭和 62 年度には噴水を設置し、広場の改修工事を行った。</p> <p>平成 11 年 5 月 31 日には、バレーボール場を</p>
	2 開園年月日 昭和 49 年 6 月 1 日	
	3 面積 (m²) 262,442.97	
	4 位置 板橋区高島平三丁目、徳丸七・八丁目、四葉二丁目、赤塚四・五・八丁目、大門	
	5 交通 都営三田線「高島平駅」徒歩 8 分	
	公園の名称等	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
赤塚公園	6 主な施設	<p>廃止した。 令和7年2月1日には6,962.57㎡を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 開園50周年を記念して、「公園」×「アート」をコンセプトとした「東京五感公園2024」を開催した。また、開園50周年記念キャラクターの公募により「あかつっかちゃん」が誕生し、公園の魅力向上に寄与した。</p>
	7 文化財等の指定	
	徳丸ヶ原（都指定旧跡）	
公園の名称等		沿革とその特徴
宇喜田公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 本公園は、江戸川区の南東部、環状7号線内側の既成市街地内に位置しており、動物園や釣り池、日本庭園等の施設をもつ江戸川区立行船公園に隣接している。 本公園は昭和32年に都市計画決定され、平成2年に宇喜田公園基本計画を策定（20.0ha）、周辺住民からの野球広場整備要望等を受け、江戸川区ははじめ地元住民と整備計画の調整を図り、「身近なスポーツから自然観察まで多彩なレクリエーション活動が可能な、広々とした花いっぱい、緑豊かな公園」として計画される。 平成13年度に整備工事の完了した、少年野球のできる多目的広場・フラワープロムナード・駐車場を平成14年4月1日に開園した。 平成14年度には第二駐車場を整備。平成15年5月1日に4,080.33㎡、平成16年1月1日に8,695.68㎡、平成16年6月1日に23,438.08㎡、平成21年6月1日に4,526.91㎡、平成22年6月1日に1,585.88㎡を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 ボランティア団体と協働し、ハーブガーデンを拡充した。ラベンダーの育成に注力している。 ハーブボランティアは令和6年に江戸川区「第13回景観まちづくり賞」を、令和7年に第36回「みどりの愛護」功労者国土交通省大臣表彰を受賞した。</p>
	昭和17年1月31日（内告43） 昭和32年12月21日（20.00ha）	
	2 開園年月日	
	平成14年4月1日	
	3 面積（㎡）	
	59,812.58	
	4 位置	
	江戸川区北葛西三丁目、宇喜田町	
5 交通		
都営新宿線「船堀駅」徒歩15分 東京メトロ東西線「西葛西駅」徒歩13分		
6 主な施設		
多目的広場、駐車場		
7 文化財等の指定		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
浮間公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 当公園は、荒川の旧河川敷を公園とするため、昭和35年度に都市計画事業を決定したものである。昭和42年7月に一部開園し、その後逐次追加開園して、現在の開園面積は11.73haである。このうち、約4haは池面で、水面を中心とした公園となっており、昔からへら鮒釣り場として知られ、現在も多くの人々が公園を利用している。 しかし、昭和60年9月にJR埼京線浮間舟渡駅の開業に伴い、当公園の利用度が高まると同時に利用形態の変化も起こり、全体的な公園施設の老朽化と相まって施設とその配置の再検討が必要となり、昭和62年度から3ヶ年計画で全面改修工事に着手した。</p>
	(昭和17年1月31日)（内告43） 昭和32年12月21日（12.75ha）	
	2 開園年月日	
	昭和42年7月26日	
	3 面積（㎡）	
	117,330.24	
4 位置		
北区浮間二丁目 板橋区舟渡二丁目		
5 交通		
JR埼京線「浮間舟渡駅」徒歩1分		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
浮 間 公 園	6 主な施設 野球場（照明付）、テニスコート（4面・照明付）、ゲートボール場、子ども運動広場、風車、桜草園、駐車場	改修前は、「桜草」と「釣りのできる池」の2つの柱で造成されていたが、上記改修工事に当たっては「池面の埋め立てによる新しい広場の出現」、「風車によるクリーンなエネルギーの利用」、「野鳥の休息できる修景的浮島の出現」という3つの柱により造成を行い、現在に至っている。 なお、当公園地は、桜草の自生地であったが、野生種が絶滅してしまったため、現在では北区が公園地の一部約1,600㎡を利用して桜草の栽培を行っている。 【近年の取組等】 猛暑で日中の運動が難しい時期に健康増進イベントとして、天体観望（月まち倶楽部）とヨガ（お星さまヨガ）を同時に楽しめる「お月見ヨガ」を初開催し、公園で活動しているコミュニティの相乗効果を生み出した。
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
大 泉 中 央 公 園	1 計画決定 昭和62年11月25日（10.00ha）（大泉中央公園） 昭和63年1月14日（0.25ha）（長久保緑地）	【沿革・特徴】 東京都と埼玉県の間位置する当公園は、かつて旧陸軍予科士官学校の敷地の一部であったもので、第2次世界大戦後に米軍が接收し、キャンプ朝霞として利用していたものである。 その後、米軍から返還を受け、昭和62年に、面積10haの総合公園として都市計画決定され、造成後の平成2年に開園した。 400mトラックのある陸上競技場やナイター設備のついた野球場などがある。 大泉の名に相応しく、大きな噴水のモニュメントがある水の広場や既存樹林を活かした野鳥の森、四季の広場、陽だまり広場で構成されている。 【近年の取組等】 園内の植物・昆虫等を自ら発見し、触る子ども向けの体験型観察会を日常的に実施した。また、隣接する練馬区立大泉さくら運動公園及び埼玉県宮和光樹林公園と連携した「3公園をめぐるキッズチャレンジ」を開催し、地域の回遊性向上に寄与した。
	2 開園年月日 平成2年6月1日	
	3 面積（㎡） 103,000.00	
	4 位置 練馬区大泉学園町九丁目	
	5 交通 東武東上線「成増駅」西武バス（大泉学園町行）「大泉中央公園」徒歩1分 西武池袋線「大泉学園駅」西武バス（成増駅行）「大泉中央公園」徒歩1分 JR中央線「荻窪駅」西武バス（長久保行）「長久保」徒歩2分	
	6 主な施設 野球場（1面・照明付）、競技場（400mトラック）、アスレチック、駐車場	
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
大 島 小 松 川 公 園	1 計画決定 昭和50年8月15日 平成11年4月13日（25.10ha）	【沿革・特徴】 当公園は、昭和44年に策定された「江東再開発基本構想」に基づく防災市街地再開発事業の一つである亀戸・大島・小松川地区に設置された公園である。 この再開発事業は、江東デルタ地域の東端に位置し、旧中川を挟んで、江東区と江戸川区にまたがる住宅・店舗・工場等が混在密集した98.6haの区域を、緊急時には避難場所となる公園の周囲に不燃高層建築物を配して防災拠点と
	2 開園年月日 平成9年8月1日	
	3 面積（㎡） 249,282.77	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
大島小松川公園	4 位置 江東区大島九丁目(江戸川区小松川一丁目)	<p>するとともに、良好な生活環境を創造するものである。</p> <p>平成 11 年 4 月には、市街地再開発事業区域外も含めて公園とすべく計画変更を行った。</p> <p>当公園は、平常時には広域的なレクリエーションの場として利用され、災害時には約 6 万人の避難場所となるもので、旧中川の江東区側にスポーツ広場、わんさか広場を、江戸川区側に自由の広場、季節の広場、風の広場の 5 つのブロックを配している。</p> <p>事業の進捗に併せて、平成 4 年に季節の広場、風の広場を、平成 9 年 4 月にわんさか広場の一部を暫定的に一般開放した。</p> <p>平成 9 年 8 月には、運動施設を中心とするスポーツ広場の一部を開放し、平成 10 年 6 月には兼用球技場をオープンした。</p> <p>平成 12 年 7 月にはアスレチック広場を、平成 13 年 4 月及び 6 月には自由の広場、駐車場、バーベキュー広場をオープンした。</p> <p>平成 18 年 3 月には、暫定開放部分を含め 194,556.45 m²を開園告示した。</p> <p>【近年の取組等】 地域と連携した防災プログラムを展開したほか、近隣町会・自治会・小学校 PTA との「パークミーティング」を開催し、近隣住民の方々との協働に努めている。</p>
	5 交通 都営新宿線「東大島駅」徒歩 3 分	
	6 主な施設 テニスコート(4面・照明付)、小野球場(1面)、小野球場兼サッカー場(小野球:2面、サッカー場:1面、照明付)、アスレチック広場、バーベキュー広場、駐車場	
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
尾久の原公園	1 計画決定 平成元年 3 月 30 日(10.00ha)	<p>【沿革・特徴】 当公園は、旭電化尾久工場跡地を利用して計画された都市計画公園である。</p> <p>計画の概要は、「自然環境の回復とスポーツ・レクリエーション利用の両立」を図ることを基本テーマとしている。</p> <p>平成 2 年 11 月 27 日に事業認可を受けて造成を行ない、平成 5 年 6 月 1 日には造成が終った部分 1.4ha を開園した。</p> <p>その後も、広場、流れ等を整備し、さらにトンボの貴重な生息地であった地域については自然を生かしたトンボの池として整備して、順次開園している。</p> <p>当公園西側に面する公園予定地については、下水道処理場を建設する予定となっており、その完成後、上部を公園として整備する計画である。</p> <p>平成 24 年 12 月に土壌調査のため全面閉鎖されたが、平成 25 年 6 月に部分開放されている。</p> <p>平成 26 年 3 月にはダイオキシン類土壌汚染対策地域の指定が告示されるとともに開放区域も変更となり、対策工事の上、平成 27 年 3 月全面開放された。</p> <p>【近年の取組等】 「park:motto」を中心に、季節ごとの大型イベントや装飾展示を実施し、公園サポーターとも</p>
	2 開園年月日 平成 5 年 6 月 1 日	
	3 面積 (m²) 61,841.28	
	4 位置 荒川区東尾久七丁目、町屋五丁目	
	5 交通 都電荒川線「東尾久三丁目駅」徒歩 10 分 日暮里・舎人ライナー「熊野前駅」徒歩 10 分	
	6 主な施設 池(トンボ池)、子供の遊び場、流れ	
	7 文化財等の指定 なし	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
葛西臨海公園	公園の名称等	協力をしながら地域で一体となった公園づくりを行っている。
	公園の名称等	沿革とその特徴
葛西臨海公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>葛西臨海公園は、隣接する葛西海浜公園（港湾局所管の人工なぎさ、海水面部分）と連続性を持った“海～浜～陸”を形成している点で、非常に魅力のある空間構成を有している。</p> <p>本公園は昭和47年に都市計画決定されたもので、陸域76.3ha、水域107.2haの合計183.5haである。</p> <p>東京都施行の葛西沖開発土地区画整理事業（約38ha）の一環として昭和60年に事業に着手したもので、平成元年に開園後、平成6年4月21日にオープンした鳥類園をもって、殆どの整備を完了した。</p> <p>この公園は、緑の浜辺、都民の浜辺、楽しい浜辺、頼もしい浜辺のテーマを計画の四本柱として、駅前広場の噴水、海へのプロムナードを経て葛西海浜公園の西なぎさへ至るルートと、展望レストハウス、汐風の広場を経て水上バス（東京水辺ライン）乗場に至るルートを中心に池（蓮池、芦ヶ池）、流れ、休憩舎、植物等を配し、都民のレクリエーション、環境学習の場として整備したものである。</p> <p>また、公園内にある葛西臨海水族園は、昭和57年（1982年）恩賜上野動物園開園100周年記念事業として計画され、平成元年10月10日に開園した。</p> <p>葛西沖は、昔から豊富な魚介類を餌とする鳥類が飛来し、繁殖する有数な場所であった。この地域特性を活かして、淡水池、汽水池及び広大な森を人工的に造成し、かつての豊かな自然環境の創出に努めているのが鳥類園である。園内には、ウォッチングセンター、観察舎、観察窓を設置し、鳥類の観察ができるようになっている。なお、平成30年10月に葛西海浜公園の干潟がラムサール条約湿地に登録された。</p> <p>平成11年4月には、バーベキュー広場を開設し、平成13年3月には当時日本最大・最高の大観覧車が設置され、当公園のシンボリック施設として好評を博している。</p> <p>平成28年度、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた会場整備に着手した。平成29年9月29日にカヌー・スラロームセンター整備に伴い、第二駐車場29,542.25㎡を廃園した。</p> <p>平成31年4月1日に878.56㎡を追加開園した。令和7年4月1日に37,669.56㎡を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>「伝統・文化・芸術・地域」をテーマにアートマルシェを年3回開催している。</p> <p>開園から30周年を迎える鳥類園は展示室を全</p>
	昭和47年1月14日 昭和60年6月17日（183.50ha）	
	2 開園年月日	
	平成元年6月1日	
	3 面積（㎡）	
	816,177.05	
	4 位置	
	江戸川区臨海町六丁目	
5 交通		
JR京葉線「葛西臨海公園駅」徒歩1分 水上バス（東京水辺ライン）「葛西臨海公園」徒歩1分		
6 主な施設		
バーベキュー広場、葛西臨海水族園、ホテルシーサイド江戸川、大観覧車、西海浜公園（人工なぎさ）、駐車場		
7 文化財等の指定		
なし		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
臨海公園		面リニューアルし、ビジターセンターとして展示の充実を図った。
公園の名称等		沿革とその特徴
亀戸中央公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 日立製作所亀戸工場跡地について、都市計画決定を行い、昭和48年度に102,122.52㎡を買収して公園としたものである。昭和54年度には、造成が終了した1ブロック（A地区）について、先行して開園した。 昭和61、62年度にはB、C地区を整備した。B地区には人工池、流れを採り入れ、C地区にはテニスコート、多目的球技広場、児童遊具等を配置した明るい開放公園として整備された。 昭和61年6月1日にB地区部分49,005.18㎡を、昭和62年6月1日にC地区部分26,496.05㎡を、平成3年6月1日にA地区294.04㎡を追加開園した。 また、テニスコートについては、昭和62年6月1日から使用を開始した。 平成23年6月1日178.64㎡を追加開園した。 令和7年5月1日に3590.53㎡を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 江戸の園芸植物としてツバキとともに親しまれたサザンカの名所の復元を行い、「サザンカーロード」を整備している。また、学べるみどりの魅力発信として、樹木の音声ガイドや解説をスマートフォンで楽しめる無料のWebガイド「はなもく散歩」を活用した公園運営を行っている。</p>
	昭和48年3月3日（10.60ha）	
	2 開園年月日	
	昭和55年6月1日	
	3 面積（㎡）	
	106,795.87	
	4 位置	
	江東区亀戸八・九丁目	
5 交通		
東武亀戸線「亀戸水神駅」徒歩2分		
6 主な施設		
テニスコート（4面・照明付）、児童コーナー、多目的球技広場、亀戸スポーツセンター		
7 文化財等の指定		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
砧公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 昭和15年の皇紀2600年記念行事として都市計画決定され、翌年の3月までに760,000㎡を買収し、第2次世界大戦中防空緑地として使用されていたが、同23年自作農創設特別措置法によって386,000㎡を解放した。 開散区域のうち、253,600㎡を占めた砧ゴルフ場は、昭和29年11月の都議会において設置が議決され、東京急行電鉄(株)が建設寄付後、同社に経営を委託して、昭和30年12月5日に供用を開始したものであるが、期限満了後の昭和40年12月4日に供用を廃し、昭和41年5月5日に砧ファミリーパークとして一般開放した。 昭和41年7月に東海道幹線自動車国道（東名高速道路）の路線が当園の南側を通過することが決定し、予定地を含む38,510㎡を日本道路公団に売却し、同年11月12日をもって面積変更した。 昭和44年6月10日に裏門付近を増設するとともに環状8号線沿い苗圃10,854㎡を開園し、同年度に造成した元苗圃29,801㎡を昭和45年6月1日に追加開園した。また、昭和46年5月5日にサイクリングコースを開設した。</p>
	(昭和15年3月30日) (院告) 昭和32年12月21日 平成28年12月19日 (67.00ha)	
	2 開園年月日	
	昭和32年4月1日	
	3 面積（㎡）	
	391,777.35	
4 位置		
世田谷区砧公園、大蔵一丁目、岡本一丁目		
5 交通		
小田急線「千歳船橋駅」東急バス（田園調布行）「砧公園緑地入口」徒歩0分 小田急線「成城学園前駅」東急バス（都立大学駅北口行）「岡本一丁目」徒歩0分 東急田園都市線「用賀駅」徒歩20分または東急コーチバス（美術館行「美術館」）徒歩0分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
砧公園	6 主な施設	<p>昭和 49 年 6 月 1 日に環状 8 号線側 37,775.04 m²を昭和 56 年 6 月 1 日に大蔵通り側 46,757.86 m²を、昭和 57 年 4 月 1 日に駐車場整備に伴う 898.96 m²、平成 7 年 6 月 1 日 4,063.17 m²を、平成 8 年 6 月 1 日に 813.10 m²を順次追加開園した。</p> <p>園内は、広々とした芝生地で、中央部には随所に桜が植えられ、春には桜の名所としても賑わっている。環状 8 号線側は、梅林、アスレチック広場、運動広場が配され、四季を通じて校外活動等にも利用されている。</p> <p>平成 14 年 6 月 1 日に、砧公園に隣接する世田谷市場周辺道路整備工事に伴い、世田谷区道との土地交換のため 515.09 m²を廃止した。交換による受地は 17 年度に行い、18 年 6 月に追加開園した。</p> <p>令和 2 年 3 月、都立公園初のユニバーサルデザイン遊具が集まった「みんなのひろば」が完成した。</p> <p>【近年の取組等】 「みんなのひろば」に車椅子でも植え付け作業ができるレイズドベッドを新設し、インクルーシブな花育イベントを実施。</p>
	7 文化財等の指定	
なし		
公園の名称等		公園の名称等
木場公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 当公園は、仙台堀川を挟んで南北に分かれて計画面積 24.2ha の総合公園であり、地方公共団体が設置する昭和天皇御即位 50 周年記念公園として、国（建設省）から指定を受けている。</p> <p>木場地区は、昭和 44 年に策定された江東再開発基本構想の中で、防災 6 拠点の一つである避難拠点として位置付けられており、当公園はその中心として避難広場の機能を期待されている。このため、当公園は既存の公園とは異なり、工場、商店、事業所ビル、一般住宅等の混在する過密既成市街地の中で用地買収を行い、造成整備を行ってきた。</p> <p>当公園の計画区域は、元々木材関連企業者の集中する木場地区としてその名が知られていたが、公園整備事業に先立って昭和 47 年から始まった木材関連企業者の新木場移転事業跡地となり、事業認可の時点で 65%の用地が取得されていた。昭和 52 年度末からは、公園事業（防災的役割を持つ都市公園）として北地区から本格的な整備事業に着手し、南地区では、地下鉄 12 号線（都営大江戸線）の地下車庫が計画されたため、関連する公園基盤整備工事も実施した。当公園は、「水と緑と森林公園」をテーマに、各種の広場を中心に外周植栽を配し、北地区は教養・文化広場（東京都現代美術館）、多目的広場、イベント広場、テニスコート、管理棟等を、南地区は噴水広場、入口広場（イベント池）、冒険広場、駐車場等を、また、中地区は水辺のプロムナード等を整備した。</p> <p>さらに、南北地区が仙台堀川と葛西橋通りで</p>
	昭和 53 年 2 月 21 日 (24.20ha)	
	2 開園年月日	
	平成 4 年 6 月 1 日	
	3 面積 (m²)	
	238,711.13	
	4 位置	
江東区三好四丁目、平野四丁目、木場四・五丁目、東陽六丁目		
5 交通		
東京メトロ東西線「木場駅」徒歩 5 分 都営新宿線「菊川駅」徒歩 15 分 都営大江戸線「清澄白河駅」徒歩 15 分		
6 主な施設		
テニスコート（6 面・照明付）、イベント広場、イベント池、都市緑化植物園、バーベキュー広場、ドッグラン、東京都現代美術館、駐車場		
7 文化財等の指定		
なし		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
木場公園		<p>分割されているため、両地区を結ぶ「木場公園大橋（PC造・斜張橋）」を架設した。</p> <p>平成4年6月1日に192,625.27㎡を新規開園し、その後、順次追加開園している。なお、平成7年3月19日には東京都現代美術館部分23,829.09㎡を追加開園した。</p> <p>平成11年度末で緑の相談所は閉鎖したが、平成12年6月には家庭で手軽に楽しめる植物の普及のための見本園として、地域住民の手により維持管理してもらう都市緑化植物園を南側地区にオープンした。</p> <p>また、イベント池では、毎年10月に木場の伝統芸である「木場の角乗」が披露され、そのための練習も行われている。</p> <p>平成21年5月には南地区にドッグランを開設した。</p> <p>平成30年4月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>令和元年8月、ミドリアム内にBBQ売店が、10月にはキッズアムがオープンした。</p> <p>令和2年8月7日、公募により選定された多面的活用事業者による便益施設「KIBACO」がオープンした。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>木場ミドリアム内にストリートピアノを期間限定で設置し、音楽体験教室やピアノライブを実施した。また、新たな試みとして園内施設と連携し、抽出後のコーヒー粉を活用した堆肥作りを開始した。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
駒沢オリンピック公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>現在の駒沢オリンピック公園が所在する土地は、大正2年に東京ゴルフクラブにより駒沢ゴルフクラブとして開発されたが、昭和18年に防空緑地として指定された時点で、東京都が全面的に買収した。</p> <p>第2次世界大戦後の昭和22年12月には、自作農特別措置法により農林省に買収され、一時国有地となったが、昭和24年10月に駒沢緑地総合運動場（教育庁所管）として再び都営地になった。</p> <p>昭和34年6月、第18回オリンピックが東京で開催されることに決定し、駒沢オリンピック公園はその第2会場として、46億円の工事費と3年の工期を費やして昭和39年7月23日に竣工し、競技場として輝かしい使命を果たした。</p> <p>大会終了後の昭和39年12月1日に、現在の名称である駒沢オリンピック公園と命名され、都市公園として開園した。</p> <p>以降、総合運動公園（運動施設は生活文化スポーツ局）として、広く都民に親しまれ現在に至っている。</p> <p>園内には、児童公園3か所を始めとして憩い</p>
	(昭和17年1月31日) (内告43)	
	昭和32年12月21日	
	昭和37年12月22日 (40.52ha)	
	2 開園年月日	
	昭和39年12月1日	
3 面積 (㎡)		
413,573.09		
4 位置		
世田谷区駒沢公園、駒沢一丁目 目黒区東が丘二丁目、八雲五丁目		
5 交通		
東急田園都市線「駒沢大学駅」徒歩15分 JR線「渋谷駅」東急バス田園調布行「駒沢公園東口」徒歩0分 JR線「恵比寿駅」東急バス用賀行「駒沢公園」徒歩0分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
駒沢 オリ ンピ ック 公園	6 主な施設 児童遊園、ドッグラン、駐車場、ストリートスポーツ広場、サイクリングコース、スポーツ推進本部施設（陸上競技場、体育館、屋内競技場、硬・軟式野球場、水泳場、弓道場、テニスコート等 12 施設）、	<p>の池、ドッグラン、サイクリングコース等があり、多くの利用者で賑わっている。</p> <p>平成 29 年 3 月には、指定管理者と公募した事業者との共同事業で運営されるレストランがオープンした。</p> <p>【近年の取組等】 「駒沢ファンタジア」では新たに目黒区で活動する教育施設、団体等が出展した。世田谷区・目黒区で活躍する店舗や団体等による野菜や花苗の販売やワークショップ等を実施し、地域に根差したイベントとなり、地域の活性化に寄与した。</p>
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
猿 江 恩 賜 公 園	1 計画決定 (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 豎川緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 53 年 10 月 4 日 (17.40ha)	<p>【沿革・特徴】 本公園が存する地は、享保 18 年 (1733 年) 頃に横網町から移った幕府の材木蔵の跡地で、明治維新後は猿江御料地 (宮内省御料局貯木所) となった。</p> <p>大正 13 年 1 月 26 日に、昭和天皇御成婚記念として現在の南側地区が下賜され、昭和 7 年に開園した。</p> <p>北側地区は、その後も林野庁所管の貯木場として機能していたが、昭和 51 年に貯木場が江東区潮見へ移転したのを機に払い下げを受け、公園として整備、開園した。</p> <p>本公園は、かつての貯木場の水面景観を再現したものである。ミニ木蔵と石材で作り出した流れには、じゃぶじゃぶ池も配され、特に夏場は親子連れでにぎわっている。</p> <p>昭和 38 年 9 月に、池を埋め立てて江東公会堂の設置を許可した。この公会堂は、昭和 40 年 3 月 12 日に竣工し、その後平成 6 年に改築された。</p> <p>昭和 46 年 6 月 1 日に 39.58 m²を、昭和 56 年 12 月 26 日に貯木場跡地 93,326 m²を追加開園した。</p> <p>昭和 63 年度には、南側部分について日本庭園化工事を行った。</p> <p>平成 3 年 6 月 1 日に 415.26 m²を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 生物多様性工事を通じて地域との関係を築き、「生物多様性フェア 2024」に参加、公園自らも自然観察会を毎月実施し、公園の自然魅力向上につながっている。</p>
	2 開園年月日 昭和 7 年 4 月 29 日	
	3 面積 (m²) 145,088.43	
	4 位置 江東区住吉二丁目、毛利二丁目	
	5 交通 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」徒歩 2 分 J R 総武線「錦糸町駅」徒歩 15 分	
	6 主な施設 野球場 (2 面・照明付) 兼競技場 (照明付)、テニスコート (8 面・照明付)、江東公会堂 (ティアラ江東)、ミニ木蔵	
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
汐 入 公 園	1 計画決定 昭和 58 年 3 月 31 日 平成元年 1 月 20 日 (12.9ha)	<p>【沿革・特徴】 当公園が立地する白鬚西地区は荒川区の東端に位置し、住・商・工の混在する密集市街地であった。当地区の建物は戦災を免れて老朽化が進み、道路も狭く、また、工場移転に伴って人口が大幅に減少した結果、防災性の向上と地域の活性化が課題となっていた。</p> <p>この事態を受け、昭和 44 年に江東デルタ地帯</p>
	2 開園年月日 平成 18 年 4 月 1 日	
	3 面積 (m²) 129,369.83	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
汐 入 公 園	4 位置	<p>における防災性の向上及び地域の生活環境の改善・経済基盤の強化を目的として策定された「江東再開発基本構想」に基づき、都内の防災拠点の1つとして、昭和63年以降、施設建築物や公共施設の整備が行われてきた地区である。汐入公園は、この事業の一環として整備され、広さ12.9ha、防災備蓄倉庫や非常用電源などの施設が存在する。</p> <p>公園施設としては、テニスコートなどのスポーツ施設のほか、災害時にヘリコプターが離着陸できる広場と駐車場に応急仮設トイレも配置している。</p> <p>また、バーベキュー広場や多目的広場などを設置し、公園の東側は、隅田川のスーパー堤防と一体化して整備され、展望広場からの隅田川の眺望は、水辺空間として、快適で親しみやすい都市空間を生み出す、都内では貴重なビュースポットとなっている。平成23年6月1日335.76㎡を追加開園した。</p> <p>平成29年4月1日、国家戦略特別区法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>地元町会等と連携して、大規模イベント「汐入まつり」を開催。最新のダンスや音楽が楽しめるステージショーや、話題のグルメを堪能できるキッチンカーの誘致など、若年層が楽しめるプログラムを開催し、地域交流の活性化に寄与した。</p>
	荒川区南千住八丁目	
	5 交通	
	JR常磐線・東京メトロ日比谷線・つくばエクスプレス「南千住駅」徒歩12分	
	6 主な施設	
	テニスコート(4面)、ピクニック広場(バーベキュー広場)、野外ステージ、展望広場、日時計広場、多目的広場、複合遊具、駐車場	
	7 文化財等の指定	
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
潮 風 公 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>東京港のシンボルゾーンの一部として、航行する船を眺めながら楽しく利用できる公園として、昭和49年に13号埋立地跡を造成・開園したものである。</p> <p>昭和49年6月1日に13号地公園として開園後、同53年6月1日に6,541.50㎡、同54年5月31日に10,439.05㎡、同56年12月26日に91,991.23㎡を追加開園した後、平成7年6月1日付けで17.70㎡を実測により面積変更、平成8年6月1日に1,192.03㎡を追加開園した。臨海副都心内では最大の公園となっている。</p> <p>平成4年11月15日から平成8年3月23日まで立入を禁止し、園内の全面改修工事を行った。その際に、太陽の広場、夕日の塔、水と緑のプロムナードやコーストデッキ等の修景施設を整え、海と飛行機に見える公園として、その名も潮風公園と改めて、平成8年3月24日にリニューアルオープンした。</p> <p>なお、平成10年度には、バーベキュー施設も設置された。</p> <p>園地は、太陽の広場やバーベキュー場のある北エリアと、カスケードや噴水広場のある南エリアに分かれている。この両エリアを結んでい</p>
	昭和45年1月20日(20.20ha)	
	2 開園年月日	
	昭和49年6月1日	
	3 面積(㎡)	
	154,542.41	
	4 位置	
品川区東八潮		
5 交通		
ゆりかもめ「台場駅」・「東京国際クルーズターミナル駅」徒歩5分 臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」徒歩10分 京浜急行バス(大井駅～船の科学館行)「台場駅」徒歩5分 水上バス(東京水辺ライン)(東京都観光汽船)「お台場海浜公園」発着所徒歩10分		
6 主な施設		
コーストデッキ、サニーテラス、太陽の広場、カスケード、バーベキュー広場、レストハウス、駐車場		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
潮風公園	7 文化財等の指定 なし	た「しおかぜ橋」は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災による損傷や老朽化のため撤去したが、令和 2 年 4 月 1 日「新しおかぜ橋」の供用を開始した。 【近年の取組等】 港湾局所管公園と連携し、周辺公園 28 箇所を会場とした「アカペラコンサート」を開催。学生を主体とした音楽イベントであり、臨海副都心エリアの活性化に寄与。また、「エクサパーク」、「潮風・お台場ウォーキング教室」、「パークヨガ」等、都民の健康増進に繋がるイベントを複数開催。
	公園の名称等	沿革とその特徴
篠崎公園	1 計画決定 (昭和 15 年 3 月 30 日) (内告 147) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 27 年 10 月 2 日 (86.50ha)	【沿革・特徴】 昭和 15 年 3 月に皇紀 2600 年記念事業として篠崎緑地の名称で都市計画決定されたが、第二次世界大戦のため事業が一時中断した。戦後、昭和 32 年 12 月に東京都市計画公園・緑地の再検討が行われた際に篠崎公園と改められ、昭和 35 年から公園造成に着手し、昭和 42 年 7 月に一部開園、以降順次整備を図りつつ、現在も追加開園を行っている。 昭和 61 年 5 月には都民グリーンフェスティバル実行委員会による植樹祭が行われ、約 1000 本の木が植えられた。 昭和 51 年 7 月には計画面積を当初の 124ha から 89.5ha に縮小、さらに同 59 年 11 月には 86.8ha に縮小した。 平成 21 年 4 月にドッグランを開設した。 令和 4 年 1 月 15 日に 10,121.22 m ² の追加開園を行った。 篠崎公園地区高台まちづくり事業のため、令和 4 年 5 月 31 日をもってバーベキュー広場が閉鎖となった。また、令和 5 年 8 月に第一駐車場を移設、オープンした。 【近年の取組等】 「アジサイまつり」の開催を通じて、アジサイ園の魅力を幅広い世代に発信した。また、「クリスマスリース工作」や「ドングリ工作」等の四季折々のワークショップを実施し、参加者から好評を得た。
	2 開園年月日 昭和 42 年 7 月 26 日	
	3 面積 (m ²) 312,744.18	
	4 位置 江戸川区上篠崎一・四丁目、篠崎町五・六・七・八丁目、西篠崎一・二丁目、谷河内二丁目、南篠崎町四丁目	
	5 交通 〔A 地区〕 JR 総武線「小岩駅」京成バス「浅間神社」徒歩 4 分 都営新宿線「篠崎駅」徒歩 16 分 〔B 地区〕 JR 総武線「小岩駅」京成バス「小岩消防署」徒歩 1 分 都営新宿線「篠崎駅」徒歩 13 分	
	6 主な施設 野球場兼競技場 (4 面・うち 2 面は照明付)、小野球場 (2 面・照明付)、少年野球場、テニスコート (8 面・照明付)、球技広場 (4 面)、児童遊園、駐車場、ドッグラン	
	7 文化財等の指定 なし	
	公園の名称等	
芝公園	1 計画決定 (明治 22 年 5 月 20 日) (府告 37) 市区改正 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 43 年 10 月 7 日 (33.0ha)	【沿革・特徴】 明治 6 年の太政官布達に基づく都内最初の 5 公園 (深川、上野、芝、浅草、飛鳥山) の一つである。 開園当初は、江戸時代そのままの姿で、山内には増上寺の本堂や徳川家霊廟を中心として、巨木老木が繁茂し、各種文化財に富む景勝地で
	2 開園年月日 明治 6 年 10 月 19 日	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
芝公園	3 面積 (㎡)	<p>あった。</p> <p>明治 13 年には、初めて公園の開発や園内の茶屋等の整理が行われた。</p> <p>敷地は、しばしば拡張・除外等がなされ、殊に新憲法施行により、増上寺、東照宮等の寺社境内地や墓地等が除外され、わずかに外縁部のみが残され、もみじ谷、丸山付近に往年の面影をとどめるにすぎない。</p> <p>なお、昭和 43 年 10 月 15 日に、港区立中学校用地として 2,578 ㎡を、放射 21 号線道路用地として 1,774 ㎡を割譲したのを始めに、昭和 46 年 12 月 22 日には都市計画石神井公園用地との交換により 1,472.8 ㎡を提供し、都有地と港区有地 2,578.53 ㎡を等積交換した。また、昭和 53 年 3 月 31 日に港区へ管理を引き継ぐため 1,998.56 ㎡を公園区域から除外した。</p> <p>平成元年 6 月 1 日には、買収した民有地 69.42 ㎡を追加開園し、同 5 年 6 月 1 日に 231.29 ㎡を、同 7 年 6 月 1 日に 226.82 ㎡を、同 8 年 6 月 1 日に 446.87 ㎡を、同 9 年 6 月 1 日に 453.97 ㎡を、同 11 年 6 月 1 日には 106.78 ㎡を追加開園した。</p> <p>現在では、増上寺、プリンスホテルの周辺を囲う形で 15 区画の飛地公園となっている。</p> <p>春は丸山の花見、夏はもみじ谷の滝と流れが憩いの場として利用され、にぎわっている。</p> <p>なお、港区設置の図書館、プール等がある。</p> <p>令和 2 年 6 月 1 日、足掛け 3 年にわたる改修工事を経て、もみじ谷が再開園した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>従来のガイドツアーに加え、新たに芝公園を中心とする「芝エリア」の魅力をより深く楽しく学ぶ「芝楽まなび」シリーズの講演会・ガイドツアーを開催し、参加者から大好評を得た。</p>
	122,501.09	
	4 位置	
	港区芝公園一・二・三・四丁目	
	5 交通	
	都営三田線「芝公園駅」徒歩 2 分 都営三田線「御成門駅」徒歩 2 分 都営大江戸線、浅草線「大門駅」徒歩 5 分 都営大江戸線「赤羽橋駅」徒歩 2 分 JR 線・東京モノレール「浜松町駅」徒歩 12 分	
	6 主な施設	
野球場（2 面・照明付）兼競技場（照明付）、テニスコート（3 面・照明付）、もみじ谷、芝丸山古墳、プール、図書館		
7 文化財等の指定		
芝丸山古墳（都指定史跡）		
公園の名称等		沿革とその特徴
石神井公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>当公園は、石神井風致地区の中核をなす三宝寺池及び石神井池を中心とした水と緑の公園である。自然林に囲まれた三宝寺池は、武蔵野の三大湧水池の一つであり、昭和 30 年代頃までは、真冬でも池面が凍らない「不凍池」として知られていたが、周辺の市街化などの環境の変化により、現在では地下水を汲み上げて池を満たしている。</p> <p>三宝寺池の浮島にある沼沢植物群落は、昭和 10 年 12 月に国の天然記念物に指定されている。氷河期のままの姿を伝える寒冷地植物のミツガシワを始め、カキツバタ、コウホネなどが群落している。しかし、水環境の変化などにより、その種類や個体数は減少しているため、大型の水生植物を刈り取るなど群落の回復を図っている。</p> <p>また、三宝寺池周辺は、起伏に富み、木々に囲まれた静寂な趣が神秘的な環境を形作るとともに、武蔵野の自然をよく残した野鳥の楽園を</p>
	昭和 17 年 1 月 31 日（内告 43） 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 26 年 11 月 28 日（41.10ha）	
	2 開園年月日	
	昭和 34 年 3 月 11 日	
	3 面積 (㎡)	
	226,232.99	
4 位置		
練馬区石神井台一・二丁目、石神井町五丁目		
5 交通		
西武池袋線「石神井公園駅」徒歩 7 分 西武新宿線「上井草駅」西武バス（長久保行）「三宝寺池」徒歩 1 分 西武新宿線「上井草駅」西武バス（石神井公園行）「石神井公園」徒歩 3 分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
石 神 井 公 園	6 主な施設 野球場（2面・うち1面は照明付）、テニスコート（2面）、野外ステージ、ボート場、小野球場、駐車場	ともっており、文明9年（1477年）に陥落した石神井城跡も往時の姿を偲ばせている。 一方、東側の石神井池周辺にはボート場を始めとする施設があり、また、西側とは趣異なる庭園部分もある。昭和5年に風致地区に指定され、都心の貴重な自然を今に残している公園であり、地元区の様々な「まつり会場」としても親しまれている。 平成22年6月1日に22,410.74㎡を追加開園し、野球場、テニスコートを整備した。平成24年6月1日に1,864.46㎡を追加開園した。 【近年の取組等】 石神井公園開園65周年、日本野鳥の会90周年の共同企画「石神井公園バードフェスタ」を開催した。また、新たに石神井図書館と共同し、公園を中心に地域を楽しんで知る「しゃくじいたんけんぶっく」を作成する等、地域との連携を深めた。
	7 文化財等の指定 三宝寺池沼沢植物群落（国指定天然記念物） 石神井城跡（都指定史跡）	
公園の名称等		沿革とその特徴
城 北 中 央 公 園	1 計画決定 （昭和17年1月31日）（内告43） 昭和32年12月21日 昭和51年7月13日（43.60ha）	【沿革・特徴】 昭和17年1月、防空緑地として都市計画決定を行ない、用地買収に入ったが、第二次世界大戦中事業を一次中断した。戦後に入って、約8.6haを解放したことは、砧、駒沢、水元公園等と同様である。 昭和32年4月1日に上板橋緑地として開園し、同年立教大学に運動施設の設置を許可したが、昭和43年1月に同大学から返還され、以後一般に開放している。 昭和45年には、現在の名称である城北中央公園に名称を変更した。 城北地域における最大の運動公園として、陸上競技場、野球場、テニスコート、児童遊戯施設等がある。 また、昭和43年には都民の森として園内約1,000㎡に緑の銀行からの寄付により85本の植樹が行なわれた。 プール、じゃぶじゃぶ池、サイクリングセンター、サイクリングコースについては、平成11年度末をもって閉鎖した。 平成12年5月31日に5,885.63㎡、平成14年6月1日には5,723.2㎡、平成15年6月1日に10,359.38㎡と整備完了箇所を開園した。 平成17年6月には、ドッグランを開設し、新しいニーズに応えている。 平成23年6月1日に635.84㎡、平成24年6月1日に1,394.96㎡を追加開園した。 平成29年10月1日河川事業のため9,291.14㎡を一時廃止した。 【近年の取組等】 東京都・板橋区合同総合防災訓練の実施にあたり、総合防災部との調整やメイン会場周辺の施設補修・枯枝除去等を実施した。また、総合
	2 開園年月日 昭和32年4月1日	
	3 面積（㎡） 258,915.20	
	4 位置 板橋区桜川一丁目、小茂根五丁目、練馬区氷川台一丁目、羽沢三丁目	
	5 交通 東武東上線「上板橋駅」徒歩15分 東京メトロ「氷川台駅」徒歩20分	
	6 主な施設 競技場（400mトラック）、野球場（2面・照明付）、小野球場（2面）、テニスコート（9面・うち8面は照明付）、ドッグラン、上板橋体育館、駐車場	
	7 文化財等の指定 茂呂遺跡（都指定史跡）	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
城北中央公園		防災訓練は台風により中止となったが、公園を舞台にした地域連携の防災フェスタを開催した。
公園の名称等		沿革とその特徴
善福寺川緑地	1 計画決定 (昭和17年1月31日)(内告43) 昭和32年12月21日 昭和35年3月31日(28.58ha)	【沿革・特徴】 当公園は、善福寺川に沿った帯状の公園で、五日市街道を挟んで上流区域と下流区域とに分かれており、児童を対象とした施設の多い公園である。 公園内を流れる善福寺川は、藻が繁殖し、色とりどりの鯉の群れが随所に見られ、水辺の公園として都民の期待が高まっている。園内には約400本ものサクラがあり、杉並区内のサクラの名所の一つとなっている。 昭和53年8月1日に有料施設として野球場及び小野球場を各1面設置し、昭和62年6月1日にテニスコート3面を設置した。 なお、上流区域に設けられていたサイクリングセンター及びサイクリングコースについては、平成11年度末を持って閉鎖したが、これとは別に杉並区により設置・管理されているサイクリングコースがある。 また、平成13年6月1日に886.86㎡、平成21年4月1日に3,473.60㎡、平成22年4月1日に235.75㎡、令和7年5月1日に188.39㎡を追加開園した。 【近年の取組等】 高齢化や踏圧等の影響により桜の樹勢が低下しているため、ピックエアレーションを実施し将来的な桜並木の景観維持に努めるとともに、樹木医による精密診断を実施した。
	2 開園年月日 昭和39年8月1日	
	3 面積 (㎡) 181,408.46	
	4 位置 杉並区成田東二・三・四丁目、成田西一・三・四丁目、荻窪一丁目	
	5 交通 京王井の頭線「西永福駅」「浜田山駅」徒歩15分 JR中央線「中野駅」関東バス(吉祥寺駅行)(五日市街道営業所行)「緑地公園前」「五日市街道営業所」徒歩1分	
	6 主な施設 野球場(1面)、小野球場(1面)、テニスコート(3面)、子供の広場	
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
善福寺公園	1 計画決定 (昭和17年1月31日)(内告43) 昭和32年12月21日(10.89ha)	【沿革・特徴】 その昔、善福寺というお寺があり、その名をつけたとされるのが、現在の善福寺池である。 当公園は、武蔵野三大湧水池の一つとして数えられた善福寺池を核とした公園であり、池はボート場を設置した上の池と下の池とに分かれている。 この善福寺池は江戸時代は神田上水の補助水源にも利用されたと伝えられるほど湧水量が豊富で、清冽であったが、周囲の開発により逐次水量が減少し、現在では井戸水の汲み上げに依存している。 園内は、善福寺池を中心とした水と樹林と散策路の公園であり、昭和5年に風致地区に指定されてから地元の風致協会によって風致の保存が図られてきたが、公園としての歴史は比較的浅い。 昭和36年の開園以来、昭和39年8月1日に18,868.03㎡、昭和50年6月1日に3,585.16㎡、昭和53年6月1日に6,491.54㎡、昭和54年6月1日に694.92㎡、昭和55年6月1日に963.07
	2 開園年月日 昭和36年6月16日	
	3 面積 (㎡) 80,264.47	
	4 位置 杉並区善福寺二・三丁目	
	5 交通 JR中央線「荻窪駅」関東バス(南善福寺行)「善福寺公園前」徒歩0分 JR中央線「西荻窪駅」関東バス・西武バス(上石神井駅行)(大泉学園駅行)「善福寺」徒歩5分 西武新宿線「上石神井駅」関東バス・西武バス(西荻窪駅行)「善福寺」徒歩5分	
	6 主な施設 ボート場、ゲートボール場、子ども広場	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
善福寺公園	7 文化財等の指定 なし	<p>m²、平成 30 年 4 月 1 日に 1,642.44 m²を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 小学校と連携し、公園の魅力を紹介する「善福寺公園の魅力を発見！」を 1 年かけて実施。また、その内容が見られる QR コードを刻印した木札を園内 21 カ所に配置。子ども目線で新たな公園の魅力を発信して、DX を活用した広報活動「小学生監修の公園ガイド」を実施した。</p>
	公園の名称等	
祖師谷公園	1 計画決定 (昭和 18 年 8 月 4 日) (内告 522) 昭和 32 年 12 月 21 日 (53.33ha)	<p>【沿革・特徴】 当公園は、世田谷区の西北部を流れる仙川沿いに位置した整備中の公園である。 昭和 47 年 12 月 22 日に首都整備局から先行取得地の所管換を受け、児童遊戯施設を設置して一部開園したのに続き、下水道用地 11,674 m²を取得し、昭和 63 年 6 月 1 日に追加開園した。 さらに、旧東京教育大学祖師谷農場跡地を取得して整備を進め、追加開園した。その後も順次用地取得、整備、開園を進めていき、直近では、平成 29 年 10 月 1 日に 792.35 m²を追加開園した。 平成 29 年 4 月 1 日に国家戦力特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>【近年の取組等】 子ども達に「未来の祖師谷公園」をテーマに絵を描いてもらい、夏休み期間中、35 点の作品を親水テラスに展示した。また、令和 7 年度の開園 50 周年にむけて、公園でやってみたいことを募集した。</p>
	2 開園年月日 昭和 50 年 6 月 1 日	
	3 面積 (m ²) 94,902.81	
	4 位置 世田谷区上祖師谷三・四丁目、祖師谷五・六丁目、成城九丁目	
	5 交通 京王線「千歳烏山駅」徒歩 20 分 小田急線「成城学園前駅」小田急バス(千歳船橋行)(千歳烏山行)「駒沢グラウンド前」下車	
	6 主な施設 テニスコート(4面)、ゲートボール場、運動広場、湿性植物園、児童遊戯施設	
	7 文化財等の指定 なし	
	公園の名称等	
台場公園	1 計画決定 (昭和 21 年 9 月 4 日) (院告 132) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 3 年 2 月 28 日 (4.80ha)	<p>【沿革・特徴】 品川台場は、ペリー提督が嘉永 6 年(1853 年)に黒船で来航した後、江戸防備のために徳川幕府が築いた砲台の一つである。伊豆韮山の反射炉を設計した江川太郎左衛門英龍の設計に基づき、品川湾に 6 か所築かれたが、ついに使用されることなく放置されていた。 明治維新後は、陸軍省の管理となり、砲台は撤去された。6 か所とも昭和の初めまで残っていたが、大正 15 年 10 月 28 日に国の文化財に指定された第三台場と第六台場を除き、東京湾の整備のために取り壊された。 第三台場は、関東大震災により被害を受けたが、昭和 3 年に整備して公園として開放した。この当時は、第三台場も海上にあったが、埋立地の造成により陸続きとなった。 一般開放している第三台場は、お台場海浜公園(港湾局所管)と一体的な景観を生み出している。</p>
	2 開園年月日 昭和 3 年 7 月 7 日	
	3 面積 (m ²) 29,963.40	
	4 位置 港区台場一丁目	
	5 交通 ゆりかもめ「お台場海浜公園駅」徒歩 15 分 水上バス(東京水辺ライン)(東京都観光汽船)「お台場海浜公園」発着所徒歩 18 分 臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」徒歩 18 分	
	公園の名称等	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
台 場 公 園	6 主な施設	<p>なお、現在は一般の立入が禁止になっている第六台場は、植物や野鳥の生息地として学術上貴重な存在となっている。</p> <p>【近年の取組等】 AR技術によりスマートフォン上で史跡解説を閲覧できるシステムを導入した。また、東京都教育委員会「東京文化財ウィーク」公開事業、歴史的な文化財に「品川台場」として参加し、台場公園のPR活動を図っている。</p>
	第三台場（砲台跡を含む。）	
	7 文化財等の指定	
	品川台場（国指定史跡=第三台場及び第六台場）	
公園の名称等		沿革とその特徴
高 井 戸 公 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 当公園は、昭和17年に防空緑地として、当時の都市計画法に位置付けられ、昭和32年の東京都市計画における公園・緑地の再検討で種別運動公園として、都市計画決定された。 平成16年に、都市計画公園区域の南側を走る東京都市計画道路幹線街路放射第5号線（放射5号線）の都市計画と整合を図るため、区域の一部が変更された。 低層住宅と集合住宅の多い住宅地が周辺に広がり、まとまった空間は本計画地が最大であることから、「空の景を感じ、スポーツを楽しむみどりの拠点づくり」を基本理念とし、広々とした台地の空間を活かして、健康増進やスポーツを主体としたレクリエーション空間を創出するとともに、既に指定されている避難場所としての防災機能の向上、神田川や玉川上水の水辺の緑、放射5号線の緑といった帯状の緑と公園の緑を連続させ、水と緑のネットワークの形成を図り、都民の利用、地域のまちづくりへの寄与といった点から整備計画を策定した。 平成24年、事業認可を取得、埋蔵文化財の試掘調査で遺物が確認されたため、平成28年度より発掘調査を実施。調査が終了した北東地区から整備工事に着手することとなり、令和2年6月1日、芝生広場や遊具広場を備えた24,667.03㎡が開園した。 令和3年6月1日には、北西地区34,654.39㎡が追加開園した。 令和4年8月1日には南地区東側園地22,345.09㎡が追加開園し、野球場がオープンした。 令和5年9月1日に南地区11,701.77㎡が追加開園し、サッカー場がオープンした。同年11月7日には南地区1,957.63㎡が追加開園し、新たなサービスセンターが開所した。 令和6年6月15日には14,110.02㎡が追加開園し、テニスコートがオープンした。</p> <p>【近年の取組等】 追加開園を記念して「高井戸公園あおぞらマルシェ」、「高井戸公園あおぞらフェスタ」を開催した。また、公園で叶えたい夢を募集し、近隣の小学校等と連携した「あおぞら運動会」を初開催し、地域交流を積極的に進めた。</p>
	(昭和17年1月31日) (内告43)	
	昭和32年12月21日	
	平成16年5月14日 (17.4ha)	
	2 開園年月日	
	令和2年6月1日	
	3 面積 (㎡)	
	109,435.93	
	4 位置	
	杉並区久我山二丁目	
5 交通		
京王井の頭線「富士見ヶ丘駅」徒歩4分、「久我山駅」徒歩10分、京王線「千歳烏山駅」関東バス（久我山病院行）終点徒歩12分		
6 主な施設		
芝生広場、遊具広場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート（4面）		
7 文化財等の指定		
なし		

公園の名称等		沿革とその特徴
東京臨海広域防災公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 平成 15 年 11 月に東京湾臨海部における基幹的広域防災拠点として 13.2ha が都市計画決定された。このうち 6.7ha は国営公園、残り 6.5ha は都立公園として整備された新たなタイプの防災公園である。 平成 22 年 7 月に 4.1ha を一部開園し、平成 23 年 6 月に全面開園した。 発災時には国や地方自治体等の現地対策本部が設置され、広域的な指令機能をもつ場所となる。また、防災体験学習施設「そなエリア東京」では楽しく防災知識を身につけることができる。 園内には、草地広場、多目的広場、ヘリポート、国営公園内にバーベキューガーデンがある。本公園の特性上大型遊具を設置することが難しいため、広大な敷地を防災関連イベント等で活用している。 園地の開園時間は 6 時から 20 時までとなっており、それ以外の時間帯は閉鎖管理されている。 令和 6 年 2 月より指定管理者が西武造園株式会社から東京都公園協会に期間満了に伴い変更。</p> <p>【近年の取組等】 国営公園と都立公園境界部に位置するナチュラルスティックガーデンを活用した「コミュニティーガーデン講座」を開催し、国営公園との連携をさらに強化。</p>
	平成 15 年 11 月 6 日 (13.20ha)	
	2 開園年月日	
	平成 22 年 7 月 1 日	
	3 面積 (㎡)	
	65,197.12	
	4 位置	
江東区有明三丁目		
5 交通		
りんかい線「国際展示場駅」徒歩 4 分 ゆりかもめ「有明駅」徒歩 2 分		
6 主な施設		
防災体験学習施設そなエリア東京 (国営公園内)		
7 文化財等の指定		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
舎人公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 当公園は、東京都と埼玉県の境に位置する総合公園である。 昭和 15 年 3 月 30 日に皇紀 2600 年記念事業として砧、小金井、水元、篠崎の各緑地とともに防空大緑地として約 102ha が都市計画決定された。第 2 次世界大戦が終る頃までには、ほぼ 100%の用地を買収し終えていたが、昭和 21 年 10 月に公布された自作農創設特別措置法により、買収地の大部分である約 96ha を解放した。 その後、昭和 32 年に都市計画公園として決定し、同 44 年には流通業務団地造成事業との調整で、公園区域を 86.8ha に変更して今日に至っている。 昭和 49 年には、東京都公園審議会から「舎人公園の計画について」が答申され、基本計画が明らかになった。また、昭和 52 年には昭和天皇御在位 50 周年記念公園として国から指定を受け、本格的に公園造成に着手することとなった。 この後、計画地の事業認可を受けつつ、昭和 56 年 6 月に 1.38ha の当初開園を行い、その後も順次開園区域を拡大している。 明治 45 年に日本からアメリカに送られ、ワシントンのポトマック湖畔に植樹された、通称「タフト桜」から採取した苗木が昭和 57 年に当公園に植樹されており、鈴木元都知事により「レーガン桜」と命名されている。</p>
	(昭和 15 年 3 月 30 日) (内告 147) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 8 年 8 月 23 日 (69.50ha)	
	2 開園年月日	
	昭和 56 年 6 月 1 日	
	3 面積 (㎡)	
	649,645.09	
4 位置		
足立区入谷町、舎人町、古千谷一・二丁目、西伊興町、西伊興一・二・三丁目、皿沼三丁目、舎人公園		
5 交通		
日暮里・舎人ライナー「舎人公園前」徒歩 1 分 東武スカイツリーライン「竹ノ塚」バス(入谷循環)「中入谷」徒歩 1 分		
6 主な施設		
陸上競技場 (400mトラック)、野球場 (2面・照明付)、テニスコート (14 面・照明付)、プレイグラウンド、浮球の池 (ジャブジャブ池)、菖蒲田、バーベキュー広場、魚釣り場、キャンプ場、バードサンクチュアリ、駐車場、ドッグラン、ソリゲレンデ、冒険の丘		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
舎 人 公 園	7 文化財等の指定	<p>また、平成 16 年度から 19 年度には、都民から寄付を募り、新たに 700 本の桜を植樹し、既存の桜とあわせ、1,000 本の桜の名所とする事業を行った。</p> <p>平成 12 年 4 月に、B 地区の池をボート池から魚釣り池に変更し、釣りを解禁した。平成 17 年 6 月には、A 地区にドッグランを開設した。</p> <p>平成 20 年 3 月に B 地区で日暮里・舎人ライナー車庫上部を整備開園し、ちびっこソリゲレンデを設置した。</p> <p>令和 3 年 6 月 1 日に 13,465.88 m²を追加開園し、遊具広場「冒険の丘」をオープン、同年 11 月 15 日には幼児用遊具エリア「幼児の遊び場」をオープンした。また、令和 4 年 6 月 1 日にも 4,648.54 m²を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 キッズプログラムに注力する企業と連携して「キッズ運動会」を実施し、公園の認知度向上や更なる利用促進に繋げた。また、「防災フェス 2024」では、多彩な防災体験コンテンツを提供し、地域全体での連携強化と防災力向上に貢献した。</p>
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
戸 山 公 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 本公園は、山手線内で最も標高が高い箱根山を中心とした箱根山地区と、明治通りを隔てた場所にある広場を中心とする大久保地区とに分かれている。</p> <p>(1) 箱根山地区 (109,314.12 m²) 明治 6 年になると、兵学校戸山出張所が設けられ、翌 7 年に陸軍戸山学校と改称し、終戦に至るまで武道、音楽の地として知られた。 この地区は、和田戸という武士の館跡で、後の和田戸山と呼ばれていた場所である。 寛文年間 (1661~1673 年) に尾張徳川家の下屋敷となり、箱根山を中心として東海道五十三次に擬した庭園が造成された。 昭和 37 年 2 月 1 日に国と無償貸付契約を締結し、箱根山を中心とした周辺の公園予定地もその後逐次造成され、昭和 57 年 4 月 1 日に木製遊具を配した児童遊園を含めて 5,772.94 m²を追加開園した。 昭和 58 年 6 月 1 日には、箱根山東南部の国有地 5,772.94 m²を広場及び園路を中心として造成し、昭和 59 年 6 月 1 日には、箱根山東北部の国有地 2,835.10 m²、都有地 22,716.14 m²を草地広場として造成し、それぞれ追加開園した。 昭和 61 年度には、大久保つつじの名所として再現するため、植栽工事を行った。 昭和 63 年 6 月 1 日には、取得した国立聴力言語障害センター跡地 9,975.30 m²部分を多目的運動広場の整備や植栽工事を行ったうえで追加開園し、平成元年 6 月 1 日には戸山三丁目地内の 13,349.52 m²を流れ、池等に整備して追加開園した。 その後も、平成 3 年 6 月 1 日に 667.61 m²、同</p>
	(昭和 18 年 5 月 10 日) (院告 289) 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 51 年 7 月 13 日 (25.10ha)	
	2 開園年月日	
	昭和 29 年 8 月 16 日	
	3 面積 (m²)	
	186,471.81	
	4 位置	
	新宿区戸山一・二・三丁目、大久保三丁目	
	5 交通	
	大久保地区： JR 山手線「新大久保駅」徒歩 10 分 東京メトロ東西線「高田馬場駅」徒歩 10 分 箱根山地区： 都営大江戸線「若松河田駅」徒歩 15 分 東京メトロ東西線「早稲田駅」徒歩 10 分 東京メトロ副都心線「西早稲田駅」徒歩 8 分	
6 主な施設		
じゃぶじゃぶ池、運動広場、総合体育館 (新宿スポーツセンター)		
7 文化財等の指定		
なし		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
戸山公園		<p>年6月30日に1,343.93㎡、平成8年6月1日に1,969.76㎡、平成10年6月1日に294.07㎡を追加開園した。平成27年5月29日に335.63㎡を廃止した。</p> <p>(2) 大久保地区 (77,157.69㎡)</p> <p>本地区は、陸軍大久保小銃射撃場であったが、第2次世界大戦後、進駐軍に接収されて調達庁が管理していた。昭和34年に接収が解除され、大蔵省が管理するに至ったので、昭和32年の都市計画決定に基づき、同37年2月21日に公園地として無償貸付を受けた。</p> <p>一方、大都市における交通禍を重視した建設省は、諸外国が幼少時に公園を利用した交通道徳の教育を行っていることに着目し、交通公園の造成を計画して本用地の一部が指定された。</p> <p>これによって、昭和37年度から本格的に着工し、昭和39年10月30日に追加開園、同年11月25日に有料施設（ゴーカート）の使用を開始した。</p> <p>昭和59年6月1日には、本園北部の市街地再開発ビル（ニュータウンオークボ）に南面する所有地21,209.31㎡について「スポーツと憩いの森」を中心とした造成を行い、追加開園した。</p> <p>昭和61年3月31日に、当初の交通道徳の啓蒙普及の目的を達成したとして、有料施設（ゴーカート）を廃止した。</p> <p>平成5年6月1日に203.33㎡、同年12月10日に1,690.74㎡、平成7年6月1日に5,461.98㎡、平成9年6月1日に1,428.63㎡を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>地域住民と連携した「アロマキャンドル作り」、クリーンアップと連動した「ラベンダーの苗プレゼント」を実施。公園の美化意識向上に大きく貢献した。また、戸山公園今昔写真展を開催し、公園に対する利用者の理解を深めた。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
中川公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>当公園の敷地は、日立製作所の亀有工場があった場所で、工場の移転跡地の利用に際し、地下部分に下水処理施設が設置される予定であったことから、当初は広場として都市計画決定されていた。その後、昭和54年3月に運動公園として計画変更を行ったものである。</p> <p>土地は、東京都下水道局中川処理場の所有であり、公園用地として使用許可を受けて設置したものである。</p> <p>当公園は、環状7号線に面した北側部分のA地区と、中川に面した南側部分のB地区とに分かれている。</p> <p>A地区は、各種遊具と樹木が植栽され、芝生地もある付近住民の憩いの場及び避難場所としてのスペースと下水道処理場周辺の緑化を図る環境も併せ持っている。</p>
	昭和47年12月23日 昭和54年3月29日 (27.60ha)	
	2 開園年月日	
	昭和61年6月1日	
	3 面積 (㎡)	
	120,698.72	
	4 位置	
足立区中川五丁目		
5 交通		
J R常磐線「亀有駅」徒歩15分		
6 主な施設		
自由広場、ちびっこ広場、運動広場、ふれあい広場、多目的広場、駐車場		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
中川公園	7 文化財等の指定	<p>また、地上から約6mの高所にあることなどから、来園者の安全確保のため、9時から16時30分以外の時間は、利用を制限している。</p> <p>B地区(55,830.81㎡)は、運動広場・ふれあい広場・多目的広場・駐車場などを配置して整備し、利用時間の制限のない開放公園として、平成17年6月1日に追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 花壇の面積を倍加し、チューリップやヒマワリを植えた。また、毎月変わる顔出しパネルや季節の装飾を実施し、参加型の展示と新たな公園の楽しみ方を発信している。</p>
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
練馬城址公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 練馬城址公園は、昭和32年に都市計画決定された。</p> <p>当該地では遊園地を営業していたことなどから、公園として整備されずに長年経過したが、東日本大震災後の平成23年12月に「都市計画公園・緑地の整備方針」を改定し、「優先整備区域」に位置付けた。令和3年4月、整備計画に関する答申を公園審議会で受け、整備工事に着手した。当公園は「緑と水」・「広域防災拠点」・「にぎわい」という3つのコンセプトを、多様な主体と連携しながら実現していくという目標設定をしている。</p> <p>令和5年5月1日、「花のふれあいゾーン」「川辺の散策ゾーン」「エントランス交流ゾーン」の3つのエリアを含む32,106.02㎡が新規開園した。</p> <p>【近年の取組等】 8団体84人と協働し、参加者2,300人が開園1周年を祝うイベントを開催。ボランティアによる「出前えんにち」は多くの親子連れに好評だった。</p>
	昭和32年12月21日	
	2 開園年月日	
	令和5年5月1日	
	3 面積(㎡)	
	32,218.15	
	4 位置	
	練馬区春日町一丁目、向山三丁目	
5 交通		
都営大江戸線「豊島園駅」徒歩2分、 都営大江戸線「練馬春日町駅」徒歩9分、 西武豊島線「豊島園駅」徒歩2分、 西武バス(練馬駅北口・成増駅南口)「豊島園」徒歩3分		
6 主な施設		
草地広場、遊具広場		
7 文化財等の指定		
練馬城跡(都指定旧跡)		
公園の名称等		沿革とその特徴
東綾瀬公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 当公園は、昭和18年に東淵江緑地として計画決定され、昭和32年になって新たに東淵江公園として都市計画決定された。</p> <p>しかし、昭和30年代からの急速な宅地化の中で、北三谷土地区画整理組合、綾瀬土地区画整理組合、下谷中土地区画整理組合による土地区画整理事業が行われ、当時の東淵江公園の規模を維持しつつ、地域の住区基幹公園の機能を持たせる等の理由から、昭和42年に現在のような馬蹄形の区域に計画変更した。</p> <p>昭和41年に、前記土地区画整理組合から東京都が管理を引継いで東綾瀬公園として開園した。</p> <p>昭和61年11月に策定された東京都第二次長期計画において、東綾瀬公園内に都立武道館の</p>
	(昭和18年8月4日)(内告147) 昭和32年12月21日 昭和42年8月15日(17.40ha)	
	2 開園年月日	
	昭和41年7月11日	
	3 面積(㎡)	
	158,969.79	
4 位置		
足立区東綾瀬一・二・三丁目、綾瀬三・五・六丁目、谷中一丁目		
5 交通		
東京メトロ千代田線「綾瀬駅」徒歩1分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
東 綾 瀬 公 園	6 主な施設	<p>建設が計画され、併せて公園内の機能充実を図るための基本計画が策定された。</p> <p>この計画のテーマは子供から高齢者までの各層が、共に気持ちの良い空間で自然に体を動かし、楽しく健康づくりの行える公園、即ち「三世代スポーツ・パーク」と設定し、公園全体に一体感を持たせ、しかも有効な公園利用を促すため、公園の連続性・周回性を高めるよう整備した。</p> <p>なお、都立武道館は教育庁の所管で平成2年2月10日に開設された（現在はスポーツ推進本部所管）。</p> <p>また、温水プールは、足立区営で平成3年4月1日に開設された。</p> <p>平成30年9月3日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>「防災フェスタ」をはじめとした、防災・防犯活動を実施し地域の安全に貢献した。令和7年3月に駅前広場の整備が完了し、駅前一角が公園に見えるようになった。</p>
	野球場（3面・照明付）、テニスコート（4面・照明付）、ゲートボール場、駐車場、東京武道館、温水プール	
	7 文化財等の指定	
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
東 白 鬚 公 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>当公園は、江東再開発基本構想に基づき、防災拠点の一つとして昭和47年9月に都市計画決定し、江東再開発事務所（前第一再開発事務所）が工事を施行し、昭和61年3月31日に公園部分の造成工事が竣工し、引継を受けたものである。</p> <p>墨田区堤通二丁目先の環状4号線（明治通り）と補助119号線（墨堤通り）に沿って巨大な防火壁の役割を備えた高さ40mの連続住宅棟の内側に位置し、隅田川を沿うよう南北に細長く伸びた公園は、平常時には一般公園・運動公園として利用され、災害時の避難場所に指定されている。</p> <p>植栽の種類も常緑、耐火耐陰性と変化に富み、また園内には、公園の施設のほかに、災害時専用トイレ（マンホール型）5か所と消火用水のための池が2か所設置されている。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>近隣保育園等と連携し、子ども達と育てる『子ども花壇』2年目が始動。徐々に認知度が高まり、水やりに協力いただける公園利用者や花壇の様子を見に来ていただける高齢者が増え、幅広い世代交流や出会いの場として、公園利用の活性化につながっている。</p>
	昭和47年9月20日 昭和53年10月11日(10.30ha)	
	2 開園年月日	
	昭和61年6月1日	
	3 面積（㎡）	
	103,127.60	
	4 位置	
墨田区堤通二丁目		
5 交通		
東武スカイツリーライン「鐘ヶ淵駅」徒歩10分		
6 主な施設		
小野球場（2面）兼競技場、テニスコート（4面）、ゲートボール場		
7 文化財等の指定		
	なし	

公園の名称等	沿革とその特徴
<p style="text-align: center;">光 が 丘 公 園</p>	<p>【沿革・特徴】</p>
	<p>当公園の計画は、昭和 15 年の紀元 2600 年記念の大緑地計画に端を発するものであるが、第 2 次世界大戦の勃発に伴い計画は変更され、陸軍の「成増飛行場」が建設された。戦後は、元アメリカ大統領であり南北戦争時の北軍司令官としてその名を知られたグラント将軍の名を冠した「グラントハイツ」として米軍の管理下にあったが、昭和 48 年に返還された。</p>
	<p>これに先立つ昭和 47 年の 2 月に決定した、国有財産関東地方審議会における大蔵省処分方針に基づいて、グラントハイツ跡地の約 1/3 に当たる 60.7ha が公園として確保されることとなり、昭和 49 年に都市計画決定された。その内容は、市街化する都区部の中で 60.7ha の広大な敷地に豊かな自然を保ち、各種のスポーツ施設を備えた総合公園として計画されたもので、森林公園として災害時の広域避難場所にも指定されている。</p>
	<p>用地については、当初の開園区域は国から無償貸付を受けているが、残余については 1/3 を有償払下げ、2/3 を無償貸付ということで、昭和 60 年度末で処理済みである。</p>
	<p>整備工事は、昭和 49 年度を初年度として随時実施し、同 62 年度をもって光が丘地区の中心施設へのアプローチ部分を始めとする大規模な整備を終了しており、現在までにおよそ 62 億円を投じている。</p>
	<p>計画区域の殆ど全域にわたっての施工が可能であったため、園路、給排水、照明、放送設備等が合理的に整備されているのが特色である。</p>
	<p>在来の樹木は、3,000 本程度であり、比較的少数であった。大部分の樹木は新たに植樹したものであるが、樹相はほぼ成熟し、一般区域では自然を回復している。</p>
<p>スポーツ施設については、昭和 57 年度より同 60 年度にかけて整備され、有料施設として利用に供している。</p>	
<p>光が丘地区の中心施設へのアプローチ部分（ふれあいの径）の並木に植えてあるいちようは、千代田区丸の内にあった、旧東京都庁舎前の街路樹を移植したもので、樹齢 100 年以上のものである。</p>	
<p>公園の周囲は、グラントハイツ跡地を利用して大規模な集合住宅、小、中、高校が整備され、また、平成 12 年に全線が開通した都営大江戸線も乗り入れるなど、都内最大規模の団地となっている。</p>	
<p>【近年の取組等】</p>	
<p>「公園フェスタ」では、近隣商業施設 IMA や初参加の「四季の香ローズガーデン」など 11 団体が参加し、J A 東京あおば農業祭と同時開催だったこともあり、2 日間合計で昨年度を大きく上回る約 63,000 人が来場するなど地域交流の拡充による賑わいの創出に寄与した。</p>	

公園の名称等	沿革とその特徴
<p style="text-align: center;">日 比 谷 公 園</p>	<p>1 計画決定 (明治22年5月20日) (府告37) 市区改正 昭和32年12月21日 令和3年11月15日 (176.2ha) 中央公園</p> <p>2 開園年月日 明治36年 6月1日</p> <p>3 面積 (㎡) 161,636.66</p> <p>4 位置 千代田区日比谷公園</p> <p>5 交通 JR・東京メトロ「有楽町駅」徒歩8分 東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」 徒歩2分 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩2分</p> <p>6 主な施設 テニスコート (5面・照明付)、日比谷公 会堂、大音楽堂、小音楽堂、陳列場 (第1、 第2、第3)、日比谷図書文化館</p> <p>7 文化財等の指定 旧日比谷公園事務所 (都指定有形文化財 (建築物)) 市政会館及び日比谷公会堂 (都指定有形文 化財 (建造物) = (公財) 後藤・安田記念 東京都市研究所及び都管理)</p> <p>【沿革・特徴】 15世紀の中頃までは東京湾の入江で、陸地は ごく一部にすぎなかったと伝えられる。徳川時 代初期に埋め立てられ武家屋敷となり、幕末は 松平肥前守、松平大膳太夫等の屋敷があった。 明治4年頃、陸軍操練所が置かれ陸軍省が管 理していたが、明治22年市区改正設計公園 (旧 設計・公園第1号) に議定され、同33年に至り、 東京市は日比谷公園造営委員会を設置、本多静 六、石黒忠らに設計を委託、同36年我が国最初 の洋風近代式公園が誕生した。 都市計画上の位置づけは、その後の新設計を 経て、昭和32年の東京都市計画公園・緑地の再 検討において、前計画は廃止され、新たに「中 央公園」として定められた。誕生以来110年以 上に渡って、都心の高層建築の谷間に緑を保ち、 四季花を絶やさず多くの来園者を楽しませている。 昭和35年3月地下駐車場が完成し、その地上 には7,000㎡に及ぶ芝生広場を設け、同36年9 月完成の大噴水は直径30m、主柱12mの大き さで24態の水を噴き上げる名所となっている。 昭和49年6月には国有地955.29㎡を造成し、 追加開園した。 長年の使用によって老朽化した小音楽堂の建 替は昭和58年6月に、大音楽堂は同年8月に、 それぞれ竣工した。 昭和59年3月には北西部の整備工事により祝 田門が開設された。また、同年5月地方裁判所 跡地1,749㎡を大蔵省から借受、かもめの広場 として昭和61年4月1日に開園した。 平成2年7月27日には日比谷公園緑の相談所 (愛称：日比谷グリーンサロン) を開所した。 平成7年6月には建替えられた日比谷茶廊 (飲食店) を新たにオープンした。 平成11年度末には、緑の相談所を閉鎖し、「緑 と水の市民カレッジ」をオープンした。 平成18年10月には、旧公園資料館 (旧日比 谷公園事務所) で民間事業者 (公募) による保 存活用事業を実施し、多目的ホールとしてオー プンした。 令和5年7月に公表した「バリアフリー日比 谷公園プロジェクト」に基づき再整備を進めて おり、令和6年9月に第二花壇周辺の整備が完 了し、芝生地に自由に立ち入ることができる「芝 庭広場」として利用を開始した。 再生整備工事のため令和7年1月より、噴水 広場を閉鎖。</p> <p>【近年の取組等】 「HIBIYA PARK TERRACE」において、草地 広場で「星空シネマ」を初開催。東京ミッドタ ウン日比谷で開催された映画イベントと連携 し、地域価値を高めた。また、パラスポーツ である「ポッチャ体験会」を初開催。地域のコミ ュニティの輪を広げた。</p>

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
水 元 公 園	1 計画決定 昭和 15 年 3 月 30 日 (内告 147) 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 16 年 8 月 13 日 (145.00ha)	<p>【沿革・特徴】 昭和 15 年 3 月に皇紀 2600 年記念事業として水元緑地の名称で都市計画決定されたが、用地買収の途上において第 2 次世界大戦のため事業を一時中断した。戦後は自作農創設特別措置法により、買収地の大半を失った。</p> <p>昭和 32 年 12 月に東京都市計画公園・緑地の改訂が行われた際、水元公園と改められ、昭和 34 年以降は再び用地買収を開始し、昭和 40 年 4 月に一部を開園した。</p> <p>昭和 44 年 5 月 20 日の計画変更において、小合溜（こあいだめ）中央部分に区域を限定したほか、平成 10 年の変更で外郭環状道路との整合を図り、重複計画の内双方の機能が果たせる区域を極力残し、国道 298 号と交差する部分のサービス道路を公園区域から除外した。また、都市計画法上の公園の種別を「一般公園」から「広域公園」に変更した。</p> <p>昭和 41 年 12 月には、東京 100 年記念事業としての整備計画が決定され、翌 42 年 6 月に明治 100 年記念森林公園として指定を受けた。</p> <p>この公園は、水と水生植物等に恵まれた環境を活かし、水郷の景観を豊富に盛り込んだ 145ha の広域公園で、中央広場、水生植物園、バードサンクチュアリ、花菖蒲園、キャンプ広場、水辺ゾーン、せせらぎ広場等が既に設けられ、水産試験場跡地、埼玉県側河畔の区域をも合わせた大水郷公園として計画決定されている。</p> <p>なお、平成 7 年 5 月にバーベキュー広場を開設し、平成 8 年 5 月には老朽化した涼亭の建て替えを行った。</p> <p>平成 2 年に開所した緑の相談所は、平成 11 年度末に閉鎖した。</p> <p>水元公園水産試験場跡地及び東金町八丁目地区の整備については、平成 12 年 4 月に東京都公園審議会において整備計画が答申された。これを受けて、平成 12 年度から順次整備を行い、平成 28 年 2 月 1 日に 26,013.76 m²、令和 2 年 4 月 1 日に 617.81 m²を追加開園した。</p> <p>令和 2 年 6 月 1 日より、東金町八丁目に葛飾区が設置したクライミングセンター（設置許可）が供用を開始した。</p> <p>【近年の取組等】 「ふれあいフェスティバル」を開催し、企業やボランティア等と連携して花や動物の魅力を伝えるワークショップ等を実施した。また、11 町会合同の防災訓練を実施し、地域全体での防災意識向上を図った。</p>
	2 開園年月日 昭和 40 年 4 月 1 日	
	3 面積 (m²) 966,814.23	
	4 位置 葛飾区水元公園、東金町五・八丁目、東水元二丁目、埼玉県三郷市高州三丁目	
	5 交通 JR 常磐線「金町駅」から京成バス（戸ヶ崎操車場行）「水元公園」徒歩 7 分	
	6 主な施設 集会施設（涼亭和室 2 室）、水生植物園、少年キャンプ場、バーベキュー広場、野外ステージ、駐車場、ドッグラン、バードサンクチュアリ	
	7 文化財等の指定 水元のオニバス（都指定天然記念物）	
	公園の名称等	
明 治 公 園	1 計画決定 (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 内環状緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 平成 29 年 11 月 30 日	<p>【沿革・特徴】 昭和 21 年 4 月 25 日に戦災復興第 14 号で東京復興内環状緑地として計画決定され、その後昭和 32 年 12 月 21 日に都市計画法に基づき再度計画決定された。</p>
	公園の名称等	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
明治公園	2 開園年月日	<p>昭和31年8月11日には東京都体育館周辺を、昭和32年4月18日国立競技場前を事業決定し、昭和35年8月15日に青年館前、野球場西側、若葉町地区を、昭和39年3月31日に旧赤坂離宮前が事業決定された。</p> <p>昭和33年10月に体育館周辺地区の大部分が財務局から所管換され、昭和36年から青年館前、若葉町等の用地買収に着手するとともに、オリンピックの東京招致に成功後、国立競技場が主会場に決定されるに及んで、オリンピック準備局が公園整備に当たり、昭和39年9月に完成した。</p> <p>昭和39年10月1日及び同年12月1日付けで全面積を開園したが、地方自治法の一部を改正する法律の主旨により昭和42年4月1日に赤坂離宮前地区、若葉町地区を新宿区に移管した。</p> <p>なお、昭和46年3月25日には国有地であった野球場西側地区(2,653.16㎡)について、財務局所管の土地との交換により都営地となった。</p> <p>昭和61年5月31日に東京都体育館の改築に伴い、一部を開園区域から除外した。</p> <p>昭和61年12月20日には126.75㎡を追加開園した。</p> <p>平成27年1月27日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会会場整備のため、公園の一部(26,280.15㎡)を廃園し、平成28年4月1日より東部公園緑地事務所直轄管理となった。</p> <p>平成28年9月30日、東部公園緑地事務所直轄管理地(2,648.16㎡)については、区画整理事業実施のため廃園し、都市整備局へ移管した。</p> <p>令和元年11月30日、連絡デッキ1号・2号竣工。</p> <p>令和3年11月9日、Park-PFI事業設置等予定者が決定し、令和3年12月25日及び令和4年4月1日、Park-PFI事業予定地が開園した。</p> <p>令和5年10月31日に供用を開始し、令和6年1月31日に全面オープンした。</p>
	昭和39年10月1日	
	3 面積 (㎡)	
	61,342.46	
	4 位置	
	新宿区霞ヶ丘町、渋谷区千駄ヶ谷一・二丁目、神宮前二丁目	
	5 交通	
JR中央線「千駄ヶ谷駅」徒歩3分 都営大江戸線「国立競技場前駅」徒歩2分		
6 主な施設		
東京体育館(メインアリーナ(公園区域外)、サブアリーナ、プール(公園区域外)、陸上競技場)		
7 文化財等の指定		
なし		
公園の名称等		沿革とその特徴
夢の島公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>昭和45年3月10日の江東区長及び江東区議会議長要望に基づき、江東清掃工場関連施設として、昭和45年12月12日に計画決定がなされたもので、昭和50年3月に港湾局から埋立地約43haの引継を受け、本格的な整備に着手した。</p> <p>昭和51年3月に完成して一般に公開されている第五福竜丸展示館には、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを後世に伝えるため、昭和29年にビキニ環礁で行われた水爆実験により被害を受けた「第五福竜丸」が展示されている。また、同年11月には、教育庁所管の夢の島総合体育館(現東京スポーツ文化館)が竣工し、開館した。</p> <p>公園としては、その後の昭和53年10月1日に342,285㎡を開園し、同56年12月26日に33,244㎡を、同58年6月1日に2,128.00㎡を追加開園した。</p>
	昭和45年12月22日 昭和53年10月4日(43.20ha)	
	2 開園年月日	
	昭和53年10月1日	
	3 面積 (㎡)	
	433,612.23	
4 位置		
江東区夢の島一、二丁目		
5 交通		
J R京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩7分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス(新木場行)(若洲キャンプ場行)「夢の島」徒歩1分		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
夢の島公園	6 主な施設 陸上競技場、アーチェリー場、バーベキュー広場、夢の島熱帯植物館、第五福竜丸展示館、野球場、少年野球場、サッカー場、駐車場、東京スポーツ文化館 (BumB)	<p>当園は、補助線街路第 116 号（明治通り）を跨いで東西に分かれ、東側には陸上競技場、アーチェリー場、第五福竜丸等の他、東京スポーツ文化館がある。また、西側には、江東区が管理する野球場、サッカー場等がある。</p> <p>それまで分断されていた東西部分であるが、昭和 62 年になぎさ橋、昭和 63 年にはかもめ橋を架設し一体化を図った。その際、橋台敷地 5,834.83 m²について整備し、昭和 63 年 6 月 1 日に追加開園した。また、昭和 63 年 11 月に、東側部分に夢の島熱帯植物館が完成し、開館している。</p> <p>平成 11 年度には、他船に転用された後、海中に没していた第五福竜丸に使用していたエンジンの寄贈を受け、エンジンの補修と展示施設の整備を行い、公開している。</p> <p>平成 12 年度には、バーベキュー広場の拡大改修を図った。</p> <p>平成 28 年度、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた会場整備に着手し、アーチェリー場を設置した（生活文化スポーツ局所管）。</p> <p>公園口整備に伴い、平成 31 年 4 月 1 日に 400 m²を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】 地域回遊型イベント「新木場&夢の島わくわくお散歩アートフェス」を開催し、近隣企業やアーティストと連携したワークショップも行った。その他にも地域や企業、学校と連携して様々なイベントを実施し、公園を含めた地域の活性化に努めている。</p>
	7 文化財等の指定 なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
横網町公園	1 計画決定 (大正 13 年 4 月 1 日) (昭和 21 年 4 月 25 日) (院告 14) 隅田川緑地 昭和 32 年 12 月 21 日 昭和 46 年 7 月 9 日(103.5ha) 隅田川公園	<p>【沿革・特徴】 元陸軍被服廠跡の一部を大正 11 年に東京市が買収し公園造成を計画中に、翌年の同 12 年 9 月 1 日に関東大震災が起こった。この震災により、被服廠跡は最大の惨状を呈するところとなった。そのため、この災禍による幾多の遭難者の霊を追悼する震災記念館及び震災時の資料を展示する復興記念館を建設することとなり、従来の公園計画を変更した。</p> <p>本公園は、都市計画上は戦災復興計画の一環として隅田川緑地の一部として計画決定されたものである。隅田川緑地の都市計画決定は大正 13 年 4 月 1 日の内務省告示第 170 号によって、震災復興公園の 3 箇所の大公園の 1 箇所である墨田公園として決定され、国が事業を進めた。その後、昭和 21 年 4 月 25 日戦災復興院告示第 14 号により安田庭園並びに横網町公園を区域に含めたものであり、昭和 32 年の再検討により新たに都市計画上の位置づけがなされたものである。</p> <p>戦後、震災記念館には、東京大空襲において</p>
	2 開園年月日 昭和 5 年 9 月 1 日	
	3 面積 (m²) 19,579.53	
	4 位置 墨田区横網二丁目	
	5 交通 JR 総武線「両国駅」徒歩 10 分 都営大江戸線「両国駅」徒歩 5 分	
	6 主な施設 東京都慰霊堂、復興記念館、東京空襲犠牲者追悼・平和関係モニュメント	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
横 網 町 公 園	7 文化財等の指定 東京都慰霊堂、東京都復興記念館（東京都選定歴史的建造物＝都景観条例）	犠牲となった戦災死者の霊が合祀され、東京都慰霊堂と改称し、毎年3月10日及び9月1日に慰霊祭を行っている。また、復興記念館も震災関係資料を展示していたが、新たに戦災関係資料も加えて昭和33年7月から再び公開されている。昭和49年4月1日から防災思想の普及を図るため、入館料を無料とし、昭和61年、62年度に復興記念館の設備補修工事を行った。 平成13年3月には、東京空襲犠牲者の追悼と平和を祈念するため、生活文化局所管の「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」が設置された。 平成25年12月より、慰霊堂及び慰霊塔の耐震補強工事を実施し、平成28年2月に完了している。
		【近年の取組等】 令和6年度、特別展として「秋季」には画家が実際に見聞した関東大震災の記録をテーマに「有島生馬（没後50年）が描いた関東大震災」を、「春季」には慰霊堂が大空襲を免れた様々な通説を通じて東京大空襲を振り返る「焼け残った震災記念堂」を復興記念館で実施した。
公園の名称等		沿革とその特徴
代 々 木 公 園	1 計画決定 （昭和21年4月25日）（院告14） 山手環状緑地 昭和32年12月21日 昭和51年7月13日（65.80ha）	【沿革・特徴】 昭和20年12月、戦災復興の基本計画が決定され、当時は公園計画も壮大で進歩的なものであった。代々木公園は当時の山手環状の沿線緑化に沿う形で計画決定されたが、その後すぐに院告126号で米軍独身将校宿舎を除外し、特別都市計画復興大公園として誕生した。その後の再検討においても、従来の位置、面積が大公園として再確認され、指定換えがなされた。 代々木練兵場跡は、戦後はワシントンハイツと呼ばれた駐留軍家族の居住地であった跡地で、昭和39年オリンピック東京大会の開催にあたっては、選手村に当てられた。 昭和40年3月31日に、547,107㎡の国有地を国から借り受ける無償貸付契約を締結し、森林公園の造成に着手した。その後の整備に併せて、昭和42年10月20日にB地区の一部である78,639.73㎡を開園後逐次部分開園し、昭和46年4月1日には全面開園した。 園地は、森林公園部分（A地区）、運動施設広場部分（B地区）及び児童公園部分（C地区）の3地区に区分されていたが、昭和52年4月1日に児童公園部分（7,012.05㎡）を渋谷区へ移管した。 昭和51年には、都市緑地保全法の主旨に沿う形で、都市計画の変更が行われ、明治神宮内宮地域を公園計画区域から除外した。また、昭和60年5月1日にはB地区運動広場の機能充実を図り、文化的諸活動の振興を図るため、野外ステージを建設した。 平成3年5月には、A地区に噴水、池などの水を利用した修景施設を設置し、水と緑に恵ま
	2 開園年月日 昭和42年10月20日	
	3 面積（㎡） 544,711.27	
	4 位置 渋谷区代々木神園町、神南一・二丁目	
	5 交通 JR山手線「原宿駅」徒歩3分 東京メトロ千代田線「代々木公園駅」徒歩3分 東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前（原宿）駅」徒歩3分 小田急線「代々木八幡駅」徒歩6分	
	6 主な施設 陸上競技場、サッカー場兼ホッケー場、野外ステージ、サイクリングロード、駐車場、ドッグラン、バードサンクチュアリ	
	7 文化財等の指定 なし	

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
代々木公園		<p>れた公園として、一層の充実を図った。</p> <p>平成6年度にはB地区の園路（国立競技場とNHKとの間）を改修している。なお、B地区の多目的広場は、催物等に数多く利用されている。</p> <p>平成12年度には、噴水池、水上デッキの改修工事を行った。</p> <p>平成13～14年度には、「花の小径」を整備し、また、平成15年度には渋谷門橋耐震補強工事を施工し、安全性の確保を図った。平成16年11月 ナイキジャパンよりバスケットコート2面寄付受領。</p> <p>平成19年4月には、「ドッグラン」を開設し、新たなニーズに答えている。</p> <p>また、平成24年11月には、米国より日米友好の象徴としてハナミズキ100本が寄贈された。</p> <p>平成29年10月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>令和4年9月 バスケットコートクラウドファウンディングにより改修。</p> <p>令和4年11月、サッカー、ラグビー、ホッケー場を人工芝に改修し利用再開。</p> <p>（神南一丁目地区）</p> <p>令和3年11月9日、Park-PFI事業設置等予定者が決定し、令和4年4月1日、Park-PFI事業予定地が開園し、整備開始。令和7年2月20日、Park-PFI事業地を一部供用開始した。令和7年3月15日から飲食店等の設置許可施設が順次開業。令和7年6月7日、トイレ棟含め未整備部分を供用開始。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>人工芝に生まれ変わったサッカー場を活用し、地元プロサッカークラブとこどもサッカー教室などを実施。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
林試の森公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>林試の森公園（都市計画名；目黒公園）は、品川区及び目黒区にまたがる約12.1haの公園で、都心よりおよそ8kmの距離にある。</p> <p>公園の計画区域の大部分は、明治33年6月に農商務省林野整理局の目黒試験苗圃として使用されたのが始まりで、その後も林野庁の林業試験場として80有余年の間共用されてきたが、筑波学園都市の建設方針により同試験場についても移転が図られ、昭和55年5月に国有財産中央審議会において、同試験場跡地は避難場所を兼ねた公園として利用するよう、跡地の利用大綱が答申された。昭和55年2月に、国は同試験場跡地の一部暫定開放を品川区及び目黒区に認め、両区は「林試の森」として制限公開を行ってきたが、昭和62年に、東京都が国に対して同試験場跡地を公園の事業用地として処分することを要望し、これを受けた国有財産関東地方審議会において、同年10月に処分方針が答申さ</p>
	昭和32年12月21日 平成31年3月6日（14.2ha）	
	2 開園年月日	
	平成元年6月1日	
	3 面積（㎡）	
	123,396.87	
4 位置		
品川区小山台二丁目、 目黒区下目黒五丁目		
5 交通		
東急目黒線「武蔵小山駅」徒歩10分 JR線「渋谷駅」東急バス（五反田行「恵比寿」経由）「林試の森入口」徒歩1分		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
林 試 の 森 公 園	6 主な施設	<p>れ、公園として事業化を図ることとなった。平成元年6月1日に、東側部分 15,123.62 m²及び西側部分 25,034.75 m²の計 40,158.37 m²を新規開園し、同2年6月1日には 28,961.63 m²を追加開園した。その後、平成4年6月1日には中央部分を主とした 50,938.99 m²を、同6年6月1日に 703.92 m²追加開園した。</p> <p>平成31年3月に財務省小山台住宅跡地等を追加する都市計画変更を行い、このうち令和5年11月1日に羅漢寺川エントランスゾーン 1,734.67 m²を追加開園した。</p> <p>本公園は、旧林業試験場跡地として、歴史的経緯を持つ残存樹林を活用して造られた公園であるため、管理運営に当っては特段の配慮が必要とされている。</p> <p>令和6年9月1日に 899.29 m²を追加開園した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和6年度は、新たに地元警察や企業をに参画協力を仰いだ『防災フェア』開催や夏季の『ジャブジャブ池』の入場管理の工夫など、従来の手法を一步進めた取組を行った。</p>
	多目的広場、冒険広場、デイキャンプ広場、展示ルーム(会議室)	
	7 文化財等の指定	
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
蘆 花 恒 春 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>(1) 恒春園部分 (制限公開)</p> <p>明治から大正にかけての文豪として知られる徳富蘆花は、明治40年2月まで住んでいた青山高樹町の借家を離れ、当時の千歳村粕谷の地に土地と家屋を求めて「恒春園」と名付け、約20年間を過ごしていた。</p> <p>昭和11年の故人の10周年忌に際し、愛子未亡人から寄付を受け、同13年に蘆花夫婦の粕谷移住31周年記念日を期して開園した。</p> <p>邸地とともに寄付を受けた遺品は、昭和35年に建築した陳列場(蘆花記念館)に収蔵し、一部を一般公開している。</p> <p>園内のクヌギ林の一角には夫婦の墓所もあり、蘆花の命日に近い9月第3土曜日には、毎年蘆花を偲ぶ集いが催されている。なお、昭和40年以来コンクリート模造りであった秋水書院の屋根は、昭和59年3月に茅葺きに復元した。</p> <p>昭和61年3月には、記念館並びに母屋、愛子夫人居宅、恒春園(旧邸内)を整備復元し、昭和61年3月10日に東京都の史跡指定を受けた。</p> <p>(2) 公園部分 (公開公園)</p> <p>昭和32年に蘆花恒春園隣接地を都市計画決定したもので、同年に用地買収に着手した。</p> <p>昭和43年4月1日には児童遊園部分 3,409.41 m²を開園し、昭和46年6月1日に 22,542.04 m²を、昭和46年6月10日には児童遊園隣接部分 14,237.44 m²を、昭和47年6月1日に 1,691.24 m²を、昭和55年6月1日には 299.25 m²を追加開園し、昭和56年12月26日には墓所部分 396.69 m²を算入し、55,399.87 m²に面積変更した。</p> <p>さらに、平成2年8月1日に 421.20 m²、平成</p>
	昭和32年12月21日 (8.30ha)	
	2 開園年月日	
	昭和13年2月27日	
	3 面積 (m²)	
	80,304.43	
	4 位置	
	世田谷区粕谷一丁目	
5 交通		
京王線「芦花公園駅」徒歩15分 小田急線「千歳船橋駅」京王バス(千歳烏山行)「蘆花恒春園」徒歩7分		
6 主な施設		
集会場(梅花書屋、愛子夫人居宅)、蘆花記念館、ドッグラン		
7 文化財等の指定		
徳富蘆花旧宅(都指定史跡=徳富蘆花旧邸内部分 13,803 m ²)		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
蘆 花 恒 春 園		<p>4年6月1日に1,095.77㎡、平成7年6月1日に2,221.59㎡、平成8年6月1日3,925.07㎡、平成9年6月1日に1,496.19㎡、平成10年6月1日に887.95㎡、平成11年6月1日に2,458.00㎡、平成19年6月1日9,925.32㎡、平成21年4月1日1,720.83㎡を順次開園している。</p> <p>平成30年4月1日に国家戦略特別区域法に規定する、都市公園占用保育所等施設設置事業に係る、認可保育所を開所した。</p> <p>【近年の取組等】 令和6年度は、従来から実施している『かやぶきコンサート』等、日本文化の情報発信に加え、食品ロス低減を目的とした『フードドライブ』の実施等、SDG'sに繋がる取組も行った。</p>
公園の名称等		沿革とその特徴
和 田 堀 公 園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 かつては、一般に大宮公園と呼ばれていた場所で、大宮八幡宮の境内に接し、和田堀池を中心に12の橋にまたがる公園で、西端は善福寺川緑地に接している。和田堀池は昭和30年代の中頃、河川改修時に造られた人工池であるが、そこには、大小二つの中島があり、貴重な野鳥の生息地となっている。</p> <p>園内には、約280本の桜が植えられており、隣接する善福寺川緑地と共に、地域の桜の名所のひとつとなっている。</p> <p>運動施設として設置している野球場は、杉並区に管理許可を行なっているもので、善福寺川が氾濫した場合の遊水池としての機能を併せ持つように設計されている。</p> <p>また、順次公園の拡張整備を実施しており、直近では、平成25年5月1日に1,026.63㎡を追加開園している。</p> <p>令和5年10月杉並区にドッグランを設置許可。</p> <p>【近年の取組等】 外来種アメリカザリガニの大量発生により枯れてしまっていたコウホネを復活。和田堀池の外来種駆除後、コウホネを植え戻し、花を咲かせるまで回復させた。</p>
	(昭和16年1月14日)(内告13) 昭和32年12月21日 昭和51年12月24日(54.40ha)	
	2 開園年月日	
	昭和39年8月1日	
	3 面積 (㎡)	
	262,570.59	
	4 位置	
	杉並区大宮一・二丁目、成田東一・二丁目、成田西一丁目、堀ノ内一・二丁目、松ノ木一丁目	
5 交通		
京王井の頭線「西永福駅」徒歩15分 京王井の頭線「永福町駅」京王バス(松ノ木住宅行)「都立和田堀公園」徒歩1分		
6 主な施設		
野球場(2面)、競技場(300m・400mトラック)バーベキュー広場、郷土博物館、駐車場		
7 文化財等の指定		
大宮遺跡(都指定史跡)		

③ 霊園及び葬儀所 面積 1,621,667.61 m²

公園の名称等		沿革とその特徴
青山 霊園	1 開設	<p>青山霊園は、明治6年8月の太政大臣布達の「墓地取扱規則」により指定された青山百人町続き神葬祭地（もと青山百人町続き足し山）及び青山神葬祭地（青山元郡上邸跡地）として整備されたものを東京府が引継ぎ、明治7年9月1日に青山墓地として開設した我が国の公営墓地で最も古い墓地の一つである。明治22年に東京市に移管後、昭和10年に青山霊園と改め現在に至っている。区内の霊園の中では最も広く、地勢は多少起伏があり、中央を台地として東、南、西の三方向に傾斜している。また、立山地区（もと青山百人町続き足し山）は飛び地になっている。</p> <p>園内には、古木が点在し、霊園を南北に縦断する道路は桜並木となっており、桜の名所としても知られている。</p> <p>また、園内には明治、大正時代の政治家、軍人、文化人等著名人の墓所が多数あり、中でも大久保利通（幕末から明治にかけての政治家）の墓所は、都の旧跡として昭和15年に文化財に指定されている。</p> <p>なお、昭和32年に都市計画公園として計画決定され、全面的に公園として利用することを目指してきたが、平成14年12月の公園審議会答申により、霊園と公園が共存する空間として再生するとされ、平成15年7月から霊園使用者公募を再開すると共に、墓所移転制度や墓所返還時の特例制度を創設し、空き墓所の拡大・集約して、広場等の拡充を進めている。</p> <p>青山霊園再生事業に伴い、平成17年4月1日から立体埋蔵施設での管理が開始され、公募分を含め保管可能数は1,056区画ある。</p>
	明治7年9月1日	
	2 面積 (m²)	
	263,564.27	
	3 位置	
	港区南青山二丁目、四丁目	
	4 交通	
	東京メトロ銀座線「外苑前駅」徒歩8分 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」徒歩12分 東京メトロ銀座線、半蔵門線、都営大江戸線「青山一丁目」徒歩10分	
	5 使用者及び埋葬者数	
	令和7年3月31日現在	
使用者 (人)	14,889	
埋葬者 (体)	135,564	
6 文化財等の指定		
大久保利通墓所（都指定旧跡）		
公園の名称等		沿革とその特徴
雑司 ヶ 谷 霊園	1 開設	<p>(1) 霊園</p> <p>本霊園は、青山霊園と同じく、元雑司ヶ谷旭出町墓地を東京府が引継ぎ、明治7年9月1日に雑司ヶ谷墓地として開設したものである。明治22年に東京市に移管後、昭和10年には雑司ヶ谷霊園と改め、現在に至っている。</p> <p>園内はほぼ平坦で、けやきの古木等の緑が多く、また周辺の住宅が密集していることから、貴重な自然環境空間を提供している。また、夏目漱石を始めとする多数の文化人の墓所があり、散策に訪れる人も多く、特に明治・大正の哲学者であるラファエル・ケーベルの墓所は都の旧跡に指定されている。</p> <p>公園化を目指し、無縁墓地整理事業実施のため、昭和37年6月以降は返還墓所等の新規の使用（再貸付）は行っていなかったが、「霊園再生事業」に伴い、令和5年度から再開。令和7年4月1日からは樹林型合葬埋蔵施設の管理も行っている。</p> <p>(2) 崇祖堂</p>
	明治7年9月1日	
	2 面積 (m²)	
	106,110.29	
	3 位置	
	豊島区南池袋四丁目	
	4 交通	
	都電荒川線「都電雑司ヶ谷駅」徒歩2分 東京メトロ有楽町線「東池袋駅」徒歩7分 東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷駅」徒歩8分 JR線「池袋駅」徒歩20分	
	5 使用者及び埋葬者数	
	令和7年3月31日現在	
使用者 (人)	12,631	
埋葬者 (体)	81,064	
6 文化財等の指定		
ラファエル・ケーベル墓所（都指定旧跡）		

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴					
雑司ヶ谷霊園	7 施設の概要 (崇祖堂)	<p>大正から昭和初期にかけて、地方から東京への人口流入が増加したことに伴い、墓地に対する需要が高まった。この状況を検討した結果、墓地の新規需要に応じて造成を重ねることは将来都市計画に支障を来し、また経営上も問題が多いことから、火葬した遺骨であれば便利な場所で、安全かつ荘厳な納骨堂に収蔵し、必要があればいつでも容易に遺骨を移転できるようにすることが時代の要求に合うものと考え、昭和13年12月に霊園の一画に設けられた家族納骨壇方式の墓所が、この崇祖堂である。</p> <p>崇祖堂内には、この家族納骨壇（現在はロッカー形式短期収蔵施設）のほか一時収蔵施設、簡易な葬祭施設としての式場が併設されている。</p>					
	建築面積 2,288.82 m ² 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建 納骨堂 ロッカー形式短期収蔵施設 3,950 箇所 (令和7年3月31日現在 8,622 体) 一時収蔵保管可能数 2,880 体 (令和7年3月31日現在 914 体) 葬祭施設(式場) 収容人数 80 人 控え室(管理事務所棟)						
公園の名称等		沿革とその特徴					
谷中霊園	1 開設	<p>当霊園は、主として明治維新の戦禍で荒廃していた谷中天王寺の墓地等を東京府が引継いで谷中墓地として開設したものである。その後、明治22年に東京市に移管となり、昭和10年には谷中霊園と改め、現在に至っている。</p> <p>園内は、東側が全体に傾斜しているほかは平坦であり、墓域は点在する古木や中央園路の桜並木と相まって比較的静寂である。また、春には桜並木が美しく、多くの人出がある。</p> <p>付近には寺院も多く、寛永寺や天王寺の墓地と入り組んでおり、霊園全体の形は複雑になっている。</p> <p>幸田露伴の小説で有名な谷中天王寺の五重の塔も当霊園中央部にあったが、昭和32年7月6日、放火により惜しくもその姿を失った。</p> <p>現在、この五重の塔跡地は都の史跡に指定されており、このほか墓所2箇所が都の旧跡に、墓所1箇所が都の史跡に指定されている。</p> <p>なお、昭和32年に都市計画公園として計画決定がされ、無縁墓地整理事業の実施により将来は公園化を行なうこととなったため、昭和35年8月以降は返還墓所等の新規の使用(再貸付)は行なっていなかったが平成19年度から再開し、現在「霊園再生事業」に伴い、平成22年4月1日から立体埋蔵施設での管理も行っている。</p>					
	明治7年9月1日						
	2 面積 (m²)						
	102,537.46						
	3 位置						
	台東区谷中七丁目、上野桜木二丁目						
	4 交通						
	JR線「日暮里駅」徒歩5分						
5 使用者及び埋葬者数	<table border="1"> <tr> <td>令和7年3月31日現在</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用者(人)</td> <td>7,563</td> </tr> <tr> <td>埋葬者(体)</td> <td>60,126</td> </tr> </table>	令和7年3月31日現在		使用者(人)	7,563	埋葬者(体)	60,126
令和7年3月31日現在							
使用者(人)		7,563					
埋葬者(体)	60,126						
令和7年3月31日現在							
使用者(人)	7,563						
埋葬者(体)	60,126						
6 文化財等の指定							
大原重徳墓所(都指定旧跡) 菊地容齋墓所(都指定旧跡) 小花作助墓所(都指定史跡) 天王寺五重の塔跡(都指定史跡)							
公園の名称等		沿革とその特徴					
染井霊園	1 開設	<p>染井霊園は、元上駒込の建部邸及び大貫邸の跡地であり、江戸時代に大貫家に対して御墨付墓地として7反(2100坪=6,930 m²)が下賜されたのが最初と言われている。これを東京府が引き継ぎ、明治7年9月1日に染井墓地として開設した。</p> <p>明治22年には東京市に移管され、昭和10年に名称を染井霊園と改め、現在に至っている。</p> <p>都立霊園の中では最も規模が小さく、ほぼ平坦で、桜の古木が点在する中に墓所が設けられている。霊園付近には幹線道路がないことから、区内霊園としては静寂な地になっている。</p>					
	明治7年9月1日						
	2 面積 (m²)						
	67,910.73						
	3 位置						
豊島区駒込五・七丁目							
4 交通	JR山手線・都営三田線「巣鴨駅」徒歩10分						
JR山手線・都営三田線「巣鴨駅」徒歩10分							

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴	
染井 霊園	5 使用者及び埋葬者数	<p>公園化を目指し、無縁墓地整理事業実施のため、昭和 37 年 6 月以降は返還墓所等の新規の使用（再貸付）は行なっていなかったが、「霊園再生事業」に伴い、令和元年度から再開した。また、令和 3 年 4 月 1 日から立体埋蔵施設の管理も行っている。</p> <p>ちなみに、当霊園のある場所は、江戸時代に染井と呼ばれており、江戸園芸の中心地であった。著名な桜として世に知られる染井吉野（ソメイヨシノ）がこの地にあった植木屋を通じて世に広まったとされていることから、ソメイヨシノの発祥の地とも言われている。</p>	
	令和 7 年 3 月 31 日現在		
	使用者（人）		4,528
	埋葬者（体）		32,085
6 文化財等の指定	なし		
公園の名称等		沿革とその特徴	
八柱 霊園	1 開設	<p>本霊園は、上野から北東へ 20km の距離にあり区内霊園や当時の多磨墓地が飽和状態となったことから、当時の公園墓地構想により第二の郊外墓地として昭和 5 年に計画したもので、千葉県および松戸市の協力を得て昭和 8 年 10 月に約 74ha の用地を買収し終えて第 1 期工事に着手、昭和 10 年 7 月 1 日に開設したものである。</p> <p>建設当時 地元住民に親しまれるような明るいイメージの公園墓地とすることを基本方針とし、西欧風の公園墓地をイメージしながら「御霊の宿る園」との意味で考案したのが「霊園」という名称である。現在では、公営・民営を問わず、墓地の名称としても一般的に使用されるようになった名称だが、最初に使用されたのがこの八柱霊園であり、以降、東京都の墓地はすべて霊園と改称した。</p> <p>その後、年々利用者が増加し、昭和 35 年に既設区域も飽和状態に達したため、約 30ha にわたる拡張計画が決定され、同 39 年にはその用地買収もほぼ完了した。</p> <p>霊園の正門付近は、庭園を思わせるような設計がなされ、霊園全体がなだらかな起伏に富み、松林も多く自然環境に恵まれている。</p> <p>昭和 12 年には、霊園の一面に遺骨を短期間預かるための一時収蔵施設として、祭壇を併設した納骨堂が設置された。</p> <p>昭和 40 年から同 44 年にかけて、西洋風墓地である芝生墓地が設置された。また、平成 3 年度からは壁型埋蔵施設（通称壁墓地）、平成 25 年度からは合葬式墓地を造成し、併用を開始した。</p>	
	昭和 10 年 7 月 1 日		
	2 面積（㎡）		
	1,044,533.94		
	3 位置		
	千葉県松戸市田中新田、紙敷、松飛台、河原塚、日暮		
	4 交通		
	J R 武蔵野線「新八柱駅」徒歩 20 分 新京成線「八柱駅」徒歩 20 分 「新八柱駅」「八柱駅」京成バス（東松戸駅行） （紙敷車庫行）「八柱霊園」下車徒歩 1 分 北総開発鉄道線「松飛台駅」徒歩 3 分		
	5 使用者及び埋葬者数		
	令和 7 年 3 月 31 日現在		
使用者（人）	87,398		
埋葬者（体）	349,866		
6 文化財等の指定	なし		
7 施設の概要	<p>納骨堂 建築面積 163,63 ㎡ 鉄筋コンクリート造平屋建 一時収蔵保管可能数 2,843 体 （令和 7 年 3 月 31 日現在 1,280 体）</p>		
公園の名称等		沿革とその特徴	
瑞江 葬儀所	1 開設	<p>瑞江葬儀所は、東京市における唯一の公営火葬場として、低廉な料金で一般の利用に供すること等により、他の火葬場の範となるべく、昭和 10 年 3 月に都市計画決定され、昭和 13 年に開設された。</p> <p>その後、施設の老朽化とばい煙等の公害防止のため、昭和 48 年 6 月から同年 49 年 12 月にかけて全面改築工事を行い、同 50 年 2 月から業務を再開した。また、昭和 57 年度から 61 年度にかけて、順次火葬炉の更新を行った。</p> <p>現在の施設は、管理棟、火葬棟、付属施設に</p>	
	昭和 13 年 2 月 1 日		
	2 面積（㎡）		
37,010.92			
3 位置	江戸川区春江町三丁目		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴	
瑞 江 葬 儀 所	4 交通	<p>分かれている。火葬炉は燃料に都市ガスを用い、再燃焼装置及び集塵装置が完備され、臭気、ばい煙等の公害対策に万全を期すとともに、厳粛な中にも明るい雰囲気で行えるように、構造、設備に創意工夫が凝らされている。特に、周囲の景観と調和するように、火葬場のイメージそのものといえる煙突を設けないなどの配慮がなされている。</p> <p>当葬儀所では、静粛な雰囲気を保つために一日の受付件数を25件に制限している。また、当所で火葬する場合は、火葬までの間、柩を保管する業務も行っている。また、夜間も含めて電話による受付を行ったり、それまで仏式風だった祭壇を平成11年7月に無宗教型の祭壇へとリニューアルするなど、サービスの向上を図っている。</p> <p>現在、施設の老朽化のため新施設の整備を進めている。</p>	
	都営新宿線「瑞江駅」徒歩15分 JR総武線「小岩駅」京成バス(葛西駅行) 東京メトロ東西線「葛西駅」京成バス(小岩駅行)「瑞江斎場」		
	5 火葬件数(件)		
	令和6年度実績		7,410
	6 文化財等の指定		
	なし		
	7 施設の概要		
建築面積 4,325.20㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 式場(告別焼香斎場) 270㎡ 火葬室 1,121.9㎡ 火葬炉20基(ロストル式) 1日最大25体使用 収骨室 3室(1室42㎡) 柩保管室 8体保管可能 (1柩2m×61cm×45cm以内) 控室 10室(1室29.25㎡) ロビー294㎡ 全館冷暖房、放送設備完備 駐車場 収容台数 約75台			

④ 主な公園内施設

公園の名称等		沿革とその特徴
日比谷公園大音楽堂（日比谷公園内）	1 開設	<p>大正 12 年 7 月に開設された大音楽堂は、我が国最初の本格的野外音楽堂といわれ、同年 9 月の関東大震災により娯楽施設の壊滅した市内にあって、当時のすさんだ市民生活に健全な娯楽を与える場となった。</p> <p>その後、音楽会、舞踊、野外劇その他各種行事に利用されていたが、第二次世界大戦たけなわとなった昭和 18 年から一時休館していた。</p> <p>戦後は、日比谷公会堂とともに進駐軍に接収されていたが、昭和 25 年 10 月の接収解除後改修を行ない、昭和 29 年 9 月に二代目音楽堂として再開された。</p> <p>再開後は、コンサート、舞踊、集会等に利用されてきたが、最近は大出力の音響装置を使用する各種コンサート等がさかんに行なわれるようになった。</p> <p>コンサート等の多くは、高出力のアンプに多数の高性能スピーカーを組み合わせることで大音量を発生し、付近の官庁管理者や公園散策者から苦情が多く寄せられるようになったことから、これらの利用は 4 月から 10 月までの土曜・日曜・祝祭日に限り使用されることとしている。</p> <p>なお、現在の施設は、昭和 57 年 8 月から休園し、(財)日本宝くじ協会からの寄贈により、全面的な改修工事を実施し、同 58 年 8 月に完成したものである。</p> <p>「バリアフリー日比谷公園プロジェクト」に基づき再整備を進めるため、令和 7 年 10 月より使用休止している。</p>
	大正 12 年 7 月	
	2 位置	
	千代田区日比谷公園 1 番 5 号	
	3 交通	
JR・東京メトロ有楽町線「有楽町駅」徒歩 15 分 東京メトロ丸の内線、千代田線「霞ヶ関駅」徒歩 3 分 東京メトロ日比谷線「日比谷駅」徒歩 3 分		
4 施設の概要		
敷地面積	5,700 m ²	
客席		
椅子席	2,669 席	
うち身体障害者用	5 席	
立見席	450 席	

公園の名称等		沿革とその特徴
第五福竜丸展示館(夢の島公園内)	1 開設	<p>本展示館には、昭和29年(1954年)3月1日に太平洋マーシャル諸島のビキニ環礁において水爆実験による被害を受けた木造のマグロ漁船「第五福竜丸」及びその付属品、並びにこれらに関する資料を展示してある。</p> <p>ここに展示してある漁船は、昭和22年(1947年)に和歌山県で建造されたもので、始めはカツオ漁船だったが、後にマグロ漁船に改造され、遠洋漁業で活躍した。上記の被爆後は改造され、東京水産大学の練習船として活躍したが、昭和42年(1967年)に廃船となったものである。</p> <p>第五福竜丸は、船体の木材の腐朽が進み、個々の部材は木材としての強度を殆ど失っているため、昭和58年度に応急手当を、同59年度に船体の保存に関する調査を、同60年度に保存工事を行なった。また、平成9年度に船体調査を実施した後に平成10年度に船体保存工事を行なった。</p> <p>なお、平成8年12月に第五福竜丸のエンジンが海底から引き上げられ、平成10年1月にこのエンジンの船体がある夢の島公園内に展示して欲しい旨の要望が市民運動として起こり、東京都に要請書の提出があった。</p> <p>平成10年2月には、都知事がエンジンを受け入れるという基本方針を決定し、夢の島公園内に保存することとなった。</p> <p>エンジンは、腐食が進んでいたために、脱塩と防錆等の保存処理を行い、平成12年度に夢の島公園内の第五福竜丸展示館の横に展示公開された。</p> <p>平成30年度には、展示館の建物について、大規模改修工事を行い、平成31年4月にリニューアルオープンした。</p>
	昭和51年4月1日	
	2 位置	
	江東区夢の島2-1-1	
	3 交通	
JR京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩13分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス新木場行、若洲海浜公園行「夢の島」徒歩5分		
4 施設の概要		
構造 鉄骨造2階 建変形コノイド曲線で構成 建築面積 798.1㎡ 延床面積 802.5㎡ 入館時間 原則として午前9時30分から午後4時まで 休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合は、その翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで) 入館料 無料 ※日常の管理は、(公財)第五福竜丸平和協会に委託している。		

公園の名称等		沿革とその特徴																															
夢の島熱帯植物館(夢の島公園内)	1 開設	<p>本園は、熱帯植物を庭園的に展示することにより、都民に楽しみながら植物に親しみ、レクリエーションの場とともに学習の場を提供し、併せて都市緑化思想と自然保護思想の普及啓発を図ることを目的として、夢の島公園内に開館した。</p> <p>当植物管内は、木生シダ、ダイオウヤシ、オウギバショウ、バンノキ、バナナが特に目に付く植物で、これらの植物を熱帯の環境におくため、隣接する新江東清掃工場から熱供給を受けている。</p> <p>近年は、小笠原諸島展やイラストレーターのポップアップ展を実施するなど、展示を工夫し、新たな利用者の獲得につなげており、令和6年度は前年比134.7パーセント、149,777人もの方にご来園いただいた。</p>																															
	昭和63年11月19日																																
	2 位置																																
	江東区夢の島2-1-2																																
3 交通	<p>J R京葉線・東京メトロ有楽町線・臨海高速鉄道りんかい線「新木場駅」徒歩15分 東京メトロ東西線「東陽町駅」都営バス新木場行、若洲キャンプ場行「夢の島」徒歩7分</p>																																
4 施設の概要	<table border="0"> <tr> <td>延床面積</td> <td>約 4,300 m²</td> </tr> <tr> <td>大温室</td> <td>約 1,500 m²</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ約 28m</td> </tr> <tr> <td>イベントホール</td> <td>約 320 m²</td> </tr> <tr> <td>映像ホール</td> <td>約 150 m²</td> </tr> <tr> <td>情報ギャラリー</td> <td>約 230 m²</td> </tr> <tr> <td>植物の種類</td> <td>約 2,000 種類</td> </tr> <tr> <td>うち大温室内</td> <td>約 800 種類</td> </tr> <tr> <td>開園時間</td> <td>午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)</td> </tr> <tr> <td>休館日</td> <td>毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)</td> </tr> <tr> <td>入館料(一人あたり)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>250円</td> </tr> <tr> <td>65歳以上</td> <td>120円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>100円</td> </tr> <tr> <td>小学生以下と都内在住在学の中学生は無料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20人以上の団体は2割引</td> <td></td> </tr> </table>	延床面積	約 4,300 m ²	大温室	約 1,500 m ²		高さ約 28m	イベントホール	約 320 m ²	映像ホール	約 150 m ²	情報ギャラリー	約 230 m ²	植物の種類	約 2,000 種類	うち大温室内	約 800 種類	開園時間	午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)	休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)	入館料(一人あたり)		一般	250円	65歳以上	120円	中学生	100円	小学生以下と都内在住在学の中学生は無料		20人以上の団体は2割引	
延床面積	約 4,300 m ²																																
大温室	約 1,500 m ²																																
	高さ約 28m																																
イベントホール	約 320 m ²																																
映像ホール	約 150 m ²																																
情報ギャラリー	約 230 m ²																																
植物の種類	約 2,000 種類																																
うち大温室内	約 800 種類																																
開園時間	午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時まで)																																
休館日	毎週月曜日 (月曜日が祝日等の場合はその翌日) 年末年始 (12月29日から翌1月3日まで)																																
入館料(一人あたり)																																	
一般	250円																																
65歳以上	120円																																
中学生	100円																																
小学生以下と都内在住在学の中学生は無料																																	
20人以上の団体は2割引																																	
公園の名称等		沿革とその特徴																															
蘆花記念館(蘆花恒春園内)	1 開設	<p>文豪徳富蘆花が生前所有していた多数の品々を保存する施設で、徳富蘆花の研究に欠くことができない貴重なものである。</p> <p>このほか、徳富蘆花が使用していた母屋、梅花書屋・秋水書院の中は家具などをそのまま展示して、内外から鑑賞できる。</p> <p>なお、これらの建築物は老朽化が著しいため、昭和58年度を初年度として3ヵ年で改修した。</p>																															
	昭和35年4月1日																																
	2 位置																																
	世田谷区粕谷一丁目																																
3 交通	<p>京王線「芦花公園駅」徒歩15分 小田急線「千歳船橋駅」京王バス千歳烏山行「蘆花恒春園」徒歩7分</p>																																
4 施設の概要	<table border="0"> <tr> <td>構造</td> <td>鉄筋コンクリート造平屋建</td> </tr> <tr> <td>延床面積</td> <td>170.93 m²</td> </tr> <tr> <td>入館時間</td> <td>午前9時から午後4時まで</td> </tr> <tr> <td>休館日</td> <td>なし ただし、年末年始及び記念館・旧宅内の整理、陳列替等で必要な場合を除く。</td> </tr> <tr> <td>入館料</td> <td>無料</td> </tr> </table>	構造	鉄筋コンクリート造平屋建	延床面積	170.93 m ²	入館時間	午前9時から午後4時まで	休館日	なし ただし、年末年始及び記念館・旧宅内の整理、陳列替等で必要な場合を除く。	入館料	無料																						
構造	鉄筋コンクリート造平屋建																																
延床面積	170.93 m ²																																
入館時間	午前9時から午後4時まで																																
休館日	なし ただし、年末年始及び記念館・旧宅内の整理、陳列替等で必要な場合を除く。																																
入館料	無料																																

(3) 動物園等

動物園等（4園） 面積 949,145.30 m²（うち無料開園区域 78,649.05 m²）

公園の名称等		沿革とその特徴
恩賜上野動物園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>明治 15 年 3 月 20 日、農商務省博物局所管の博物館付属施設として開園した日本初の動物園。明治 19 年、宮内省に移管され、大正 13 年、昭和天皇のご成婚を記念して東京市に下賜された。昭和に入り、次々と動物の収集展示が行われた。第二次大戦末期（昭和 18 年）には、ゾウ・トラ・ライオンなど 27 頭の猛獣処分命令が下されるという悲しい出来事があった。戦後は、昭和 23 年に「こども動物園」「お猿の電車」などが開設され、昭和 24 年には、子どもたちが待ち望んでいたゾウ（タイから花子・インドからインディラ）が贈られた。贈られたゾウは移動動物園の主役として日本各地を巡り、大歓迎を受けた。その後、園の拡張・展示動物の充実がすすめられ、昭和 32 年、東園・西園を結ぶモノレールが開通、昭和 39 年、不忍池西側に水族館が開館した。昭和 47 年、日中国交回復を記念してジャイアントパンダ 2 頭「カンカン」「ランラン」が贈られた。パンダの人気は絶大で、入園者数は急増、昭和 49 年度には約 765 万人もの人が動物園を訪れ、水族館の入園者を含めると 922 万人を超える利用者があった。</p> <p>近年、動物園の役割の中で、希少動物の「種の保存」が着目され、東京都の動物園も希少動物の繁殖に本格的に取り組むことになった。平成 8 年に全面公開した「ゴリラ・トラの住む森」は生態的展示施設で、産室など十分なバックヤードを備えており、ゴリラの本格的な群れ飼育・繁殖をめざした施設である。その後、「ゾウのすむ森」（平成 16 年）、「クマたちの丘」（平成 18 年）「アイアイのすむ森」（平成 21 年）が公開され、それぞれの施設で動物の豊かな行動を観察できる。平成 23 年には展示提案による「ホッキョクグマとアザラシの海」が完成した。また、平成 20 年度以降はジャイアントパンダが不在となったが、中国との繁殖協働プロジェクトに基づき 2 頭のジャイアントパンダが来園、平成 23 年度から一般公開が再開された。平成 27 年からは環境省・文部科学省・農林水産省のライチョウ保護繁殖計画のもと、ライチョウの卵を受け入れ、平成 28 年には採取した 4 卵すべての孵化・成育に成功した。翌年には成長した個体間での飼育下繁殖にも成功している。平成 28 年には老朽化した動物病院と検疫施設を集約・高度化した「動物医療センター」が完成し、園内に最先端の医療施設を備えることとなった。</p> <p>平成 29 年度は、ジャイアントパンダ「シンシン」の出産と子ども「シャンシャン」の一般公開、子ども動物園すてっぷ及び弁天門のリニューアルオープン等、大きな出来事が続き、6 年ぶりに入園者数が 450 万人を超えた。</p> <p>車両の老朽化のため、モノレールが令和元年 10 月末に運行を休止した。</p> <p>令和 2 年 2 月に東園無料休憩所（さるやまキッチン）が利用を開始し、9 月には西園に「パ</p>
	2 開園年月日	
	3 面積（m ² ）	
	4 位置	
	5 交通	
	6 入園料	
	7 主な施設	
	8 文化財等の指定	

(以下次頁につづく)

公園の名称等		沿革とその特徴
恩賜上野動物園		<p>ンダのもり」が公開された。10月31日には、上野動物園で初めてアジアゾウが産卵し、オスの「アルン」が誕生した。</p> <p>令和3年6月23日には、上野動物園で初めて双子のジャイアントパンダ「シャオシャオ（オス）」と「レイレイ（メス）」が誕生した。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p>令和4年は、3月に新表門が運用開始され、8月には環境省より「希少種保全動物園等」に認定された。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和6年9月29日に平成23年に来園したジャイアントパンダ「リーリー（オス）」と「シンシン（メス）」の2頭を中国へ返還した。抽選制とした帰国前日の最終観覧時間は倍率61倍となり、当選した200名が別れを惜しんだ。また、令和6年10月28日のパンダの日には記念講演会「ジャイアントパンダ繁殖研究プロジェクトの13年を振り返って」を開催し、13年間の成果を伝えた。</p> <p>令和7年3月14日に上野動物園では13年ぶりとなるコビトカバ（オス）1頭が誕生した。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
葛西臨海水族園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>明治15年9月、日本で最初的水族館「観魚室（うおのぞき）」が上野動物園内に開設された。当初は淡水魚を展示する水族館であったが、開園70周年記念事業の一環として海水水族館が昭和27年に新設された。</p> <p>その後、開園80周年記念事業の一環として上野動物園水族館が計画され、昭和39年10月に再度新設された。ここには、両生類・爬虫類や水生無脊椎動物の展示や、大水槽の展示に初めてアクリル樹脂を使用するなど、様々な試みが用いられ成功した。</p> <p>上野動物園開園100周年記念事業として臨海水族園建設構想を策定し、昭和62年に葛西臨海水族園建設工事が着工された。2年2か月の工事期間を経て平成元年5月下旬に工事が完了した。本館は地上3階建てで、最高部地上30.7mの大きなガラスドームが特徴である。平成元年10月10日に開園した。</p> <p>館内では、「世界の海」や「東京の海」などのエリアで、500種を超える海の生き物が常設展示されている。特に、ドーナツ型大水槽（2,184t）での、クロマグロ等の回遊魚の展示は圧巻である。波が打ち寄せる関東の磯を再現した「渚の生物」、その隣には「しおだまり」水槽を設け、間近で観察できるようになっている。</p> <p>平成27年3月から、来園が困難な方を対象に移動水族館事業を新たに開始した。</p> <p>令和3年1月、環境省より「希少種保全動物園等」に認定された。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p>
	—	
	2 開園年月日	
	平成元年10月10日	
	3 面積（㎡）	
	85,958.90	
	4 位置	
	江戸川区臨海町六丁目	
5 交通		
JR京葉線「葛西臨海公園駅」徒歩5分 東京メトロ東西線「葛西駅」、「西葛西駅」より都バス（葛西臨海公園行）「葛西臨海公園」徒歩5分 水上バス（東京水辺ライン）「葛西臨海公園」徒歩10分		
6 入園料		
一般 700円 中学生 250円 65歳以上 350円 （小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料）		
7 主な施設		
レクチャールーム 情報資料室 アクアシアター（大水槽）		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
葛西臨海水族園	8 文化財等の指定	<p>令和6年5月、新水族園の工事開始に向けた仮囲い設置に伴い「水辺の自然」エリアを閉鎖した。令和6年7月より、企画展示『「水辺の自然」の生き物』にて「水辺の自然」エリアで展示していた生き物の展示を行っている。</p> <p>【近年の取組等】 令和6年10月10日に開園35周年を迎え、様々な周年イベントを開催した。 令和6年1月より「ペンギンの生態」を休止して、擬岩やプールの大幅な改修を行い、令和6年11月より再開した。休止期間中はテントデッキ横で、フンボルトペンギンやオウサマペンギンの仮設展示を行った。 令和6年2月より「海藻の林」において、新水族園で展示を予定している日本産褐藻類の試験飼育を開始した。 令和6年8月に国内3例目となるワタゲクラゲが江戸川放水路で発見され、9月より浮遊生物コーナーで展示した。 令和6年12月4日には、新たに津波警報発令を想定した震災対策訓練を葛西臨海公園と連携して行い、津波による複合災害発生を想定した本部運営や来園者誘導等の初動対応の流れを確認し、災害対応力をより一層強化した。 新水族園オープンを見据え「サンゴ礁の海」のサンゴを種子島産のものに入れ替え、飼育下個体群を生息地へ再導入することで域外保全に貢献できるようサンゴの飼育環境の研究を開始した。</p>
	なし	
公園の名称等		沿革とその特徴
多摩動物公園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】 郊外の広い敷地における無柵放養式と豊かな自然環境の中で動物の保護増殖を推進することを基本とした新動物園建設は、昭和31年1月23日、都立多摩丘陵自然公園内で始まり、昭和33年5月5日の「こどもの日」を期して「多摩動物公園」が開園された。 開園当時は、飼育動物99種、434点のほか魚類が若干展示されていたが、来園者の要望に合わせるべく、昭和37年に既設区域の北側に約15ha拡張してライオン園を含むアフリカ園を開園した。また、同じ昭和37年には、当時世界でも例の少ない昆虫園を開設、昭和39年には世界に先駆けてサファリ形式のライオンバスの運行を開始した。昭和59年にはオーストラリアから2頭のコアラが来園し、爆発的なコアラ人気を生んだ。 平成10年度から、隣接地に「七生公園区域」を整備し、程久保地区を平成12年6月に、南平地区を平成13年6月に開園（無料・制限公開）した。園内の飼育施設は平成3年度以降、大規模改造を進めており、オランウータンのスカイウォーク、モウコノウマやオオカミを展示する「アジアの平原」などを整備した。 動物の保全活動では、二ホンコウノトリが昭和63年に初めて繁殖して以来、毎年繁殖に成功</p>
	昭和32年12月21日 平成2年7月6日（64.60ha）	
	2 開園年月日	
	昭和33年5月5日	
	3 面積（㎡）	
	602,513.37	
	4 位置	
	日野市程久保六・七丁目、南平八丁目	
	5 交通	
	京王線・多摩モノレール「多摩動物公園駅」 徒歩1分	
6 入園料		
一般 600円 中学生 200円 65歳以上 300円 （小学生以下及び都内在住・在学の中学生は無料）		
7 主な施設		
シャトルバス		
8 文化財等の指定		
なし		

（以下次頁につづく）

公園の名称等		沿革とその特徴
多摩動物公園		<p>している。平成19年に佐渡トキ保護センターから受け入れて非公開で飼育しているトキも平成20年以降順調に産卵と孵化がみられ、成長した雛は佐渡トキ保護センターに移送して多くが放鳥されている。また、オーストラリア連邦タスマニア州政府の取り組むタスマニアデビル分散飼育プログラムへの参画により、平成28年5月にタスマニアデビル2頭が来園した。</p> <p>平成17年からオガサワラシジミの飼育に取り組み、平成28年に園内施設を使用した交尾に成功し方法を確立した。翌29年以降、1年以上の継続した累代飼育を重ねてきたが、令和2年春、個体の有精卵率が急激に低下し、繁殖が困難となり、同年8月25日全ての個体が死亡し、生息域外個体群が途絶した。</p> <p>令和元年度は、8年ぶりにコアアラが誕生。その後も繁殖を継続し、令和6年度にはコアアラ来園40周年記念イベントを開催した。</p> <p>令和3年には、広い運動場と大きな屋内施設を備えた新施設「アジアゾウのすむ谷」が公開され、ライオンバスステーションと放飼場の改築工事のために平成28年4月から休止していたライオンバスの運行も再開した。また、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。アフリカ園では一部施設のリニューアルを進め、令和4年にはキリン舎が、令和6年にシマウマ・オリックス舎が完成した。</p> <p>令和6年12月、環境省より「希少種保全動物園等」に認定された。</p> <p>令和6年5月に都立七生公園程久保地区において1,140.83㎡を拡張した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和6年5月22日に左牙の内部組織が壊死し感染症等のリスクを抱えていたアフリカゾウ「砥夢（トム）（オス）」の拔牙処置を日本で初めて成功させた。アメリカから専門チームを招聘し、国内の動物園の応援スタッフを含め、総勢60名以上で処置を行い、国内における大型動物の麻酔及び飼育技術の向上に貢献した。</p> <p>令和6年9月3日に多摩動物公園では50年ぶりとなるインドサイ「デコボン（メス）」が誕生した。また、ライオンバス運行開始から60年目に当たる5月17日を中心に、飼育係のライオンバス乗車ガイド、乗車記念抽選会などのイベントを行った。</p>
	公園の名称等	沿革とその特徴
井の頭自然文化園	1 計画決定	<p>【沿革・特徴】</p> <p>昭和9年5月、井の頭恩賜公園内の中之島に小動物園が開園され、昭和11年には我が国初の淡水水族館を開設した。</p> <p>昭和17年5月17日に、この小動物園と御殿山地区の自然生態園地区を併せて「東京市井の頭恩賜公園自然文化園」として開園した。「行楽の間に自然科学知識の普及向上に寄与する」と</p>
	2 開園年月日	
	3 面積（㎡）	
	昭和17年5月17日	
	115,500.00	

(以下次頁につづく)

公園の名称等	沿革とその特徴
井 の 頭 自 然 文 化 園	4 位置
	武蔵野市御殿山一丁目、 三鷹市井の頭四丁目
	5 交通
	JR中央線・総武線・京王井の頭線「吉祥 寺駅」徒歩10分
	6 入園料
	一 般 400 円 中 学 生 150 円 65 歳以上 200 円 (小学生以下及び都内在住・在学の中学生 は無料)
	7 主な施設
	童心居 (集会場: 8 人) 資料館 (集会場: 60 人) 彫刻園
8 文化財等の指定	
なし	<p>いう大テーマの下、大放飼場を中心に動物舎・小禽舎や資料陳列館などが整備され、動植物を始め総合的な野外博物館としての性格を持つ施設にした。</p> <p>戦中、戦後の混乱期を経た昭和22年「東京都井の頭自然文化園」と改称。動物施設の充実が図られる一方、スポーツランド(遊園地)や水生生物館の設置、北村西望氏の彫刻作品を展示する彫刻園の開設、植物園的整備を進めてきた。</p> <p>アカマツ林の中に動物達が自由に生息する武蔵野ハビタット、野鳥の森、ニホンリスを間近に観察出来るリスの小径(こみち)、テンジクネズミの触れ合いコーナーを始め、日本産動物の飼育展示、武蔵野の面影を伝えるアカマツ・イヌシデ等の雑木林、山野草、シャクナゲ、ツバキなどの植物展示、淡水魚や水に関連する動植物の展示・保護増殖などを行い、多くの都民に親しまれてきた。</p> <p>アムールヤマネコの繁殖実績が評価され、国の天然記念物ツシマヤマネコの飼育下繁殖事業の域外施設に選定され、飼育下での繁殖に向けた取組を継続している。</p> <p>平成25年6月、熱帯鳥温室が耐震上の関係で閉鎖し、仮設オオコウモリ舎がオープンした。</p> <p>平成28年5月、アジアゾウ(メス)の「はな子」が69歳で死亡した。</p> <p>平成29年5月にユーラシアカワウソ1頭、平成30年11月にニホンイノシシ2頭が来園した。</p> <p>令和3年3月、環境省より「希少種保全動物園等」に認定された。</p> <p>令和3年7月に、クレジットカードによる入場券の事前決済オンラインチケットを導入した。</p> <p>令和3年11月にソウル大公園(韓国)からアムールヤマネコ(オス、メス)2頭を19年ぶりに搬入した。</p> <p>令和6年5月に、開園以来の累計入園者数6,000万人を達成した。</p> <p>【近年の取組等】</p> <p>令和6年3月31日から令和7年1月13日まで、資料館で4園連携特設展示「ようこそデザインャーレ-東京どうぶつえんすいぞくえんデザイン室」を開催、動物園・水族園のデザインの面白さや工夫を、デザインの重要性にもふれながら紹介した。</p> <p>開園以来の累計入園者数6,000万人を5月14日に達成した。5月18・19日の開園記念イベントは、6,000万人達成も記念して実施した。</p> <p>令和4年度から毎年繁殖が続いていたニホンカモシカについては、6月21日にオス1頭が誕生し、3年連続の繁殖となった。</p> <p>令和6年10月19・20日の「ヤマネコ祭2024～島にすむ生きものたち」では、ヤマネコだけでなく、日本の島嶼部に生息する野生生物の保全の取組を広く紹介した。</p>

第4 管内の文化財

(文化財の定義) 文化財保護法第2条 (この法律で「文化財」とは、次に掲げるものをいう。)

1. 建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの (これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。) 並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料 (以下「有形文化財」という。)
2. 演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所在で我が国にとって歴史上又は芸術上価値の高いもの (以下「無形文化財」という。)
3. 衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術及びこれらに用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で我が国民の生活の推移の理解のため欠くことのできないもの (以下「民俗文化財」という。)
4. 貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で我が国にとって歴史上又は学術上価値の高いもの、庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で我が国にとって芸術上又は観賞上価値の高いもの並びに動物 (生息地、繁殖地及び渡来地を含む。)、植物 (自生地を含む。) 及び地質鉱物 (特異な自然の現象の生じている土地を含む。) で我が国にとって学術上価値の高いもの (以下「記念物」という。)
5. 地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの (以下「文化的景観」という。)
6. 周囲の環境と一体をなして歴史的風致を形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの (以下「伝統的建造物群」という。)

【当事務所が管理する公園等に存する文化財のうち、国・都により指定された主なもの】

- 1 国の特別名勝 (及び特別史跡) または名勝 (及び史跡) に指定されている庭園
 - (1) 旧浜離宮庭園 (浜離宮恩賜庭園: 特別名勝及び特別史跡)
 - (2) 小石川後楽園 (特別史跡及び特別名勝)
 - (3) 六義園 (特別名勝)
 - (4) 旧芝離宮庭園 (旧芝離宮恩賜庭園: 名勝)
 - (5) 向島百花園 (名勝及び史跡)
 - (6) 旧古河氏庭園 (旧古河庭園: 名勝)
- 2 国の史跡
 - (1) 品川台場 (第三台場 (台場公園)、第六台場 (未開園地))
- 3 国の天然記念物
 - (1) 三宝寺池沼沢植物群落 (石神井公園)

- 4 国の重要文化財（建造物）
 - (1) 旧岩崎家住宅（庭園とする敷地も指定）（旧岩崎邸庭園）
 - (2) 旧寛永寺五重塔（恩賜上野動物園）

- 5 都の名勝に指定されている庭園
 - (1) 清澄庭園

- 6 都の史跡（墓所は省略）
 - (1) 徳富蘆花旧宅（蘆花恒春園）
 - (2) 天王寺五重塔跡（谷中霊園）
 - (3) 大宮遺跡（和田堀公園）
 - (4) 芝丸山古墳（芝公園）
 - (5) 茂呂遺跡（城北中央公園）
 - (6) 石神井城跡（石神井公園）

- 7 都の天然記念物
 - (1) 水元のオニバス（水元公園）

- 8 都の有形文化財（建造物）
 - (1) 旧日比谷公園事務所（日比谷公園）
 - (2) 市政会館及び日比谷公会堂（日比谷公園）

- 9 都の旧跡（墓所は省略）
 - (1) 徳丸ヶ原（赤塚公園）
 - (2) 練馬城跡（練馬城址公園）

付 表

- 1 有料施設の概要
 - (1) 入 園 料
 - (2) 使 用 料

- 2 年度別有料施設利用状況

- 3 開園（管理）面積調書

- 4 管内公園所在地一覧

1 有料施設の概要 (令和7年6月1日現在)

(1) 入園料

公園名	種別	金額		休園日	開園時間	備考
		個人	団体			
浜離宮恩賜庭園 小石川後楽園 六義園	一般及び 中学生	300円	20人以上は 左記金額の 8割の額 (10円未満切 り捨て)	12月29日 から 1月1日 (向島百花園 については 12月29日 から 1月3日 まで)	午前9時から午後5時 (入園は、午後 4時30分 まで)	●小学生以下・ 都内在住、在学 の中学生は無料 ●みどりの日 (5月4日) 都 民の日(10月1 日) 入園無料 ●動物園開園記 念日(恩賜上野 動物園3月20日、 葛西臨海水族園 10月10日、多摩 動物公園5月5 日、井の頭自然 文化園5月17日) は、入園無料 ●老人週間(9 月15日から21日 まで)は、60歳 以上と付添者者 一名入園無料 ●こどもの日 (5月5日) は、中学生以下 入園無料
	65歳以上	150円				
旧芝離宮恩賜庭園 向島百花園 清澄庭園 旧古河庭園	一般及び 中学生	150円				
	65歳以上	70円		12月29日 から 1月1日 及び毎週月 曜日※	午前9時30 分から午後 5時 (入園は、午後 4時まで)	
旧岩崎邸庭園	一般及び 中学生	400円				
	65歳以上	200円				
井の頭自然文化園	一般	400円		12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	
	中学生	150円				
	65歳以上	200円				
恩賜上野動物園	一般	600円		12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	
	中学生	200円				
	65歳以上	300円				
葛西臨海水族園	一般	700円		12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	
	中学生	250円				
	65歳以上	350円				
多摩動物公園	一般	600円	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※		
	中学生	200円				
	65歳以上	300円				
夢の島熱帯植物館	一般	250円	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※	12月29日 から 1月1日 及び毎週水曜 日※		
	中学生	100円				
	65歳以上	120円				

※その日が国民の祝日に関する法律で規定する休日または、都民の日条例で規定する都民の日にあたる
ときは、その翌日

(2) 使用料

ア 競技場

公園名	使用料金	夜間照明料金
代々木公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会	一回 (1時間以内) 1,500円
	○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会	
舎人公園 (400mトラック)	○18時から21時まで ・都内小、中学校 ・その他 ・運動会	
	・都内小、中学校	
	・その他	

公園名	使用料金	夜間照明料金	
夢の島公園 (400mトラック) 和田堀公園 (300mトラック) 赤塚公園 (300mトラック) 光が丘公園 (400mトラック) 大泉中央公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○18時から21時まで(城北中央公園、篠崎公園) ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	5,000円 7,200円 15,800円 6,000円 9,400円 21,600円 5,000円 7,200円 15,800円	— — 一回(1時間以内) 1,500円
城北中央公園 (400mトラック) 篠崎公園 (小野球場兼用)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	5,900円 8,900円 19,800円 7,900円 11,900円 26,500円	—
和田堀公園 (400mトラック)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	5,900円 8,900円 19,800円 7,900円 11,900円 26,500円	—
芝公園 (野球場兼用) 猿江恩賜公園 (野球場兼用) 砧公園 (野球場兼用)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○18時から21時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	3,200円 4,600円 11,100円 3,900円 6,200円 14,400円 3,200円 4,600円 11,100円	一回 (1時間以内) 3,000円
上野恩賜公園 (野球場兼用)	○9時から12時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他 ○13時から17時まで ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	1,500円 2,200円 5,500円 1,900円 3,100円 7,400円	一回 (1時間以内) 1,500円
東白鬚公園 (小野球場兼用)	○18時から21時まで(上野恩賜公園のみ) ・都内小、中学校 ・学校及びこれに準ずる者 ・その他	1,500円 2,200円 5,500円	—

イ 野球場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）			休場日
		平日	土日祝祭日	夜間照明	
上野恩賜公園	1面（競技場兼用）	1,200円	1,500円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
芝公園	2面（競技場兼用）				
猿江恩賜公園	2面（競技場兼用）				
砧公園	2面（競技場兼用）				
城北中央公園	2面				
浮間公園	1面				
石神井公園	2面（1面照明あり 1面照明なし）				
大泉中央公園	1面				
東綾瀬公園	3面				
舎人公園	2面				
篠崎公園A	2面				
善福寺川緑地	1面			—	
赤塚公園	1面				
光が丘公園	4面				
篠崎公園（鹿骨）B	2面				
高井戸公園	1面				
和田堀公園	2面	（杉並区管理）			

ウ 小野球場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）			休場日
		平日	土日祝祭日	夜間照明	
大島小松川公園A	2面（小サッカー場兼用）	500円	600円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
篠崎公園A	2面（競技場兼用）				
大島小松川公園B	1面（照明なし）			—	
東白鬚公園	2面				
善福寺川緑地	1面				
城北中央公園	2面				
石神井公園B	1面				

エ テニスコート

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）		休場日
		料金	夜間照明	
日比谷公園	5面	1,300円	500円	12月31日 から 翌年1月3日
大島小松川公園	4面			
芝公園	3面			
猿江恩賜公園	8面			
亀戸中央公園	4面			
木場公園	6面			
東綾瀬公園	4面			
城北中央公園	9面（8面照明あり 1面照明なし）			
浮間公園	4面			
光が丘公園	8面			
舎人公園	14面			
篠崎公園	8面			
東白鬚公園	4面			
祖師谷公園	4面			
善福寺川緑地	3面		—	
赤塚公園	7面			
石神井公園	2面			
汐入公園	4面			
高井戸公園	4面			

オ サッカー場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）		休場日
		料金	夜間照明	
大島小松川公園	小サッカー場（小野球場兼用）	1,800円	1,500円	12月31日 から 翌年1月3日
砧公園	小サッカー場			
代々木公園	サッカー・ラグビー・ホッケー場	3,600円	—	
高井戸公園	サッカー・ラグビー場			

カ 弓道場

公園名	規模	使用料金（1回1時間以内）			休場日
		個人	料金	夜間照明	
旧芝離宮恩賜庭園	7人立	個人	140円	—	12月29日 から 翌年1月3日
光が丘公園	16人立	個人 団体 弓矢	210円 21,600円 140円	—	

キ 音楽堂・野外ステージ等

公園名	施設名	使用料（1回4時間以内）					休園日
日比谷公園	日比谷公会堂	閉鎖中					12月29日から 翌年1月3日 まで及び毎週 月曜日（祝日等 の場合は翌日）
	大音楽堂	昼間	平日 土日祝日	83,500円 158,400円	夜間	112,300円 158,400円	
	小音楽堂	11,100円					
上野恩賜公園	野外ステージ	15,800円					
代々木公園		15,800円					
石神井公園		15,800円					

公園名	施設名	使用料（1日）	休園日
日比谷公園	第一陳列場・第二陳列場	8,600円	12月29日 から 翌年1月3日
	第三陳列場	14,400円	

ク 集会場

公園名	施設名		使用料	収容 人員	使用時間 （※1回4時間以内）
水元公園	涼亭	全室	3,000円	16人	9：30～12：30
		菖蒲の間	1,500円	8人	13：00～16：30
		ポプラの間	1,500円	8人	17：30～20：30
浜離宮恩賜庭園	芳梅亭	全室	3,600円	25人	9：00～12：00 13：00～16：00
小石川後樂園	涵徳亭	全室	18,100円	115人	12：30～16：00 17：00～20：30
		広間	5,800円	40人	
		別間	3,900円	20人	
		小室（洋間）	2,100円	15人	
		小室（日本間）	2,100円	10人	
六義園	心泉亭	全室	4,800円	25人	9：00～12：00 12：30～16：00
		松の間・つつじの間	3,600円	17人	
		もみじの間	1,200円	8人	
	宜春亭	全室	7,400円	5人	
向島百花園	御成座敷	全室	11,900円	35人	9：00～12：30 13：00～16：30 17：00～20：30
		御成の間	4,500円	15人	
		中の間	3,700円	10人	
		芭蕉の間	3,700円	10人	
清澄庭園	大正記念館		25,900円	150人	9：00～12：30 13：00～16：30 17：00～20：30
	涼亭		5,500円	40人	
蘆花恒春園	梅花書屋	貸出休止中			9：00～16：00*
	愛子夫人居宅		1,200円	20人	
井の頭自然文化園	資料館 集会場	全室	11,400円	40人	9：30～16：00*
		一室	3,800円	20人	
		別室	3,800円	20人	
	童心居		2,100円	10人	

ケ 有料駐車場（管理運営は公益財団法人東京都公園協会）

公園名	施設名	収容台数	利用時間	乗用車	バス	運営時間
上野恩賜公園	第一駐車場	19	1時間まで (超過30分毎に)	(円)	(円)	午前8時30分から 午後5時30分 (入庫は午後4時30分まで)
	第二駐車場	24		—	1,000 (500)	
代々木公園		64	1時間まで (超過30分毎に)	600 (300)	1,000 (500)	
			4時間以上12時間まで	2,400	—	
水元公園	第一駐車場	214	1時間まで	200	—	
	第二駐車場	24	2時間まで (超過30分毎に)	(100)	1,000 (500)	
	第三駐車場	49	4時間以上12時間まで	800	—	
葛西臨海公園		181	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—	
			2時間まで (超過30分毎に)	—	1,500 (500)	
			4時間以上12時間まで(平日のみ)	1,200	—	
夢の島公園	第一駐車場	123	1時間まで (超過30分毎に)	200 (100)	—	24時間 (自動)
	第二駐車場	20	2時間まで (超過1時間毎に)	—	1,000 (500)	
			4時間以上24時間まで 9時間以上24時間まで	800 —	— 4,500	
木場公園	第一駐車場	107	1時間まで	400	—	
	第二駐車場	30				
駒沢オリンピック ピック公園	第一駐車場	181	2時間まで	—	2,000	
	第二駐車場	42	(超過30分毎に)	(200)	(500)	
潮風公園	北駐車場	134	4時間以上12時間まで	1,600	—	
	南駐車場	84				
大島小松川公園		97	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	1,000 —	
			(超過30分毎に)	—	(500)	
			4時間以上12時間まで	1,200	—	
光が丘公園		251	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	1,000 (500)	24時間(自動) (第二の入庫は午前7時から午後 8時まで, 出庫は24時間)
石神井公園	第一駐車場	42	4時間以上12時間まで	1,600	—	
舎人公園	第一駐車場	78	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—	
	第二駐車場	46	2時間まで (超過30分毎に)	—	1,000 (500)	
	第三駐車場	22	4時間以上24時間まで 7時間以上24時間まで	1,200 —	— 6,000	
砧公園		236	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—	
			2時間まで (超過30分毎に)	—	2,000 (500)	
			4時間以上12時間まで	1,200	—	
篠崎公園	第一駐車場	192	1時間まで (超過20分毎に)	300 (100)	—	
	第二駐車場	49	2時間まで (超過30分毎に)	—	1,500 (500)	
			4時間以上当日24時まで	1,200	—	
薦花恒春園		42	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	—	24時間 (自動)
赤塚公園		28	4時間以上12時間まで	1,600	—	
宇喜田公園	第一駐車場	18	1時間まで	300	—	
浮間公園	第二駐車場	31				
汐入公園	第一駐車場	43	(超過20分毎に)	(100)	—	
	第二駐車場	27				
城北中央公園		66	4時間以上12時間まで	1,200		
中川公園		21				
東綾瀬公園		107				
和田堀公園	第一駐車場	15				
	第二駐車場	47				
大泉中央公園		66	1時間まで (超過30分毎に)	200 (100)	—	
			4時間以上12時間まで	800	—	
高井戸公園		40	1時間まで (超過30分毎に)	400 (200)	—	
			4時間以上12時間まで	1,600	—	

コ 霊園付属施設

名 称	種 別		使用料	単 位	
			金 額		
八柱霊園納骨堂	一時収蔵		1 箇所、1 年につき	1,300円	
雑司ヶ谷崇祖堂	短期収蔵	第一種 (一段式)	1 箇所、5 年間	161,000円	
		第二種 (一段式)		121,000円	
		第三種 (一段式)		78,000円	
		第四種 (三段式)		上段	22,000円
				中段	27,000円
				下段	24,000円
		第五種 (四段式)		上段	10,000円
				中段	28,000円
				下段	25,000円
		第六種 (六段式)		上段	10,000円
				中段	12,000円
下段	11,000円				
一時収蔵		1 箇所、1 年につき	1,300円		
式場 (付属施設を含む。)		1 回、2 時間以内	6,600円		

サ 葬儀所

名 称	種 別	使用料		
		単 位	金 額	
			都民	都民外
瑞江葬儀所	火葬料	7 歳以上、一柩	59,600円	71,520円
		7 歳未満、一柩	34,500円	41,400円
		胎児、一柩	18,400円	22,080円
		改葬遺骨、一個	25,600円	30,720円
		外科手術等による四肢、一個	14,900円	17,880円
		要保護者・公費対象者 (7 歳以上)、一柩	600円	
		要保護者・公費対象者 (7 歳未満)、一柩	500円	
	棺保管料	一柩 (24時間以内)	8,210円	9,850円
	控室料	一室	10,200円	12,240円
		一室 (要保護者・公費対象者)	5,100円	
証明手数料	火葬及び焼骨分骨証明書	400円		
青山葬儀所	式場・待合室 利用料	閉鎖中		
	式場利用料	閉鎖中		

2 年度別有料施設利用状況

ア 運動施設利用件数 ※令和2年3月28日から令和2年6月14日まで及び令和3年3月8日から令和3年5月11日まで休止

種 別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
競 技 場	987件	667件	658件	1,045件	868件	776件
野 球 場	49,963件	31,758件	45,868件	6,886件	51,110件	53,992件
テニスコート	258,576件	161,523件	253,163件	94,387件	241,223件	268,726件
サ ッ カ ー 場	4,137件	2,714件	2,912件	2,901件	5,057件	5,438件
弓 道 場	22,487件	10,470件	16,085件	23,082件	25,555件	27,809件

イ 音楽堂・野外ステージ等利用件数 ※日比谷大音楽堂は令和6年10月1日から令和6年10月31日まで休止

種 別	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
日比谷公会堂 会場	—	—	—	—	—	—
音楽堂	大 会場	287件	88件	214件	423件	371件
	小 会場	48件	28件	60件	48件	24件
野外ステージ	698件	704件	544件	507件	790件	910件
陳列場	113件	36件	60件	77件	63件	67件

ウ 火葬件数

名 称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
瑞 江 葬 儀 所	7,649件	6,878件	6,975件	7,368件	7,419件	7,410件

エ 有料庭園利用者数（上段：有料〔人〕、中段：無料〔人〕、下段：合計人数）

名 称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
浜離宮恩賜庭園	548,062人	127,236人	130,963人	354,508人	567,076人	613,357人
	73,304人	19,289人	16,927人	47,458人	60,112人	57,759人
	621,366人	146,525人	147,890人	401,966人	627,188人	671,116人
旧芝離宮恩賜庭園	110,404人	31,480人	33,440人	85,623人	102,902人	118,547人
	25,217人	8,932人	8,646人	24,569人	29,579人	36,026人
	135,621人	40,412人	42,086人	110,192人	132,481人	154,573人
小石川後楽園	273,107人	83,619人	98,638人	231,176人	289,457人	347,862人
	36,141人	12,766人	10,686人	27,410人	32,540人	36,572人
	309,248人	96,385人	109,324人	258,586人	321,997人	384,434人
六 義 園	530,086人	153,854人	167,497人	356,166人	371,392人	443,214人
	88,660人	27,729人	19,580人	58,655人	79,356人	78,029人
	618,746人	181,583人	187,077人	414,821人	450,748人	521,243人
向 島 百 花 園	78,506人	32,487人	27,147人	72,321人	63,972人	71,329人
	31,650人	8,590人	10,432人	19,784人	20,224人	19,880人
	110,156人	41,077人	37,579人	92,105人	84,196人	91,209人
清 澄 庭 園	194,976人	72,075人	84,994人	169,592人	207,466人	236,763人
	50,686人	19,118人	17,174人	29,449人	29,136人	25,625人
	245,662人	91,193人	102,168人	199,041人	236,602人	262,388人
旧古河庭園	256,481人	87,489人	96,668人	215,669人	229,260人	210,524人
	57,395人	17,731人	18,116人	50,055人	63,795人	42,392人
	313,876人	105,220人	114,784人	265,724人	293,055人	252,916人
旧岩崎邸庭園	115,585人	30,796人	43,865人	108,758人	123,473人	122,730人
	36,794人	9,105人	6,337人	22,900人	30,015人	25,812人
	152,379人	39,901人	50,202人	131,658人	153,488人	148,542人
合 計	2,107,207人	619,036人	683,212人	3,593,628人	1,954,998人	2,164,326人
	399,847人	123,260人	107,898人	280,280人	344,757人	322,095人
	2,507,054人	742,296人	791,110人	3,873,908人	2,299,755人	2,486,421人

※旧岩崎邸庭園は令和2年2月29日から、それ以外の庭園については令和2年3月28日から令和2年5月31日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

オ 有料施設利用者数（上段：有料〔人〕、中段：無料〔人〕、下段：合計人数）

名 称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
恩賜上野動物園	2,312,183人	416,011人	439,729人	2,197,197人	2,222,416人	2,254,562人
	1,167,807人	109,988人	125,581人	859,392人	1,041,859人	1,062,835人
	3,479,990人	525,999人	565,310人	3,056,589人	3,264,275人	3,362,664人
多摩動物公園	441,594人	240,283人	241,785人	413,997人	419,917人	473,043人
	429,428人	182,469人	156,662人	367,948人	382,307人	411,583人
	871,022人	422,752人	398,447人	781,945人	802,224人	884,626人
葛西臨海水族園	592,833人	201,435人	252,344人	674,661人	672,480人	711,539人
	675,870人	134,700人	176,718人	536,651人	587,738人	616,316人
	1,268,703人	336,135人	429,062人	1,211,312人	1,260,218人	1,327,855人
井の頭自然文化園	428,748人	222,747人	176,909人	406,518人	391,714人	398,120人
	351,264人	158,503人	123,761人	329,408人	311,208人	305,753人
	780,012人	381,250人	300,670人	735,926人	702,922人	703,873人
夢の島熱帯植物館	47,591人	25,015人	24,188人	59,800人	72,168人	106,769人
	27,228人	11,061人	11,089人	38,312人	39,039人	42,986人
	74,819人	36,076人	35,277人	98,112人	111,207人	149,777人

※恩賜上野動物園と葛西臨海水族園は令和2年2月29日から令和2年6月22日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※多摩動物公園は令和2年3月28日から令和2年6月3日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※井の頭自然文化園は令和2年3月28日から令和2年6月1日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休園

※夢の島熱帯植物館は令和2年3月28日から令和2年6月1日、令和2年12月26日から令和3年6月3日及び令和4年1月11日から令和4年3月21日まで休館

カ 集会場利用件数

名 称	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
水元公園	ポプラの間	—	24件	43件	51件	43件	44件
	菖蒲の間	59件	33件	55件	61件	55件	38件
浜離宮恩賜庭園	中島の御茶屋	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	芳梅亭	56件	69件	148件	221件	148件	238件
小石川後楽園	広間	25件	21件	67件	134件	67件	111件
	別間	60件	76件	218件	316件	218件	289件
	小室洋間	193件	180件	545件	727件	545件	761件
	小室日本間	23件	34件	92件	123件	92件	136件
六義園	宜春亭	0件	3件	1件	3件	1件	2件
	松の間	12件	12件	54件	84件	54件	70件
	つつじの間	12件	12件	54件	84件	54件	70件
	もみじの間	20件	14件	38件	68件	38件	71件
向島百花園	芭蕉の間	14件	12件	76件	72件	76件	53件
	中の間	16件	12件	49件	72件	49件	64件
	御成の間	42件	32件	86件	130件	86件	102件
清澄庭園	大正記念館	51件	43件	189件	276件	189件	292件
	涼亭	253件	165件	504件	540件	504件	542件
蘆花恒春園	愛子夫人居宅	30件	15件	11件	14件	13件	12件
井の頭文化園	資料館集会場	31件	15件	44件	40件	44件	37件
	童心居	16件	11件	40件	38件	40件	46件
合 計	3,077件	898件	767件	2,263件	2,969件	2,985件	

3 開園（管理）面積調書

1. 直轄

令和7年6月1日現在

		公園名	開園面積(m ²)
直轄公園	1	上野恩賜公園	538,761.46
		(恩賜上野動物園除く)	393,588.43
		計	393,588.43

		公園名	開園面積(m ²)
葬儀所	1	青山葬儀所	9,559.65
		計	9,559.65

2. 委託

		公園名	開園面積(m ²)	
指定管理者管理公園	1	芝公園	122,501.09	
	2	戸山公園	186,471.81	
	3	東白鬚公園	103,127.60	
	4	猿江恩賜公園	145,088.43	
	5	夢の島公園	433,612.23	
	6	潮風公園	154,542.41	
	7	台場公園	29,963.40	
	8	亀戸中央公園	106,795.87	
	9	木場公園	238,711.13	
	10	大島小松川公園	249,282.77	
	11	林試の森公園	123,396.87	
	12	砧公園	391,777.35	
	13	蘆花恒春園	80,304.43	
	14	駒沢オリンピック公園	413,573.09	
	15	祖師谷公園	94,902.81	
	16	善福寺公園	80,264.47	
	17	善福寺川緑地	181,408.46	
	18	和田堀公園	262,570.59	
	19	城北中央公園	258,915.20	
	20	浮間公園	117,330.24	
	21	赤塚公園	262,442.97	
	22	石神井公園	226,232.99	
	23	光が丘公園	607,823.73	
	24	大泉中央公園	103,000.00	
	25	東綾瀬公園	158,969.79	
	26	中川公園	120,698.72	
	27	舎人公園	649,645.09	
	28	尾久の原公園	61,841.28	
	29	篠崎公園	312,744.18	
	30	葛西臨海公園	816,177.05	
			(葛西臨海水族園除く)	730,218.15
	31	宇喜田公園	59,812.58	
	32	汐入公園	129,369.83	
	33	横綱町公園	19,579.53	
	34	青山公園	44,750.46	
	35	日比谷公園	161,636.66	
	36	水元公園	966,814.23	
	37	代々木公園	544,711.27	
	38	東京臨海広域防災公園	65,197.12	
	39	高井戸公園	109,435.93	
	40	練馬城址公園	32,218.15	
41	明治公園	61,342.46		
		計	9,288,984.27	

		公園名	開園面積(m ²)
庭園	1	浜離宮恩賜庭園	250,215.72
	2	旧芝離宮恩賜庭園	43,175.36
	3	小石川後楽園	70,847.17
	4	六義園	87,809.41
	5	向島百花園	10,885.88
	6	清澄庭園	81,091.27
	7	旧古河庭園	30,780.86
	8	旧岩崎邸庭園	20,709.25
			計

		公園名	開園面積(m ²)
動物園	1	恩賜上野動物園	145,173.03
	2	多摩動物公園	602,513.37
	3	葛西臨海水族園	85,958.90
	4	井の頭自然文化園	115,500.00
			計

		公園名	開園面積(m ²)
霊園・葬儀所	1	青山霊園	263,564.27
	2	雑司ヶ谷霊園	106,110.29
	3	谷中霊園	102,537.46
	4	染井霊園	67,910.73
	5	八柱霊園	1,044,533.94
	6	瑞江葬儀所	37,010.92
		計	1,621,667.61

4 管内公園所在地一覧

東部公園緑地事務所直営管理公園・施設

名 称	郵便番号	管理所・公園等所在地	電話番号	FAX番号	備考
上野恩賜公園	110-0007	台東区上野公園5-20	03-3828-5644	03-3827-7752	
日比谷公会堂	100-0012	千代田区日比谷公園1-3	03-3821-6145	03-5685-0144	閉鎖中
青山葬儀所	107-0062	港区南青山2-33-20	同上	同上	閉鎖中

指定管理者による管理公園・施設

公益財団法人 東京都公園協会（指定管理者）

※1（平成28年4月1日～令和8年3月31日：予定期間）

※2（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間）

※3（令和3年4月1日～令和8年3月31日：予定期間）

※4（令和7年5月1日～令和8年5月31日：予定期間）

※5（令和5年5月1日～令和10年3月31日：予定期間）

※6（令和6年2月1日～令和10年1月31日：予定期間）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
浜離宮恩賜庭園	104-0046	中央区浜離宮庭園1-1	03-3541-0200	03-3541-0264	※1
旧芝離宮恩賜庭園	105-0022	港区海岸1-4-1	03-3434-4029	03-3434-4037	※1
小石川後樂園	112-0004	文京区後楽1-6-6	03-3811-3015	03-3811-3244	※1
六 義 園	113-0021	文京区本駒込6-16-3	03-3941-2222	03-3944-5008	※1
向島百花園	131-0032	墨田区東向島3-18-3	03-3611-8705	03-3619-2321	※1
清 澄 庭 園	135-0024	江東区清澄3-3-9	03-3641-5892	03-3641-5884	※1
旧古河庭園	114-0024	北区西ヶ原1-27-39	03-3910-0394	03-3916-8166	※1
旧岩崎邸庭園	110-0008	台東区池之端1-3-45	03-3823-8340	03-3823-8033	※1
芝 公 園	105-0011	港区芝公園4-10-17	03-3431-4359	03-3431-4363	※2
林試の森公園	142-0061	品川区小山台2-6-11	03-3792-3800	03-3792-0153	※2
蘆花恒春園	157-0063	世田谷区粕谷1-20-1	03-3302-5016	03-3302-5016	※2
祖師谷公園	157-0065	世田谷区上祖師谷3-22-19	03-5384-1693	03-5384-1884	※2
青山公園	107-0062	港区南青山2-32-2	03-3470-3223	03-3470-3224	青山霊園管理所内※2
日比谷公園	100-0012	千代田区日比谷公園1-6	03-3501-6428	03-3501-6429	※2
戸山公園	169-0072	新宿区大久保3-5-1	03-3200-1702	03-3200-0066	※2
東白鬚公園	131-0034	墨田区堤通2-2-1	03-3614-4467	03-3614-4456	※1
木場公園	135-0023	江東区平野4-6-1	03-5245-1770	03-5245-1772	※1
砧 公 園	157-0075	世田谷区砧公園1-1	03-3700-0414	03-3700-7059	※1
善福寺公園	167-0041	杉並区善福寺3-9-10	03-3396-0825	03-3394-9906	※2
善福寺川緑地	166-0016	杉並区成田西1-30-27	03-3313-4247	03-5378-2417	※1
和田堀公園	—	杉並区大宮一丁目ほか	同上	同上	※1 善福寺川緑地

公益財団法人 東京都公園協会（指定管理者）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
汐 入 公 園	116-0003	荒川区南千住8-13-1	03-3807-5181	03-3807-5182	※1
城 北 中 央 公 園	179-0084	練馬区氷川台1-3-1	03-3931-3650	03-3931-3770	※1
浮 間 公 園	174-0041	板橋区舟渡2-15-1	03-3969-9168	03-3969-9571	※2
赤 塚 公 園	175-0082	板橋区高島平3-1	03-3938-5715	03-3938-5922	※2
石 神 井 公 園	177-0045	練馬区石神井台1-26-1	03-3996-3950	03-3995-0789	※2
光 が 丘 公 園	179-0072	練馬区光が丘4-1-1	03-3977-7638	03-3977-7433	※1
大 泉 中 央 公 園	178-0061	練馬区大泉学園町9-4-3	03-3867-8096	03-3921-3874	※2
舎 人 公 園	121-0837	足立区舎人公園1-1	03-3857-2308	03-3857-6798	※1
篠 崎 公 園	133-0054	江戸川区上篠崎1-25-1	03-3670-4080	03-3670-4175	※1
葛 西 臨 海 公 園	134-0086	江戸川区臨海町6-2-1	03-5696-1331	03-5696-1332	※3
代 々 木 公 園	151-0052	渋谷区代々木神園町2-1	03-3469-6081	03-3469-6082	※1
水 元 公 園	125-0034	葛飾区水元公園3-2	03-3607-8321	03-3600-6929	※1
駒 沢 オ リ ン ピ ッ ク 公 園	154-0013	世田谷区駒沢公園1-1	03-3421-6431	03-3413-2577	※1
高 井 戸 公 園	168-0082	杉並区久我山2-2-1	03-3331-1336	03-5941-3123	※2
雑 司 ケ 谷 霊 園	171-0022	豊島区南池袋4-25-1	03-3971-6868	03-3971-1355	※1
青 山 霊 園	107-0062	港区南青山2-32-2	03-3401-3652	03-3404-4724	※1
谷 中 霊 園	110-0001	台東区谷中7-5-24	03-3821-4472	03-3821-4484	※1
染 井 霊 園	170-0003	豊島区駒込5-5-1	03-3918-3502	03-3918-3610	※1
八 柱 霊 園	270-2255	千葉県松戸市田中新田48-2	047-387-2181	047-387-2182	※1
瑞 江 葬 儀 所	132-0003	江戸川区春江町3-26-1	03-3670-0131	03-3670-0388	※4
練 馬 城 址 公 園	179-0074	練馬区春日町1-1-32	03-3825-5021	03-5848-3170	※5
東京臨海広域防災公園	135-0063	江東区有明3-8-35	03-3529-2180	03-3529-2188	※6

アメニス東部地区グループ（指定管理者）

（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
猿 江 恩 賜 公 園	135-0001	江東区毛利2-13-7	03-3631-9732	03-3631-9738	
亀 戸 中 央 公 園	136-0071	江東区亀戸9-37-28	03-3636-2558	03-3636-2575	
尾 久 の 原 公 園	116-0012	荒川区東尾久7-1	03-3819-8838	03-3819-8854	
東 綾 瀬 公 園	120-0004	足立区東綾瀬3-4	03-3605-0005	03-3605-0046	
中 川 公 園	120-0002	足立区中川5-1-1	03-3629-8164	03-3629-8264	
大 島 小 松 川 公 園	136-0072	江東区大島9-9	03-3637-6696	03-3636-9365	
宇 喜 田 公 園	—	江戸川区北葛西三丁目ほか	同上	同上	大島小松川公園

アメニス夢の島グループ（指定管理者）

（令和5年4月1日～令和10年3月31日：予定期間）

名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
夢 の 島 熱 帯 植 物 館	136-0081	江東区夢の島2-1-2	03-3522-0281	03-3522-0283	
夢 の 島 公 園	—	江東区夢の島	同上	同上	熱帯植物館

東京臨海副都心グループ（指定管理者） (平成28年4月1日～令和8年3月31日：予定期間)					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
潮 風 公 園	135-0092	品川区東八潮1-2	03-5500-0385	03-5500-2456	
台 場 公 園	—	港区台場一丁目	同上	同上	潮風公園

東京南部パークスグループ（指定管理者） (令和6年11月1日～令和7年9月30日：予定期間)					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
日比谷公園大音楽堂	100-0012	千代田区日比谷公園1-5	03-3591-6388	03-3591-6389	野音:通称

公益財団法人 東京慰霊協会（指定管理者） (令和3年4月1日～令和8年3月31日：予定期間)					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
横 網 町 公 園	130-0015	墨田区横網2-3-25	03-3622-1208	3623-1200	(Tel, Fax兼用)

Tokyo Legacy Parks株式会社（指定管理者） (令和5年10月31日～令和15年2月28日：予定期間)					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
明 治 公 園	160-0013	新宿区霞ヶ丘町5-7	03-6434-7800		

公益財団法人東京動物園協会（指定管理者） ※7（平成28年4月1日～令和8年3月31日：予定期間） ※8（令和5年4月1日～令和8年3月31日：予定期間）					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
恩賜上野動物園	110-8711	台東区上野公園9-83	03-3828-5171	03-3821-2493	※7
多摩動物公園	191-0042	日野市程久保7-1-1	042-591-1611	042-593-4351	※7
井の頭自然文化園	180-0005	武蔵野市御殿山1-17-6	0422-46-1100	0422-46-1906	※7
葛西臨海水族園	134-8587	江戸川区臨海町6-2-3	03-3869-5152	03-3869-5155	※8

代々木公園STAGES（指定管理者） (令和7年2月1日～令和15年12月31日：予定期間)					
名 称	郵便番号	管理所・公園所在地	電話番号	FAX番号	備考
代々木公園（渋谷区 神南一丁目北側）	150-0041	渋谷区神南1-1-1	03-3460-5700		

東京都東部公園緑地事務所事業概要

令和7年版

令和7年10月発行

登録番号(7)1

編集・発行

東京都東部公園緑地事務所庶務課

〒110-0007 台東区上野公園7番47号

電話 03-3821-6141 庶務課ダイヤルイン

03-3821-6145 管理課ダイヤルイン

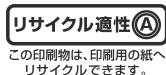
03-3821-7431 事業推進課ダイヤルイン

03-3821-7001 工事課ダイヤルイン

03-3822-5817 動物園工事ダイヤルイン

印刷所 株式会社 アイコー印刷

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-3-7



石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

HTT

電力を
へらす
つくる
ためる

TokyoTokyo